足立区待機児童解消アクション・プラン

【平成 29 年 8 月改定版】

"待機児ゼロ"の足立区へ!
~地域の実情に合わせた施設整備と利用者支援~

(平成 29 年度~平成 31 年度)

足立区



目次

1.ほしのに	
1.1 現状	1
1.2 待機児ゼロに向けた取り組み	2
2.新たな整備目標と需要調査方式の導入	3
2.1 新たな整備目標	3
2.2 新たな需要調査方式の導入	4
2.2.1 妊娠届時の意向調査 【新規】	4
2.2.2 子育て世帯へのニーズ調査 【新規】	4
2.2.3 庁内データの一層の活用 【拡充】	
3.平成29~31年度の施設整備の取り組み	5
3.1 公有地の活用推進【拡充】	5
3.2 整備・運営事業者の随時受付の導入【拡充】	5
3.3 1歳児定員の拡大に重点をおいた新規整備 【検討中】	
3 .4 新規整備計画	6
3 .4.1 プロック別の施設整備計画	7
4. 施設整備以外の取り組み	10
4 .1 保育士確保・定着対策	10
4 .1.1 保育士就職相談会や潜在保育士向けの再就職セミナーの継続実施	
4.1.2 保育士への経済的支援策の拡充 【拡充】	11
4.1.3 保育士等の子どもの入所調整指数の加算 【新規】	
4.2 多様な保育施設の利用促進	
4.2.1 保育コンシェルジュによる利用者支援 【拡充】	
4 .2.2 家庭的保育・小規模保育のPR 【拡充】	
4.2.3 家庭的保育における給食提供 【新規】	
4.2.4 家庭的保育・小規模保育の卒園後の預け先の確保 【新規】	13
4.2.5 東京都認証保育所の利用者助成制度	
4.3 保育事業者と連携した受入れ拡大	
4.3.1 定期利用保育事業の実施 【新規】	
4.3.2 認証保育所の認可化移行支援	
4.3.3 大規模集合住宅建設時の保育施設の設置協議	
4.3.4 企業主導型保育事業の設置促進 【拡充】	
5.必要財源の確保	

資料編	1	18
資料 1	足立区の保育の現状と施設整備	19
資料 2	プロック別の分析	36
資料 3	保育需要の動向に関する分析	33
	待機児童実態調査結果	
資料 5	0 歳在園児アンケート調査結果	37
	表目次	
表	1 年度別・施設別の新規整備計画	6
表	2 施設整備費・運営費(見込み)	۱7
	図目次	
図	1 保育需要率の年次推移	1
図	2 保育需要数の年次推移	1
図	3 施設整備計画の改定内容	4

「待機児童数」 調査日時点において、保育の必要性の認定がされ、認可保育所、認定こども園(保育認定)、小規模保育、家庭的保育(保育ママ)の利用申込がされているが、利用していないものから、東京都認証保育所や幼稚園の預かり保育等を利用している児童と、私的な理由で待機している児童を除外した数(国定義の待機児童)

「保育需要率」 対象年齢人口に対する保育需要数の割合

「保育需要数」 認可保育所、認定こども園(保育認定)、小規模保育、家庭的保育(保育ママ)、認証保育 所、公設民営認可外保育、幼稚園(預かり保育)、企業主導型保育及び、子育て応援隊 (月ぎめ保育)を利用している児童数(管外利用者を含む)に待機児童数を加えた数

1.はじめに

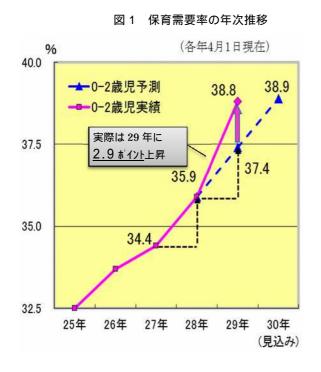
足立区では、待機児童の解消と多様化する保育ニーズに的確に対応するため、平成 24 年度から区内を 13 ブロック 49 地域に細分化して保育の必要量を算定し、保育施設整備計画「待機児童解消アクション・プラン」を作成してきました。平成 27 年度からは、本プランを「足立区子ども・子育て支援事業計画」(平成 27 年 3 月策定)の実施計画と位置づけています。

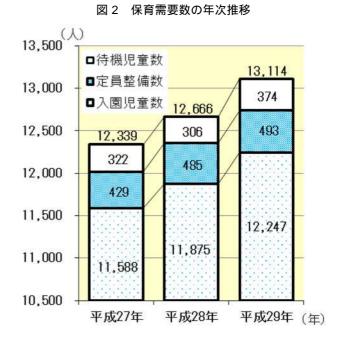
このたび平成 29 年 4 月 1 日時点での待機児童の現状に基づき、保育施設整備計画に大幅な変更を加え、アクション・プランを改定しました。

1.1 現状

平成28年度中の施設整備では、認可保育所7園(認証保育所から移行した3園を含む)・小規模保育3施設を新規に開設するとともに、既存の保育施設の大規模改修などによる定員拡大等を実施し、493人分の保育定員を拡大しました。しかしながら、保育を希望する世帯の児童の割合を示す「保育需要率」がこれまでになく急激に上昇し(図1)、平成30年4月に想定していた水準に一年前倒しで到達したことにより、平成29年4月1日現在の待機児童数は374人と、前年比68人の大幅な増加となりました(図2)。

区では平成 30 年 4 月の待機児ゼロを目標に取り組んできましたが、この現状では目標達成は極めて困難と言わざるを得ません。このため、平成 29 年 6 月に新たに「待機児対策室」を設置し、組織体制を強化したうえで、待機児童対策について抜本的な見直しに着手しました。





1

1.2 待機児ゼロに向けた取り組み

早期の待機児ゼロを実現するため、本プランでは以下の取り組みを推進します。

新たな整備目標と需要調査方式の導入 P.3

平成 29~31 年度の施設整備の取り組み P.5

施設整備以外の取り組み P.10

<u>必要財源の確保</u> P.17

2.新たな整備目標と需要調査方式の導入

これまでの保育需要予測は、近年の就学前人口、保育需要数及び保育需要率の推移などを踏まえて行ってきました。しかし、今年度の急激な保育需要率の伸びを予測することはできませんでした。今後は待機児ゼロを実現するためには、都が示している「平成32年度までに就学前児童人口に対する保育サービス利用児童数を50%に対応できるよう整備を推進する」方針と同等の施設整備が必要と想定し、以下の整備目標を定めます。

保育需要率50%に対応した施設整備

平成 29~31 年度で 3,665 人分の定員拡大

平成32年4月までに待機児ゼロへ

2.1 新たな整備目標

本プランでは、平成 32 年 4 月に保育需要率()50%に対応することを目標に、平成 29~31 年度の 3 年間で既存施設の定員増を含めて合計 3,665 人分の保育定員拡大を行うこととしました(図 3)。この計画により、平成 32 年 4 月までの待機児ゼロ達成を目指します。

待機児童が解消した時点では「就学前児童人口に対する保育サービス利用児童数」と「保育需要数」は 同じ数となるため、ここでは両者を同じ意味で用いています。

(1) 平成29年度

平成 28 年度のアクション・プランの整備進捗状況を踏まえて整備計画を見直し、保育定員 877 人分に 184 人分を上乗せし、1,061 人分の定員を拡大する計画としました。

(2) 平成30年度

平成 28 年度のアクション・プランの整備計画である認可保育所 3 園 180 人分に、認可保育所 12 園、 認証保育所 4 園計 1,017 人分を上乗せして 1,197 人分の定員を拡大する計画としました。

(3) 平成31年度

新規に認可保育所 17 園、認証保育所 4 園、小規模保育 1 施設で <u>1,407 人分</u>の定員を拡大する計画としました。

新規整備予定の施設数は、平成 29 年度からの 3 年間で、認可保育所 42 園、認証保育所 10 園、小規模保育 4 施設となります。なお、各保育施設の整備定員数の詳細は、資料 1 P.32 ~ P.34 に記載しています。

2.2 新たな需要調査方式の導入

今後、以下の調査等を実施することで、潜在的な保育需要を把握していきます。これらの結果と、保育施設の利用申込み状況等を踏まえ、平成30年2月以降に再度、整備計画を改定する予定です。

2.2.1 妊娠届時の意向調査 【新規】

各保健総合センター・区民事務所の窓口で妊娠届を受けた際、保育施設の利用開始年齢の意向等のアンケート調査を実施します。実施結果を実際の保育施設の利用申込状況と比較することで出産後の意識変化の傾向を捉えたうえで、早期の保育サービスの利用意向を把握していきます。

2.2.2 子育て世帯へのニーズ調査 【新規】

『子ども·子育て支援事業計画』におけるニーズ量の見込みを算出するため平成 25 年度に実施したニーズ調査()を再度実施することで、地域ごとの子育て世帯の家庭類型や保育の利用希望を把握し、長期的な整備計画に反映させていきます。

ニーズ調査とは、各自治体で『子ども·子育て支援事業計画』を策定するにあたり、潜在的な需要を含めた保育サービスのニーズ量を算出するため、国が全国統一で定めた調査様式を基本として実施する調査です。 足立区では平成25年度に区内の子育て世帯6,000世帯を対象に一回実施しています(回答約3,000世帯)。

2.2.3 庁内データの一層の活用 【拡充】

庁内の既存データを活用し、地域ごとの子育て中の世帯の分布状況や、保育施設の利用開始年齢の傾向を把握していきます。 また、区内の雇用環境の変化と求職中世帯の入所申込数の関連性を精査し、地域ごとの需要の動向を把握していきます。

30年度整備 28年度整備 29年度整備 ·認可保育所 10園 ·認可保育所 4 園 ·認証保育所 ·認証保育所 2 園 3 園 ·認可保育所 3 園 ·小規模保育 3施設 ·小規模保育 3施設 ·認証 認可 3 園 ·認証 認可 2 園 計 877人 計 550人 計 180人

図3 施設整備計画の改定内容



29年度整備	30年度整備	31年度整備
·認可保育所 10園 ·認証保育所 2園 ·小規模保育 3施設 ·認証 認可 4園	·認可保育所 15園 ·認証保育所 4園	·認可保育所 17園 ·認証保育所 4園 ·小規模保育 1施設
計 1,061人	計 1,197人	計 1,407人

3. 平成29~31年度の施設整備の取り組み

保育施設の整備用地については、一定の広さや、二方向避難ができることなどの諸条件があり、適地を確保することが非常に難しい状況です。これまで、金融機関や不動産団体のご協力をいただきながら、土地情報を収集し、保育施設として活用を検討している土地所有者や保育事業者への働きかけを行ってまいりました。今後、さらに多くの保育施設を整備するため相当数の用地が必要となることから、公有地の活用推進及び、整備・運営事業者の公募方法の見直しを行います。これらの取り組みより、確実な施設整備を行っていきます。

3.1 公有地の活用推進【拡充】

公有地のうち区有地の活用にあたっては、保育施設用地としての要件を満たす用地について、地域における待機児童の将来見込みなどを踏まえ、活用が必要と判断した場合は、関係所管と連携し速やかに用途変更等の手続を行い、早期に活用できるよう全庁的に取り組んでいきます。また、国有地、都有地等についても積極的に情報を収集し、適地があれば国、都等に協力を求めていきます。

なお、既存の施設を活用して保育施設の整備が可能である場合は、用途変更により既存施設を転用することも含め検討し、早期の保育施設開設を目指します。

【参考】公有地の活用状況

平成 29 年 4 月現在	認可保育所 2 園、認証保育所 2 園を公有地にて整備済み(民営化園は除く)
平成 31 年 4 月	旧千住消防跡地(都有地)活用により認可保育所 1 園を開設予定
平成 32 年 4 月	足立清掃事務所中央本町分室(区有地)活用により認可保育所 1 園を開設予定

3.2 整備・運営事業者の随時受付の導入【拡充】

民有地は比較的スピーディーな整備が可能であり、保育需要の状況に応じた柔軟な活用が可能です。民有地において施設を整備するにあたっては、整備・運営事業者が用地を確保したうえで、区の実施する整備・運営事業者の募集に応募し、選定審査会において選定される必要があります。しかしこれまで、物件の所有者が用地の活用を希望する時期と、区の公募・開設時期が合わないことを理由に、保育施設としての活用に至らない物件も見受けられました。このため、平成29年度の追加公募から、整備・運営事業者の募集を随時受付に変更し、年度途中での開園を認めるなど、公募方法やスケジュールの見直しを行い、保育事業者の一層の参入を促していきます。

3.3 1歳児定員の拡大に重点をおいた新規整備 【検討中】

「0歳在園児アンケート調査結果」(P.87~P.89参照)では、0歳児から認可保育所を利用している世帯の6割が「1歳児から確実に入所できるのであれば0歳児の申し込みはしなかった」と回答しており、多くの保護者が在園児の持ち上がりで1歳から入園がしづらくなることを理由として0歳児から前倒しで認可保育所への申し込みを行っている現状が判明しました。

育児·介護休業法の改正により、平成 29 年 10 月から育児休業が最大で「2 歳」まで延長可能となることも踏まえ、整備·運営事業者のニーズ等を調査したうえで 1 歳児からの受け入れ枠を拡大する方策を検討していきます。

3.4 新規整備計画

3.1 から 3.3 の取り組みを踏まえ、平成 29~31 年度の 3 年間で以下の整備を実施します。

整備地域を定めるにあたっては前年度までに引き続き、区内を 13 ブロックに分割し、待機児童や保育需要の分析 (P.36 ~ P.62 参照)を行うとともに、各地域の保育需要の動向を詳しく分析 (P.63 ~ P.71 参照)しました。この結果を踏まえ、優先的な整備が必要な地域について平成 29 年度に認可保育所 10 園を追加公募します。

表 1 【年度別・施設別の新規整備計画】

保育施設等の新規整備による定員増員

保育施設等	平成29年度 整備内容	整備 定員数	平成30年度 整備内容	整備 定員数 (人)	平成31年度 整備内容	整備 定員数 (人)	合 計 (人)
認可保育所	10 関(整備) ・1プロック(柳原一丁目) ・2プロック(江北四丁目) ・3プロック(扇島三丁目) ・4プロック(梅島三丁目) ・5プロック(快東本町五丁目) ・6プロック(綾瀬六丁目) (東和二丁目) ・8プロック(六町二丁目) ・11プロック(西新井四丁目) ・13プロック(舎人五丁目) 5関(公募)	65 76 60 65 65 82 60 76 70 65	5國(整備) ・1ブロック(旧千住消防跡地) ・6ブロック(加平・谷中地域) (綾瀬駅木側) ・11ブロック(西新井地域) 10園(整備) ・1ブロック(干住地域) ・2ブロック(宮城・小台地域) ・2ブロック(宮城・小台地域) ・3ブロック(高野駅地域) ・4ブロック(梅島地域) ・7ブロック(大谷田三、五丁田) (北綾瀬駅北側) ・11ブロック(西新井地域) ・11プロック(西新井地域)	60 100 60 60 60 60 60 60 60 60 60 90	17 園(整備) ・2ブロック(江北・扇地域)	74	2982
					·5プロック(足立清掃事務所 中央本町分室) ·未定(15施設×74人)	74 1110	
認証保育所	1 園(整備) ・5ブロック(中央本町四丁目) 1 園(公募・整備) ・1ブロック(千住大橋駅周辺) 5 園(廃止) ・認可化(3園)廃止(2園)	40 40 -112	4関(公募・整備) ・1ブロック(干住地域) ・4ブロック(梅島地域) ・6ブロック(綾瀬地域) ・13ブロック(竹/塚駅西側)	30 30 30 30	4園(公募・整備) ・未定(4施設×30人)	120	208
家庭的保育	補助者配置による(研修実施)	20	補助者配置による(実施予定)	10	補助者配置による(実施予定)	10	40
小規模保育	1施設(公募・整備) ・8ブロック(六町駅周辺) 2施設(環境整備基準) ・2ブロック(新田一丁目) ・10ブロック(島根四丁目)	19 15 15			1施設(環境整備基準) ・1プロック(千住一丁目)	19	68
(私立)認定こども園	1圓(廃止)						-61
公設民営認可外保育施設	・認証保育所部分を認可化	-61 0		0		0	0
既存保育施設	・増改築(3園) ・認証の認可化(4園) ・定員変更	44 309 48	・増改築(2園)	27			428
	平成29年度 合計(人)	1061	平成30年度 合計(人)	1197	平成31年度 合計(人)	1407	3665

3.4.1 ブロック別の施設整備計画

ブロック別の施設整備計画は次のとおりです。



3.4.1.1 1ブロック 千住地域

千住地域全体で保育需要が増加傾向にあることから、平成 30 年 4 月開所に向け、認可保育所、認証保育所、既存園の定員増及び認証保育所の認可化をそれぞれ 1 園ずつ整備しています。また、平成 31 年 4 月開所の認可保育所 2 園、認証保育所 1 園、平成 32 年 4 月開所の小規模保育 1 施設(大規模マンションに併設)を整備する予定です。

3.4.1.2 2ブロック 江北・新田地域

江北地域では、大規模マンション建設による人口増加により0~2歳児の需要が上昇し、隣接する3ブロック(興野・本木地域)、12ブロック(鹿浜地域)へ保育需要の流出が見られる状況です。今後、保育需要がさらに高まると予測されることから、平成30年4月開所に向け認可保育所1園を整備しています。また、平成31年4月と平成32年4月開所の認可保育所を1園ずつ整備する予定です。

新田地域では、319戸の大規模マンション建設が進められており、全年齢にわたり保育需要が増加する 見込みです。大規模マンション内には平成30年4月開所に向け小規模保育1施設を整備しています。

宮城・小台地域では、平成31年4月開所の認可保育所1園を整備する予定です。

3.4.1.3 3ブロック 興野・本木地域

大型マンションの完成により人口が増加し、0~2歳児の保育需要が多い状況です。平成30年4月開 所の認可保育所1園の整備及び既存園増改築により定員増を図り、また平成31年4月開所の認可保育 所1園を整備する予定です。

3.4.1.4 4 ブロック 梅田地域

平成 21 年以降、慢性的に保育定員数が不足している地域です。平成 29 年度は 0~2 歳児の保育需要が大幅に伸び、待機児童数は大きく増加してしまいました。平成 30 年 4 月開所に向け認可保育所 1 園、認証保育所の認可化 1 園を整備しています。また、隣接する 3 ブロック(興野・本木地域)、5 ブロック(中央本町地域)への保育需要の流出が見られるため、平成 31 年 4 月開所の認可保育所 1 園、認証保育所 1 園を整備する予定です。

3.4.1.5 5 ブロック 中央本町地域

中央本町地域では、0~2 歳児の待機児童が多く、また、隣接地域の保育施設を利用する児童がいるなど、保育需要の動きが複雑化していることから、平成30年4月開所に向け認可保育所1園、認証保育所1園を整備しています。今後、認証保育所の廃止等により、0~2歳児の定員数が減少する予定のため、平成32年4月開所の認可保育所1園を整備する予定です。

3.4.1.6 6 ブロック 綾瀬地域

大規模集合住宅の開発により0~2歳児の保育需要が急増したことから、平成29年度は区内で最も待機児童が多い地域となりました。今後もブロック全体で計900戸以上のマンション開発計画があります。待機児童の多い0~2歳に対応するため、平成30年4月開所に向け認可保育所2園、既存園増改築による定員増加の整備をしています。また、マンション開発に合わせて平成31年4月開所の認可保育所4園(うち1園は6、7ブロックの北綾瀬駅周辺地域)及び認証保育所1園を整備する予定です。

3.4.1.7 7ブロック 佐野地域

加平二丁目に 113 戸のマンションが完成しています。この地域は保育施設が少ない地域であり、特に加平二丁目の地域には保育施設がありません。隣接する6ブロック(綾瀬地域)への需要流出が極めて多いため、平成31年4月開所の認可保育所1園を6ブロックの北綾瀬駅周辺地域で整備します。また、保育需要が本格化する平成31年4月にあわせて認可保育所3園を整備する予定です。

3.4.1.8 8 ブロック 保塚・六町地域

つくばエクスプレス沿線の開発により、保育需要が増加傾向にあり、隣接地域への需要流出が多い地域です。今後も住宅開発が進み、人口・保育需要ともに大きく増加する見込みであることから、平成30年4月開所に向け認可保育所1園、認証保育所(うち1園は地方裁量型認定こども園の認証保育所部分)、の認可化2園及び小規模保育1施設を整備しています。

3.4.1.9 9 ブロック 花畑・保木間地域

8 ブロック(保塚・六町地域)からの需要流入が多いため、同地域への認可保育所等の整備で待機児童を解消していきます。

3.4.1.10 10 ブロック 竹の塚地域

竹の塚地域では、隣接地域からの需要流入が多いため、隣接地域での整備を進めることで待機児童を解消していきます。また平成30年4月開所に向け小規模保育1施設(大規模マンション併設)を整備しています。

3.4.1.11 11 ブロック 伊興・西新井地域

UR団地の建替えに伴い発生した余剰地において、大規模集合住宅が完成しています。3 歳児以降の 定員が不足していることから、隣接地域への需要流出が多い地域です。平成 29 年度以降、保育需要の 伸びが本格化し相当多数の保育需要が見込まれることから、平成 30 年 4 月開所の認可保育所 1 園に加 えて、平成 31 年 4 月開所の認可保育所 2 園を整備する予定です。

3.4.1.12 12 ブロック 鹿浜地域

鹿浜地域では、隣接する 2 ブロック(江北・新田地域)及び 11 ブロック(伊興・西新井地域)からの需要流入が多い地域です。このため、これらの地域に認可保育所を整備すると共に、既存園増改築により平成 31 年 4 月に定員増を実施することで待機児童を解消していきます。

3.4.1.13 13 ブロック 舎人・東伊興地域

戸建て住宅開発が急速に進んでおり、人口、保育需要共に増加しています。平成30年4月開所に向け認可保育所1園を整備しています。また、竹ノ塚駅西側の地域で平成31年4月開所の認証保育所1園を整備する予定です。

4.施設整備以外の取り組み

4.1 保育士確保・定着対策

(1) 現状・課題

新規の保育施設を開園するには、そこで働く保育士の確保が不可欠です。

また、アクション・プランで定めた整備計画を全て実現するには、平成32年4月までに区全体で、新たに550人以上の保育士を確保する必要があります。

しかし、保育は責任が重く、事故への不安が高い仕事であるにも関わらず、それに見合った賃金が 伴わないことから、保育士資格を持っていながら半数が保育士としての就業を希望しないという実態が あります(厚生労働省職業安定局調査、平成25年)。

(2) 取り組み

待機児ゼロに向けた施設整備を確実に進めるため、保育士を目指す方々に区内の大学、保育士養成学校やハローワークと連携し、区内の保育施設への就職を促します。また、これまで実施してきた保育士への経済的支援策を一層拡充するとともに、新たな保育士確保策の検討を行っていきます。

4.1.1 保育士就職相談会や潜在保育士向けの再就職セミナーの継続実施

区内の保育士を養成している大学や専門学校、ハローワーク、都福祉人材センター及び区内保育事業者と連携し、保育士就職相談会や潜在保育士向けの再就職セミナーなどを開催し、区内の保育施設への就職を促す取り組みを進めます。

平成28年度実績

保育士就職相談会・セミナー	参加人数		就職者数
保育再就職セミナー	第1回	22人	
(区民参画推進課共催)	第2回	23人	6人
	第3回	18人	
保育士就職支援研修·就職相談会	研修会	38人	
(東京都保育人材・保育所支援センター主催)	相談会	44人	
保育のお仕事就職面接・相談会	セミナー	14人	16.1
(ハローワーク足立共催)	面接·相談会	40人	16人
保育・幼稚園合同企業セミナー (帝京科学大学)		52人	

4.1.2 保育士への経済的支援策の拡充 【拡充】

区内保育施設へ就職した勤務年数の少ない保育士に対して、経済的支援として平成 28 年1月から保育事業者への「住居借上げ支援事業」を開始しました。また、平成 28 年 4 月から全国初の「奨学金返済支援事業」を開始しました。

平成 28 年 11 月より、「住居借上げ支援事業」について、勤務年数の要件を撤廃し、対象者を拡大しました。平成 29 年度は、新たに栄養士を対象に加え、さらに支援を拡充します。

また「奨学金返済支援事業」についても、平成 29 年度より、勤務年数の要件を撤廃し、支援策を強化します。

平成28年度実績

保育士確保·定着対策事業	申請者数(園数)	実績額(単位:千円)
保育士等住居借上げ支援事業	115人(46施設)	68,150
保育士奨学金返済支援事業	56人(33施設)	3,752

4.1.3 保育士等の子どもの入所調整指数の加算 【新規】

教育・保育施設の定員を拡大し、質を担保するための人材確保に向けて、区内の保育施設や幼稚園で働く(内定者、育児休業復帰予定者含む)保育士、看護師、幼稚園教諭が子どもを保育施設に預けやすくするために、平成30年4月入所から調整指数の加算を実施する予定です。

今後、これらの保育士支援制度の一層の利用促進を図り、保育士の確保・定着につなげるため、積極的なPRを行います。

平成28年度 再就職セミナーチラシ配布実績

チラシ配布先	施設数	配布数
区の窓口等	95	645
区内保育施設(家庭的保育含む)	308	880
子育てサロン	8	80
ハローワーク	3	200
区立小中学校	104	49,000

経済的支援のPRチラシ、リーフレット配布





<u>こうした取り組みにより、施設整備が確実に進むことを人材面から担保するとともに、保育の質の</u> 維持・向上につなげます。

4.2 多様な保育施設の利用促進

(1) これまでの取り組み

平成 27 年度からスタートした子ども・子育て支援新制度では、私立認定こども園や小規模保育、家庭的保育(保育ママ)の利用申込先が、従前の各施設への直接申し込みから区への申し込みに変更となり、認可保育所と同様に利用調整によって入所者を決定する仕組みとなりました。その結果、認可保育所のみを希望する方が多く、特に家庭的保育(保育ママ)に多くの空き定員が生じてしまいました。

こうしたことから、待機児童を解消するため、家庭的保育(保育ママ)をはじめとする地域型保育事業や、認証保育所などの認可外保育施設など、多様な保育施設の利用を促進していくことが重要な課題となり、 平成28年度では家庭的保育のPRチラシによる制度周知や、保育コンシェルジュを増員し、相談機能の強化を図りました。こうした取り組みにより、平成29年度の空き定員の状況は一定の改善が見られました。

(2) 今後の方針

空き定員の状況に改善が見られたものの、待機児アンケートの結果を見ると小規模保育や家庭的保育の特徴や保育料など、まだまだ周知が必要な状況が見られました。そこで、今後、一層の利用促進を図るため、以下の取り組みを行います。

4.2.1 保育コンシェルジュによる利用者支援 【拡充】

これまでの相談体制を強化し、さらに多くの方への利用者支援を行います。

保育コンシェルジュは、保育を必要とする世帯の家庭状況などを伺いながら、個々のニーズや生活状況に適した保育サービスや保育施設の案内・情報提供など、きめ細やかな相談を行います。今後は区役所での個別相談の他、子育てサロンや保健センター、子育て関連イベント等での出張相談やミニ説明会をさらに充実させ、保護者が相談しやすい環境を整え、保育サービスを適切、円滑に利用できるようにします。

また、子育てイベントやSNS等を活用し、保育コンシェルジュ制度の周知に努め、未相談者のさらなる 掘り起こしを行い、アドバイス、サポートすることで、保育施設の入所率の向上を図っていきます。

4.2.2 家庭的保育・小規模保育のPR 【拡充】

これまでのPRでは見えづらかった家庭的保育・小規模保育における日常の保育の様子が伝わる工夫を行い、一人でも多くの方に魅力を感じてもらえるように努めます。

言葉による説明だけでなく、日々の保育の様子を、画像などを活用して、より具体的にわかりやすく保護者に伝えることで、保護者に安心して選んでいただけるようにします。また、さまざまな家庭状況の具体的なモデルケースを作成し、各家庭にマッチした保育を選択していただくことを目指します。

さらに従来配布していた家庭的保育のPRチラシを改定し、小規模保育の紹介もあわせて行う新しいPRチラシを作成します。

4.2.3 家庭的保育における給食提供 【新規】

家庭的保育(保育ママ)では現在、弁当持参となっていますが、給食導入に向けた検証を目的に平成28年度から給食モデル事業を行った結果を受け、平成30年度から一部の家庭的保育(保育ママ)で給食提供を開始します。

今後も給食提供の実施に向けた準備を進め、保護者が家庭的保育(保育ママ)を利用しやすくなるよう 環境整備を行っていきます。

4.2.4 家庭的保育・小規模保育の卒園後の預け先の確保 【新規】

現在、区内には小規模保育 24 施設、家庭的保育(保育ママ)163 事業者が存在していますが、これらのすべてが 0 歳から 2 歳児までの施設であり、平成 32 年 4 月までに、卒園児の 3 歳以降の預け先を確保できるようにすることが各事業者に義務付けられています。

区では、今後、平成30年4月に一部で実施するとともに、3歳以降の保育等の利用実態を踏まえながら区全体での実施方法を検討し、なるべく早い時期に前倒ししてできるよう、安心して就学前まで預けられる仕組みを構築していきます。

4.2.5 東京都認証保育所の利用者助成制度

東京都認証保育所の保育料については、年齢区分に応じた一律の助成に加え、平成 27 年度から低所得者向けの助成を行ってきました。しかし、国は段階的に認可施設における保育料の無償化を実施しており、認可施設との保育料への負担感の差が生じています。そこで、これまで行ってきた助成に加えて、平成 29 年度からは世帯の多子状況に応じた助成を実施しました。今後も国の動向を注視しながら助成を検討し、利用者の負担を軽減することで認証保育所の利用促進を図ります。

4.3 保育事業者と連携した受入れ拡大

4.3.1 定期利用保育事業の実施 【新規】

足立区では 0 歳から 2 歳児の定員数が不足し、多くの児童が待機児童となっています。一方、新設の認可保育所では、開設当初に 4·5 歳児の空き定員が多く発生しています。

こうした状況を踏まえ、新設の認可保育所等の空きスペースを活用し、臨時的に低年齢児を受け入れる「定期利用保育事業」を実施する保育事業者を支援することで、喫緊の保育ニーズに対応していきます。

【定期利用保育事業の概要】

実施場所	認可保育所等の空きスペース
対 象 者	保護者の就労、求職活動等により保育の必要性が認められる児童
対象年齢	0 歳児から 2 歳児(実施園による)
定 員	実施する各園につき5人から10人程度
利用可能期間	最大で1年間(年度ごとに実施)
利用方法	保育所と利用者の直接契約

なお、「待機児童実態調査結果」(P.72 参照)により、翌年度以降も利用できる保障がないことや、利用料が高いことを理由として「利用を希望しない」と回答した世帯が多かったことを踏まえ、利用しやすい制度設計を検討のうえ「平成30年度版保育施設利用申込案内」でお知らせしていきます。

4.3.2 認証保育所の認可化移行支援

(1) 現状・課題

東京都認証保育所は東京都独自の保育制度であり、施設に直接利用申込みができる保育所です。保育の必要性を問わず、また保育料が応益負担であることから、認可保育所ではな〈認証保育所を選ばれる保護者の方も多〈いらっしゃいます。しかし、認証保育所の制度上、低年齢児に重点を置いた定員設定を義務付けられているため、2歳児から3歳児への進級の際に多〈の児童が別の保育施設等に転園しなければなりません。保護者の方からは「就学前まで預けられる認可保育所に移行してほしい」などのご要望をいただいている認証保育所もあります。

(2) 取り組み

認証保育所の独自の役割を鑑み、要望いただいている全ての認証保育所を認可保育所に移行させることはできません。しかしながら、今後、小規模保育・家庭的保育の卒園児の受皿となる定員を確保していく必要があることから、これまで、3歳児からの受け入れ定員が不足する見込みの地域(千住、梅田、中央本町、綾瀬、保塚・六町)において一定の条件を満たす認証保育所A型の認可化移行を支援してまいりました。

今後とも、地域ごとの定員整備の状況等を踏まえ、必要な地域において支援を実施していきます。

3 歳児以降の定員の不足が見込まれる地域にあり、0 歳から 2 歳児の定員を最低限維持したうえで 5 歳児まで持ち上がり可能な一定規模の定員が確保できること等

(3) 実績及び今後の予定

平成 29 年 4 月	3 園 認可保育所に移行
	(綾瀬地域 2 園、保塚·六町地域 1 園)
平成 30 年 4 月	4 園 認可保育所に移行予定
十以30千4月	(千住地域、梅田地域、保塚·六町地域 2 園)

(4) 足立区における認証保育所制度の考え方

東京都認証保育所は、低年齢保育や長時間保育などの多様化する保育ニーズに応えることができる 利便性の高い施設であり、区の待機児童対策に大きな役割を果たしています。このため、区では今後も 必要な施設と考え、新規整備を進めていきます。

なお、今後、認証保育所の制度に大きな変更等がある場合には、その時点で足立区の状況を踏まえ 方針を検討していきます。

4.3.3 大規模集合住宅建設時の保育施設の設置協議

平成 27 年 7 月 1 日改正の「足立区環境整備基準」において、事業者は住戸数(単身者向けの住戸を除く)が50 戸以上の集合住宅を建設する場合は、子育て支援施設等(各種保育施設又はキッズルーム等)の自主的設置について事前に区と協議することになりました。これに基づき、区では地域の保育需要の状況に応じて、大規模マンションの建設事業者と事前協議を行い、必要な地域では保育施設等の設置を要請しています。

環境整備基準に基づ〈事業者の協議内容は下表のとおりです。

住戸数 (単身向け住戸除く)	協議事項(環境整備基準第42条)
50 戸以上	子育て支援に供する施設の設置について、事前に区と協議するものとする
100 戸以上 200 戸未満	保育施設の設置に努めなければならない
200 戸以上	保育施設を設置しなければならない

なお、本要綱の協議に基づき、今後、以下の施設を設置する予定です。

平成 30 年 4 月開設予定 小規模保育 2 施設

- ・ 新田一丁目マンション内(319戸) 小規模保育 定員 15人(予定)
- ・ 島根四丁目マンション内(81 戸) 小規模保育 定員 15 人(予定)

平成 32 年 4 月開設予定 小規模保育 1 施設

・ 千住一丁目マンション内(169 戸) 小規模保育 定員 19 人(予定)

()内はファミリー向けの住戸数

4.3.4 企業主導型保育事業の設置促進 【拡充】

(1) 企業主導型保育事業について

企業主導型保育事業とは、企業が一定の基準のもとに、主に従業員の子どものために設置する保育施設について、整備費及び運営費を助成する内閣府の事業です。従業員枠のほかに、利用定員の50%を上限として地域枠を設け、従業員以外の世帯の児童を受け入れることができます。

企業主導型保育事業の特徴(内閣府ホームページより)

- ・ 働き方に応じた多様で柔軟な保育サービスが提供できます。 (延長・夜間、土日の保育、短時間・週2日のみの利用も可能)
- 複数の企業が共同で設置することができます。
- 他企業との共同利用や地域住民の子供の受け入れができます。
- ・ 運営費・整備費について認可施設並みの助成が受けられます。

(2) 設置の促進について

本事業については、設置・運営について区が直接関与する権限はありませんが、求職活動中の方でも利用が可能であること、企業側も従業員等の確保・定着を図ることができるなど、区民・企業ともにメリットがあります。これまで、足立区ではワーク・ライフ・バランス認定企業を対象に本制度の周知を行ってまいりました。今後は更に多くの区内企業に制度を周知していくとともに、設置を検討している企業や保育事業者に対して地域の保育需要等の情報提供を行うなどの支援を実施し、積極的に設置を促進していきます。

【参考】足立区における企業主導型保育の設置状況(平成 29 年 8 月現在)

設置数	6 力所
定員数	計 119 人分

5.必要財源の確保

(1) 必要経費

本プランで見直した平成 29~31 年度の整備計画に基づく整備を進めるためには、施設整備費と毎年の運営費(29 年度以降に整備した施設にかかる増分)の合計 168 億円以上(うち、平成 30~31 年度分は約 136.7 億円)が必要になると想定しています。このうち、区負担分は 55.3 億円(うち、平成 30~31 年度分は約 51.7 億円)と想定しています(表 2)。

表 2 施設整備費・運営費(見込み)

(単位:億円)

	H29 予算	H30 予算	H31 予算	H30-31 小計	H29-31 合計
整備費	31.8 (3.6)	29.2 (3.9)	30.0 (4.2)	59.2 (8.1)	91.0 (11.7)
運営費 H29 整備分	-	24.2 (12.9)	24.2 (12.9)	77.5	48.4 (25.8)
運営費 H30 整備分	-	-	29.1 (17.8)	(43.6)	29.1 (17.8)
改正箇所 (網掛け)合計	31.8 (3.6)	53.4 (16.8)	83.3 (34.9)	136.7 (51.7)	168.5 (55.3)

()内は区負担分

(2) 財源の確保

施設整備費については、国庫補助金及び、都支出金を活用した後も11.7億円(うち、平成30~31年度分は約8.1億円)程度の区負担金が発生すると想定しており、これに対して子ども・子育て施設整備基金を活用してまいります。子ども・子育て施設整備基金については、引き続き活用を図るため計画的な積み立てを検討していきます。

資料編

資料1 足立区の保育の現状と施設整備

1.待機児童の状況

足立区の待機児童は、平成 23 年の 485 人をピークに減少傾向にありますが、ここ数年は横ばいの状態が続いています。平成 29 年は対前年比で 68 人増加し 374 人となりました。

なお、足立区の待機児童数は、23区中6番目に多い状況です。

待機児童数の推移グラフ



2.年齢別待機児童の内訳

0 歳から 2 歳児が 97%以上を占めている。

年齢別待機児童の内訳は、0 歳から 2 歳児が 97.1%と高い割合を占めており、特に 1 歳児は 209 人と 55.9%を占めています。前年度と比較すると0歳児が6人減少していますが、1歳児は50人増、2歳児は31人増と、大きく増加しました。3歳から5歳児の待機児童数は合計で7人減少しています。

待機児童数の推移

(各年4月1日現在)

		23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
待機児童数(人)		485	397	294	330	322	306	374
うち0-2歳待機児童数	0-2歳	440	336	241	287	286	288	363
うち3-5歳待機児童数	3-5歳	45	61	53	43	36	18	11
0-2歳の割合	•	90.7%	84.6%	82.0%	87.0%	88.8%	94.1%	97.1%

前年度待機児童数との対比

(各年4月1日現在)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
29年度待機児童数	78	209	76	8	2	1	374
28年度待機児童数	84	159	45	17	1	0	306
28年度と29年度との差	6減	50増	31増	9減	1増	1増	68増

3. 地域別待機児童の状況

区内の多くの地域で待機児童が増加している。

地域(ブロック)別待機児童数の推移をみると、平成 29 年度は綾瀬地域、興野・本木地域及び、梅田地域では 20 人以上急増しました。さらに、江北・新田地域、伊興・西新井地域で 10 人以上増加したほか、鹿浜地域、舎人・東伊興地域など、これまで待機児童数が比較的少なかった地域も増加の傾向にあります。また、慢性的に待機児童数が多い千住地域、中央本町地域では、保育定員の大幅な増加を実現したため前年に引き続き減少しました。

地域別待機児童数の推移

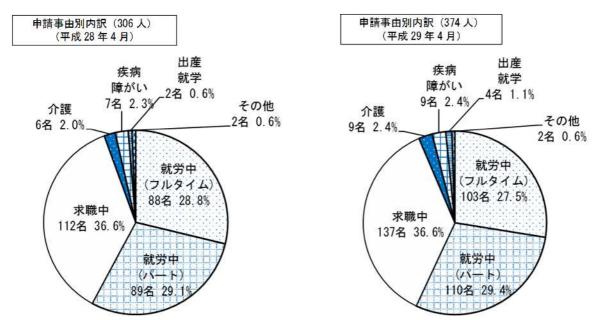
(各:	年4月	11 E	現	在)

	プロック	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年		年 ~ 2歳児数	0-2歳の 割合
1	千住地域	19	30	38	64	48	23	42	81	58	42	(42)	100.0%
2	江北·新田地域	9	34	38	46	46	25	26	27	22	33	(32)	97.0%
3	興野·本木地域	4	17	19	28	27	13	20	27	19	40	(38)	95.0%
4	梅田地域	11	38	40	46	49	28	34	23	27	48	(47)	97.9%
5	中央本町地域	40	47	57	55	56	42	41	39	28	14	(14)	100.0%
6	綾瀬地域	29	67	52	49	36	36	35	32	39	61	(60)	98.4%
7	佐野地域	16	35	21	40	13	10	20	11	17	25	(24)	96.0%
8	保塚·六町地域	13	29	34	29	25	17	19	25	23	14	(14)	100.0%
9	花畑·保木間地域	16	22	29	16	16	26	22	15	13	10	(9)	90.0%
10	竹の塚地域	19	22	31	23	22	17	21	12	15	19	(16)	84.2%
11	伊興·西新井地域	10	6	23	17	16	17	10	11	13	23	(23)	100.0%
12	鹿浜地域	5	27	14	23	25	19	13	6	16	24	(23)	95.8%
13	舎人·東伊興地域	8	31	36	37	16	16	26	12	14	21	(21)	100.0%
	区内小計	199	405	432	473	395	289	329	321	304	374	(363)	97.1%
	管外委託分	6	13	4	12	2	5	1	1	2	0	(0)	0%
	合計	205	418	436	485	397	294	330	322	306	374	(363)	97.1%

4.申請事由別待機児童の内訳

フルタイム就労世帯、パート就労世帯及び求職中世帯のいずれにおいても待機児童数が増加している。

平成 29 年度は待機児童数の増加に合わせて就労世帯、求職中世帯共に前年に比べ増加しています。 フルタイム就労世帯の割合が若干減少したものの、パート就労世帯、求職中世帯と共に全体を占める割合 が引き続き多い状況です。



待機児童の申請事由別内訳グラフ

平成 24 年から平成 29 年の申請事由別内訳

申請事由	平成24年		平成	25年	平成	26年	平成	27年	平成	28年	平成	29年		
中胡争用	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
就労中(フルタイム)	68	17.1%	57	19.4%	47	14.2%	93	28.9%	88	28.8%	103	27.5%		
就労中(パート)	100	25.2%	88	29.9%	96	29.1%	97	30.1%	89	29.1%	110	29.4%		
求職中	207	52.1%	128	43.5%	156	47.3%	110	34.2%	112	36.6%	137	36.6%		
介護	7	1.8%	4	1.4%	6	1.8%	7	2.2%	6	2.0%	9	2.4%		
疾病障がい	11	2.8%	10	3.4%	19	5.8%	8	2.5%	7	2.3%	9	2.4%		
出産·就学	4	1.0%	7	2.4%	5	1.5%	5	1.6%	2	0.6%	4	1.1%		
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	2	0.6%	2	0.6%	2	0.6%		
合計	397	100.0%	294	100.0%	330	100.0%	322	100.0%	306	100.0%	374	100.0%		

フルタイム就労世帯の待機児童については、下記表「地域別・年齢別待機児童数」のとおりです。千住地域や綾瀬地域などのマンション開発の影響が大きい地域で多い状況があります。また、年齢別では、103 人中 102 人が 0 歳から 2 歳児であり、特に 1 歳児が約 7 割を占めています。

地域別・年齢別待機児童数(全世帯とフルタイム就労世帯の比較)

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

地域別·年齢別 待機児童数 全体(374名)

地域別・年齢別 待機児童数 フルタイム就労世帯(103名)

	ブロック	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	構成比		ブロック	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	構成比
1	千住地域	15	21	6				42	11.2%	1	千住地域	12	7					19	18.4%
	江北·扇地区	9	9	7		1		26	7.0%		江北·扇地区	4	5					9	8.7%
2	新田地域							0	0.0%	2	新田地域							0	0.0%
	宮城·小台地域	2	3	2				7	1.9%		宮城·小台地域							0	0.0%
3	興野·本木地域	8	17	13	2			40	10.7%	3	興野·本木地域	2	7	1	1			11	10.7%
4	梅田地域	17	23	7	1			48	12.8%	4	梅田地域	5	9					14	13.6%
5	中央本町地域	1	13					14	3.7%	5	中央本町地域		6					6	5.8%
6	綾瀬地域	6	45	9	1			61	16.3%	6	綾瀬地域		26					26	25.2%
7	佐野地域	1	16	7	1			25	6.7%	7	佐野地域		1					1	1.0%
8	保塚·六町地域	4	7	3				14	3.7%	8	保塚·六町地域							0	0.0%
9	花畑·保木間地域	3	4	2	1			10	2.7%	9	花畑·保木間地域							0	0.0%
10	竹の塚地域	2	9	5	2	1		19	5.1%	10	竹の塚地域	1	3					4	3.9%
11	伊興·西新井地域	6	14	3				23	6.1%	11	伊興·西新井地域	1	4					5	4.9%
12	鹿浜地域	2	12	9			1	24	6.4%	12	鹿浜地域		3					3	2.9%
13	東伊興·舎人地域	2	16	3				21	5.6%	13	東伊興·舎人地域	1	4					5	4.9%
	管外							0	0.0%		管外							0	0.0%
	合 計	78	209	76	8	2	1	374	100.0%		合 計	26	75	1	1	0	0	103	100.0%

構成比 20.9% 55.9% 20.3% 2.1% 0.5% 0.3% 100.0%

構成比 25.2% 72.8% 1.0% 1.0% 0.0% 0.0% 100.0%

地域別待機児童数は、待機児童となっている児童が第一希望で入園希望した保育園所在地ごとにカウントしています。 フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上の就労を常態(外勤・自宅内)

ブロック別待機児童内訳(申請事由別)

亚	成.29年4	日1	日現在

1プロック (千住地域) 2	地域	申請事由	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
子子 1	- "				2/32	0730	17320	0732	
(千住地域) 欠職中	1プロック				3				
定員									
接無、関がい 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(0.111			J				12
定員 受人可能数 (128)				1					- 1
受人可能数 不存在 その他 4 4 4 4 4 4 4 4 5 9 9 3 1 7 7 9 3 1 7 9 9 1 7 1 7 7 1 7 7 1 7 7 1 7 7 1 1 1 7 7 1	—								-
(128) 合計 15 21 6 42 2ブロック (江北・新田・地域)									
(128) 合計 15 21 6 42 2 ブロック (江北・新田 地域)	文八円能数								
2 ブロック (江北・新田地域) 就労中(ブート) 1 2 3 1 7 7 7 ブロック (江北・新田地域) 地域) 就労中(ブート) 1 2 3 1 7 7 7 7 7 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(400)		45	04	_				40
(江北・新田 東藤中 1	(128)				0				
(江北・新田地域)	2 ブロック				_				
一切							1		
度積			6		6				
定員 出産、就学 不存在 その他 11 11 12 9 1 33 3			\square	1					1
(87)									
(87) 合計 11 12 9 1 33 3 プロック (興野・本木地域)									
(87) 合計 11 12 9 1 33 3 ブロック (興野・本本地域) 対対中(フルタイム) 2 7 1 1 1 11 11 東端中 3 5 7 1 1 16 介護 中東本町 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	受入可能数	不存在							
3プロック 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一		その他							
現野・本木 地域 対対 中 (パート)	(87)	合 計	11	12	9		1		33
(興野・本本 地域)		就労中(フルタイム)	2	7	1	1			11
地域		就労中(パート)	3	3	5				11
一						1			
	1世19()								
定員 受入可能数 不存在									
受人可能数 不存在 1	完昌								
その他				1					1
(7) 合計 8 17 13 2 40	27()1022								
就労中(フルタイム) 5 9 1 14	(7)		8	17	13	2			40
4 ブロック (梅田地域) 就労中(パート) 9 4 1 1 18 介護疾病。障がい 1 1 1 18 疾病。障がい 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(,,		-			_			
(梅田地域) 水職中 2 9 6 1 18 7 2 3 7 1 1	4 プロック			_	1				
テ護疾病、障がい 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					-	1			
定員 受入可能数 (66) 合計 17 23 7 1 48 (66) 合計 17 23 7 1 48 (5 プロック (中央本町 地域)	(1411-13-27)			- 3					- 10
定員 受入可能数 (66)			1						- 1
受入可能数 不存在 その他 17 23 7 1 48 が労中(フルタイム) 6 分談 ウ(パート) 1 1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			- 1	- 1					
(66) 合計 17 23 7 1 48 数労中(フルタイム) 6 6 6 分談労中(ブルタイム) 7 1 7 2 3 7 1 48 数労中(ブルタイム) 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6									
(66) 合計 17 23 7 1 48	又八寸能奴								
就労中(フルタイム) 6 6 6 6 6 6 6 6 6	(66)		17	23	7	1			48
5 ブロック (中央本町 地域) 就労中(パート) 1 1 定員 受入可能数 一次議 疾病、障がい 1 1 6 ブロック (接瀬地域) 合 ブロック (接瀬地域) 26 26 26 受入可能数 1 1 1 6 ブロック (接瀬地域) 2 1 1 1 1 定員 受入可能数 2 1 1 1 1 定員 受入可能数 2 1 1 1 1 での他 1 1 1 1 1 での他 1 1 1 1 1 で野地域) 2 1 1 1 1 1 定員 受入可能数 2 1 1 1 1 1 1 定員 受入可能数 2 1	(00)								
中央本町 水職中	5 ブロック								
定員 (72) 会計 1			1 1						
定員 疾病、障がい 1 1 受入可能数 不存在 20他 1 (72) 合計 1 13 14 就労中(フルタイム) 26 26 6プロック (綾瀬地域) 就労中(パート) 2 11 1 1 1 14 14 変積 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	地域)		1						1
定員 受入可能数 (72) 合計 1 13 14 就労中(フルタイム) 26 26 26 6 ブロック (綾瀬地域) 就労中(パート) 2 11 1 1 14 永職中 4 6 6 1 17 介護 1 1 1 2 世産、就学 1 1 1 2 出産、就学 1 1 1 1 2 出産、就学 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		求職中	1						1
受入可能数 不存在 その他 113 14 6プロック (綾瀬地域) 就労中(プルタイム) 26 26 成労中(パート) 211 1 14 (綾瀬地域) 水職中 46 61 17 介護 安人可能数 1 1 1 1 定員 受入可能数 2 1 1 1 1 での他 (77) 合計 645 91 61 就労中(フルタイム) 1 1 1 が護 テた員 受入可能数 1 1 1 で度 その他 1 1 1 不存在 その他 1 1 1 不存在 その他 2 1 1 1	•	求職中 介護	1	5					5
(72) 合計 1 13 14 14 15 15 16 17 17 17 17 17 17 17 18 18 18 19 18 18 19 1 18 18 19 1 18 18 19 18 18 19 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18		求職中 介護 疾病、障がい	1	5					1 5
(72) 合計 1 13 14 14		求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学	1	5					1 5
就労中(フルタイム) 26 26 26 26 26 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1		求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在	1	5					1 5
6 ブロック (綾瀬地域) 就労中(パート) 2 11 1 14 水職中 4 6 6 1 17 介護 疾病、障がい 1 1 1 2 要人可能数 不存在 1 1 1 (77) 合計 6 45 9 1 61 就労中(フルタイム) 1 1 1 1 が労中(フルタイム) 1 1 1 16 水職中 1 3 1 1 6 介護 疾病、障がい 1 1 1 1 定員 受入可能数 1 1 1 1 ア存在 その他 2 1 1 1	受入可能数	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他		5 1 1					1 5
(綾瀬地域) 求職中 4 6 6 1 177 介護	受入可能数	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合 計		5 1 1					1 5 1 1
テ (受入可能数 (72)	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム)	1	5 1 1 26					1 5 1 1 14 26
定員 疾病、障がい 1 1 1 受入可能数 不存在 スの他 スのんの スのんのから	受入可能数 (72) 6 プロック	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート)	1 2	5 1 1 13 26 11					1 5 1 1 1 26 14
定員 受入可能数	受入可能数 (72) 6 プロック	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中	1 2	5 1 1 13 26 11 6		1			1 5 1 1 1 26 14 17
受入可能数 不存在 その他 6 45 9 1 61 7 ブロック (佐野地域) 就労中(フルタイム) 1 1 1 16 変職中 1 3 1 1 6 変病、障がい 1 1 1 1 定員 受入可能数 1 1 1 1 不存在 その他 その他 1 1 1	受入可能数 (72) 6 プロック	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中	1 2	5 1 1 26 11 6	6	1			1 5 1 1 1 26 14 17 1
その他 6 45 9 1 61 オプロック (佐野地域) 就労中(プルタイム) 1 1 1 変職中 1 3 1 1 6 介護 疾病、障がい 1 1 1 1 世産、就学 1 1 1 不存在 その他 その他 1 1 1	受入可能数 (72) 6 プロック	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中 介護 疾病、障がい	1 2	5 1 1 26 11 6	6	1			1 5 1 1 14 26 14 17 1
(77) 合計 6 45 9 1 61 就労中(フルタイム) 1 1 1 7プロック (佐野地域) 就労中(パート) 12 4 16 水職中 1 3 1 1 6 介護 疾病、障がい 1 1 1 型産、就学 1 1 1 不存在 その他 その他 1 1	受入可能数 (72) 6 ブロック (綾瀬地域)	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中 介護 疾病、障がい	1 2	5 1 1 26 11 6	6 1	1			1 5 1 1 14 26 14 17 1
就労中(フルタイム)	受入可能数 (72) 6 ブロック (綾瀬地域) 定員	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中 介疾病、障がい 出産、就学	1 2	5 1 1 26 11 6	6 1	1			1 5 1 1 14 26 14 17 1
7 ブロック (佐野地域) 就労中(パート) 12 4 16 水職中 1 3 1 1 6 介護 疾病、障がい 1 1 1 出産、就学 1 1 1 不存在 その他 1 1 1	受入可能数 (72) 6 ブロック (綾瀬地域) 定員	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学	1 2	5 1 1 26 11 6	6 1	1			1 5 1 1 14 26 14 17 1
(佐野地域) 求職中 1 3 1 1 6 介護 疾病、障がい 1 1 定員 受入可能数 出産、就学 1 1 不存在 その他 - 1 1	受入可能数 (72) 6 ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中 介護 疾病、障がい 出産疾。就学 不存在 その他	1 2 4	5 1 1 26 11 6	6 1 1				1 5 1 1 14 26 14 17 1 2
(佐野地域) 求職中 1 3 1 1 6 介護 疾病、障がい 1 1 定員 受入可能数 出産、就学 1 1 不存在 その他 - 1 1	受入可能数 (72) 6 ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中 介護 疾病、障がい 出産疾。就学 不存在 その他	1 2 4	5 1 1 1 26 11 6 1 1	6 1 1				1 5 1 1 14 26 14 17 1 2 1
介護 1 疾病、障がい 出産、就学 1 でうしている 1 でうしている 1 本の他 1	受入可能数 (72) 6ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数 (77)	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(プレタイム) 就労中(パート) 求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(プレタイム)	1 2 4	13 13 26 11 6 1 1	6 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
疾病、障がい 出産、就学 1 受入可能数 不存在 その他	受入可能数 (72) 6ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数 (77) 7ブロック	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(パート) 就労戦中(パート) 求職中 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(パート) 就労戦中 がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(パート)	1 2 4	13 13 26 11 6 1 1 1	9 4	1			1 1 5 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
定員 出産、就学 1 1 受入可能数 不存在 その他	受入可能数 (72) 6ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数 (77) 7ブロック	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中 介疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就学 がいい は は が が が い が い が が い が い が が い が が が が	1 2 4	13 13 26 11 6 1 1 1	9 4 1	1			11 5 11 14 26 14 17 1 2 1 61 16 6
受入可能数 不存在 その他	受入可能数 (72) 6ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数 (77) 7ブロック	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(ブルタイム) 就労中(バート) 求職 中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就学 不存在 その他 合計 就学 不存在 の他 合計 就学 不存在 の他 合計 就労中(ブルタイム) 就端中	1 2 4	13 13 26 11 6 1 1 1	9 4 1	1			11 5 11 14 26 14 17 1 2 1 61 16 6
その他	受入可能数 (72) 6 ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数 (77) 7 ブロック (佐野地域)	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(フルタイム) 就労中(パート) 求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(パート) 就勝中 がい 対域 がい は産、対 が対中(アート) 就労中(アート) 就職時 疾病、障がい	1 2 4	13 13 26 11 6 1 1 1	9 4 1	1			11
	受入可能数 (72) 6 ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数 (77) 7 ブロック (佐野地域)	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(パート) 就職中 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 が労中(パート) 就職で 疾病、障がい 出で、就労中(パート) 就労中(パート) 就労中(パート) 就労戦中 の他 合計 就労中(パート) 求職 に関する。 はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいいのでは、はいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいの	1 2 4	13 13 26 11 6 1 1 1	9 4 1	1			11
	受入可能数 (72) 6ブロック (綾瀬地域) 定員 受入可能数 (77) 7ブロック (佐野地域)	求職中 介護 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(パート) 就労申(パート) 求職時 疾病、障がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(パート) 求職時 がい 出産、就学 不存在 その他 合計 就労中(パート) 就労中(パート) 求職時 対労中(パート) 求職時 対策病、障がい	1 2 4	13 13 26 11 6 1 1 1	9 4 1	1			11

						_	_	現在
地域	申請事由	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
8 ブロック	就労中(フルタイム)							
(保塚・六町	就労中(パート)		_	2				2
地域)	求職中	2		1	_			9
	介護	1	1		_			2
	疾病、障がい	1				_	_	1
定員	出産、就学				_			
受入可能数	不存在							
	その他							
(94)	合 計	4	7	3				14
9 ブロック	就労中(フルタイム)							
(花畑・保木間	就労中(パート)	1	2	2	1			6
地域)	<u>求職中</u>	2	2					4
	介護							
	疾病、障がい							
定員	出産、就学							
受入可能数	不存在							
	その他							
(40)	合 計	3	4	2	1			10
	就労中(フルタイム)	1	3					4
10プロック	就労中(パート)		2	1	2			5
(竹の塚地域)	求職中		4	4		1		9
	介護	1						1
	疾病、障がい							
定員	出産、就学							
受入可能数	不存在							
	その他							
(51)	合 計	2	9	5	2	1		19
	就労中(フルタイム)	1	4					5
11プロック	就学由(パート)	2	5	1				8
(伊興・西新井	求職中	2	4	1				7
地域)	介護		1					1
	疾病、障がい	1		1				2
定員	出産、就学							
受入可能数	不存在							
	その他							
(16)	合 計	6	14	3				23
	就労中(フルタイム)		3					3
12ブロック	就労中(パート)		6	4				10
(鹿浜地域)	求職中	2	1	4			1	8
	介護		1					1
	疾病、障がい		1					1
定員	出産、就学							
受入可能数	不存在			1				1
	その他			Ė				
(34)	合 計	2	12	9			1	24
	就労中(フルタイム)	1	4					5
13プロック	就労中(パート)		4	2				6
(東伊興・舎人	求職中	1	8	1				10
地域)	介護	<u> </u>	J					
	疾病、障がい							
定員	出産、就学							
受入可能数	不存在							
127 (3,503)	その他							
(25)	合 計	2	16	3				21
(20)	就労中(フルタイム)							
	就労中(パート)							
管外	求職中							
	介護							
	疾病、障がい							
	出産、就学							
	不存在							
	その他							
	合計							C
L	н п							

【参考】

申請事由別の合計

	773 OZ EL BT								
	申請事由	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
	就労中(フルタイム)	26	75	1	1			103	27.5%
足立区全体	就労中(パート)	20	57	29	3	1		110	29.4%
企立区主 体	求職中	27	64	40	4	1	1	137	36.6%
	介護	2	6	1				9	2.4%
	疾病、障がい	3	4	2				9	2.4%
	出産、就学		2	2				4	1.1%
定員	不存在		1	1				2	0.6%
受入可能数	その他							0	0.0%
(736)	合 計	78	209	76	8	2	1	374	

20.9% 55.9% 20.3% 2.1% 0.6% 0.2%

構成比

定員受入可能数の内訳(足立区全体)

127771 1 5 110711 (1222221)											
保育施設	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計				
認可保育所	4	4	8	113	123	192	444				
認定こども園	0	0	2	12	9	8	31				
小規模保育	39	10	36	-	-	-	85				
家庭的保育	25	38	6	-	-	-	69				
足立区認定家庭的保育	3	5	0	-	-	-	8				
公設認可外	1	0	0	16	12	8	37				
認証保育所	22	5	20	7	4	4	62				
合 計	94	62	72	148	148	212	736				
「定員受入可能数」は、各保育施設の「空き定員数」を示す。											

認証保育所以外は、平成29年5月入園分の募集人数

5.保育需要の動向

(1) 保育需要数の推移

0歳から2歳児、3歳から5歳児ともに保育需要数は、継続して増加している。 全年齢(0歳から5歳児)においても、平成21年度以降、上昇を続けている。

保育需要数と保育定員数を比較すると、0歳から5歳児では、平成26年度以降は保育定員数が上回っていますが、0歳から2歳児では、平成29年度に保育需要数が保育定員数を上回りました。

保育需要数の内訳及び推移【0歳から5歳児】

(人)(各年4月1日現在)

区分		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
認可保育所	ア	8,530	8,638	8,799	8,874	8,811	9,037	9,113	9,446	9,775	10,230
認定こども園(公立)	ト	ı	-	-	-	271	264	265	254	261	266
認定こども園(私立)	ゥ	-	-	48	136	280	411	460	326	288	280
小規模保育 等	Н	63	77	47	55	167	233	260	289	301	356
家庭的保育(区認定事業含む)	ォ	145	210	265	322	333	361	411	343	407	448
公設民営認可外	Ţ	ı	-	-	-	46	84	105	124	128	112
東京都認証保育所	#	602	716	803	945	1,059	1,123	1,193	1,176	1,167	1,025
子育て応援隊	ク	-	-	-	-	26	27	25	59	33	23
計(ア~ク)	Χ	9,340	9,641	9,962	10,332	10,993	11,540	11,832	12,017	12,360	12,740
待機児童数	Υ	205	418	436	485	397	294	330	322	306	374
保育需要数(X+Y)		9,545	10,059	10,398	10,817	11,390	11,834	12,162	12,339	12,666	13,114
【参考】											
保育定員数		9,916	9,974	10,388	10,738	11,416	11,832	12,180	12,609	13,094	13,587

保育需要数の内訳及び推移【0歳から2歳児】

(人)(各年4月1日現在)

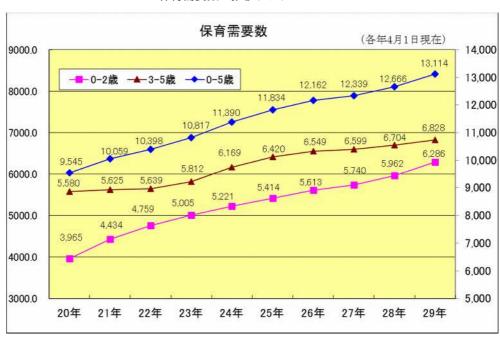
									(人)(H-7011
区分		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
認可保育所	ア	3,107	3,196	3,341	3,364	3,318	3,396	3,438	3,603	3,792	4,026
認定こども園(公立)	1	-	-	-	-	84	79	84	81	84	85
認定こども園(私立)	ゥ	-	-	34	34	61	94	92	91	80	90
小規模保育 等	エ	60	74	47	55	167	233	260	289	300	352
家庭的保育(区認定事業含む)	オ	145	210	265	322	333	361	411	343	407	448
公設民営認可外	カ	-	-	-	-	20	49	47	49	49	47
東京都認証保育所	+	474	571	664	790	876	934	969	939	929	852
子育て応援隊	ク	-	-	-	-	26	27	25	59	33	23
計(ア~ク)	Χ	3,786	4,051	4,351	4,565	4,885	5,173	5,326	5,454	5,674	5,923
待機児童数	Υ	179	383	408	440	336	241	287	286	288	363
保育需要数(X+Y)		3,965	4,434	4,759	5,005	5,221	5,414	5,613	5,740	5,962	6,286
【参考】											
保育定員数		4,137	4,155	4,414	4,690	5,179	5,437	5,568	5,815	6,022	6,254

0歳から2歳児の推移

平成 21 年度以降、急増してきた 0 歳から 2 歳児の保育需要数は、これまで一貫して増加しています。年度ごとの 0 歳から 2 歳児の増加数は、平成 24 年度から 200 人前後で推移していましたが、平成 29 年度には 324 人増となり、7年ぶりに 300 人を超える大きな増加数となりました(24 年度:216 人増、25 年度:193 人増、26 年度:199 人増、平成 27 年度:127 人増、平成 28 年度 222 人増、平成 29 年度 324 人増)。

3歳から5歳児の推移

3 歳から 5 歳児の需要数は、年齢移行により一定の上昇を続けています。平成 26 年度から、増加数は 100 人前後のゆるやかな増加となっています(24 年度:357 人増、25 年度:251 人増、26 年度:129 人増、平成 27 年度:50 人増、平成 28 年度 105 人増、平成 29 年度 124 人増)。



保育需要数の推移グラフ

足立区における「保育需要数」は、認可保育所、認定こども園(保育認定)、小規模保育、家庭的保育、 認証保育所、公設民営認可外保育施設、幼稚園の預かり保育、企業主導型保育、子育て応援隊(月 ぎめ保育)に預けている児童数(管外利用者を含む)に待機児童数を加えて算出しています。

(2) 保育需要率の推移

保育需要率は、平成 29 年 4 月 1 日現在、0 歳から 5 歳児全体で 40.3%となり、昨年見込んでいた推計値 39.4%より 0.9 ポイント上回った。特に 0 歳から 2 歳児は 2.9 ポイント増と、推計値の約 2 倍の急激な伸びを示した。

「保育需要率」は、「対象年齢人口に対する保育需要数の割合」です。

0歳から2歳児の保育需要率は、平成20年度以降、一貫して上昇を続けています。平成29年度は、人口が399人減と大幅に減少したのに対し、保育需要数が大きく増加したため、保育需要率は2.9ポイント増と、前年の約2倍の急激な上昇を示しました。また、3歳から5歳児では、平成26年度から、人口は減少に転じていますが、保育需要数は増加を続けています。保育需要率は、平成23年度以降、上昇を続けており、平成29年度は1.4ポイント上昇しました。

未就学人口は平成 24 年度をピークに減少に転じていますが、保育需要数は、大規模開発や沿線開発が進んでいる地域で今後も一定期間、上昇していくことが予測されます。また、保育施設を新規に整備した地域では、保育施設の利用が一層促進される傾向があります。このため、今後も保育需要率は急速に上昇していくと考えています。

% 保育需要率の推移 (各年4月1日現在) 44.0 41.9 40.5 → 0-5歳 — 0-2歳 → 3-5歳 41.0 38.1 38.2 36.9 38.0 36.4 35.8 38.8 35.3 35.0 35.2 34.3 35.0 35.9 32.4 34.4 33.7 32.0 32.5 29.6 30.9 29.0 29.2 27.8 26.0 26.4 24.8 23.0 20.0 22年 20年 21年 23年 24年 25年 26年 27年 28年 29年

保育需要率の推移グラフ

0歳から5歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
保育需要数(人)	М	9,545	10,059	10,398	10,817	11,390	11,834	12,162	12,339	12,666	13,114
就学前人口(人)	N	32,264	32,756	33,242	33,415	33,647	33,542	33,406	33,329	33,128	32,506
保育需要率(%)	M/N	29.6%	30.7%	31.3%	32.4%	33.9%	35.3%	36.4%	37.0%	38.2%	40.3%

0歳から2歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
保育需要数(人)	М	3,965	4,434	4,759	5,005	5,221	5,414	5,613	5,740	5,962	6,286
0-2歳人口(人)	N	16,000	16,765	17,140	17,157	16,918	16,676	16,680	16,680	16,590	16,191
保育需要率(%)	M/N	24.8%	26.4%	27.8%	29.2%	30.9%	32.5%	33.7%	34.4%	35.9%	38.8%

3歳から5歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
保育需要数(人)	М	5,580	5,625	5,639	5,812	6,169	6,420	6,549	6,599	6,704	6,828
3-5歳人口(人)	N	16,264	15,991	16,102	16,258	16,729	16,866	16,726	16,649	16,538	16,315
保育需要率(%)	M/N	34.3%	35.2%	35.0%	35.7%	36.9%	38.1%	39.2%	39.6%	40.5%	41.9%

6. 施設整備の状況

(1) これまでの保育定員の状況

過去 9 年で保育定員を 3,671 人増員 (0 歳から 2 歳児で 2,117 人、3 歳から 5 歳児で 1,554 人)

平成 28 年度は、認可保育所 7 園(認証保育所からの移行 3 園を含む)・小規模保育 3 施設の新設 や、大規模改修などによる既存施設の増員等により、保育定員を 493 人 (0 歳から 2 歳児で 243 人、3 歳から 5 歳児で 250 人) 増員しました。

0-5歳 0-2歳 3-5歳 保育定数 (人) (人) (各年4月1日現在) 12,000 14,000 13,587 13.094 □ 0-2歳 3-5歳 →-0-5歳 12,609 13,000 12,180 11,832 10,000 12,000 11,416 10,718 11,000 10,388 9,916 9974 8,000 10,000 7,333 7,072 6,794 6,612 9,000 6,395 6,237 6,254 5,974 6,028 5,779 5,819 5.815 6,000 8,000 5,568 7,000 4,414 4,155 4,000 6,000 5,000 2,000 4,000 20年 21年 22年 23年 24年 25年 26年 27年 28年 29年

保育定員数の推移グラフ

保育定員の推移

										(各年4	<u>月1日現仕)</u>
区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	29年-20年
保育定員数(人)	9,916	9974	10,388	10,718	11,416	11,832	12,180	12,609	13,094	13,587	3,671
うち3-5歳保育定員	5,779	5,819	5,974	6,028	6,237	6,395	6,612	6,794	7,072	7,333	1,554
うち0-2歳保育定員	4,137	4,155	4,414	4,690	5,179	5,437	5,568	5,815	6,022	6,254	2,117
前年からの増員数(人)	-	58	414	330	698	416	348	429	485	493	

7.保育需要の予測

今後の待機児童対策を進めるにあたり、これまでの就学前人口、保育需要数、保育需要率の推移及び、保育施設整備の影響を踏まえて、平成 32 年度までの就学前人口、保育需要数及び、保育需要率の動向を分析します。

(1) 就学前人口の推移

就学前人口は、平成 29 年 4 月 1 日現在、32,506 人で、対前年比 622 人の減となりました。就学前人口が減少に転じた平成 25 年度以降、最大の減少幅となりました。年齢構成別の前年比較では、0 歳から 2 歳児は 399 人の減、3 歳から 5 歳児で 223 人の減となっています。

0歳から2歳児の人口は、平成21年度から平成23年度にかけて急増しましたが、その後はほぼ横ばいで推移し、平成28年度からは減少に転じています。3歳から5歳児の人口は平成26年度以降減少を続けています。平成27·28年度は、0歳から2歳児の人口が3歳から5歳児の人口を上回っていましたが、29年度は再び、3歳から5歳児の人口が0歳から2歳児の人口を上回りました。

各年齢別の前年比較では、0歳児は354人の減、1歳児は129人の減、2歳児は84人の増となります。 0歳児の出生数が大きく減少したことに加えて、2歳児以上の転出超過による社会減が同時に進行したことから、就学前人口が急激に減少する結果となりました。

(2) 平成32年度までの就学前人口の見込み

区全体の平成 29 年 4 月現在の就学前人口について「足立区人口推計」(平成 27 年 9 月)と比較すると、0 歳から 2 歳児について高位推計値(16,217 人)を 26 人下回りましたが、概ね高位推計値の範囲内に収まっています。3 歳から 5 歳児については、前年度の人口予測に用いた中位推計値(16,669 人)を354 人下回っており、低位推計値(16,643 人)と比較しても 328 人下回っています。

こうした直近の状況を踏まえ、今後の就学前人口を以下のとおり予測することとします。

【0歳から2歳児】「足立区人口推計」の高位推計値で推移するものとする。

【3歳から5歳児】平成30年度は人口推計と実態の乖離が極めて大きいため、便宜的に29年度の2歳から4歳児の人口がそのまま移行するものと仮定し、31年度以降は中位推計値で推移するものとする。

以上より、今後3年間の就学前人口は0歳から5歳児全体で、<u>平成30年度には32,237人程度</u>、平成31年度には31,822人程度、平成32年度には31,072人程度になると予測しています。

また、0 歳から 2 歳児では、<u>平成 30 年度には 15,904 人程度、</u>平成 31 年度には 15,563 人程度、<u>平成</u> 32 年度には 15,168 人程度になるものと予測しています。



(3) 平成32年度までの保育需要数の見込み

これまでの保育需要数の推移(P.24~P.25 参照)をもとに、マンション開発や保育施設の整備による保 育需要の増加や、(2)で検討した各年度の人口減少の影響を加味し、今後 3 年間の保育需要数を予測 します。

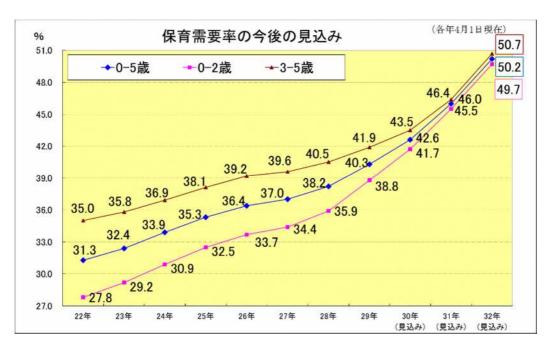
これにより、0 歳から 5 歳児全体で、平成 30 年度には 13,741 人程度、平成 31 年度には 14,626 人程 度、平成 32 年度には 15,602 人程度になると予測されます。また、0 歳から 2 歳児では、平成 30 年度に は 6,638 人程度、平成 31 年度には 7,083 人程度、平成 32 年度には 7,545 人程度になると予測されま す。



人口と保育需要の推移グラフ

(4) 平成32年度までの保育需要率の見込み

(2)(3)の結果から、就学前人口に対する保育需要数の割合を示す「保育需要率」の見込みを算定しま す。その結果、平成32年度までに、0歳から5歳児全体で、今年度(40.3%)から9.9ポイント増の50.2% 程度まで上昇していくものと予測しています。また、0歳から2歳児では、今年度(38.8%)から10.9ポイン ト増の49.7%程度まで上昇していくものと予測しています。



8. 施設整備方針

前述のとおり、就学前人口が減少していくにもかかわらず、保育需要は今後も増加していくことが見込まれます。このような傾向を踏まえ、次の方針に基づき施設整備を進めます。

フルタイム就労世帯及び、パートタイム就労世帯の待機児童を優先的に解消する。

大規模開発や沿線開発が進んでいる地域では、保育需要が集中することから、居住地域内では需要を吸収しきれず、隣接地域に需要が分散する傾向がある。こうした需要の分散化を改善するため、保育需要が集中する地域に保育施設を整備する。

保護者の多様な保育ニーズに応えるため、各地域における待機児童世帯の就労状況等の傾向や既存保育施設の配置状況等を踏まえ、需要の実態に合わせた保育施設等をバランスよく設置する。

平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 年間で 3,665 人分の定員整備を行い、平成 32 年 4 月の待機児ゼロを達成するとともに、その後も潜在的な保育ニーズを充足するまでの間、継続して定員整備を行う。

(1)施設整備等の基本的な考え方

各地域における待機児童の状況や保育需要の分析などから、新たに施設等を整備する必要があるときは、施設整備方針で示した方針を踏まえ、概ね以下の考え方に基づき、施設整備等を行います。

地域における保育需要の状況	保育施設 (種類)
大規模開発、沿線開発等により全年齢にわたり相当多数の保育需要が集中している地域 又は、慢性的に全年齢の保育定員数が不足し、他地域への保育需要の流出が顕著な地域	認可保育所
待機児童の状況などから、相当数の低年齢児の保育需要が見込まれる地域又は、駅周辺など利便性の高い立地へ整備することで、既存施設を補完して効果的に保育需要に対応することができる地域	東京都認証保育所
待機児童の状況などから、低年齢児のまとまった保育需要が見込まれる地域	小規模保育
区内全域で低年齢児の待機児童が発生していることから、区内全域を対象とする。	家庭的保育

保育施設の整備定員数

	平成	29年度		平成30	0年度	平成31年度	平月	成32年度当初	
年齢 区分	4/1現在 定員数 合計 (人)	定員園 予定 (人	数	定員! 予定 (ノ		定員整備 予定数 (人)	4/1現在 定員数 合計 (人)	H29年度~H3 定員整備予 合 計()	定数
0~5歳	13,587	` '		1,197	(180)	1,407	17,252	3,665	(1,057)
0~2歳	6,254	4 463 (42		588 (81)		642	7,947	1,693	(504)
3~5歳	7,333	7,333 598 (454)		609	(99)	765	9,305	1,972	(553)

()は、昨年度のアクション・プラン整備予定定員数を表示。

(2) 施設種別ごとの整備計画

認可保育所

大規模開発や沿線開発が進む地域及び、慢性的に全年齢の保育定員数が不足し、他地域への保育需要の流出が見られる地域に民設・民営による認可保育所を誘致します。

	平成	29年4月1	日現在		平成29年度		平成30年度		平成31年度	3	平成32年度	当初
年齢区分	施設数	定員数 (人)		整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	施設数	定員数 合計(人)	H29.4.1現在と の比較
0~5歳	107 施設	10,612		1,085	新規10園(私立) ・柳原一丁目 ・江北四丁目 ・扇一丁目	1,067	新規15園(私立) ·旧千住消防跡地 ·加平·谷中地域 ·綾瀬駅南側 ·綾瀬駅北側	1,258		149 施設	14,022	3,410
0~2歳		3,975	·公立:45園 (公設民営14園) ·私立:62園	453	・梅島三丁目・中央本町五丁目・綾瀬六丁目・東和二丁目・六町二丁目	458	·西新井地域 ·千住地域 ·宮城·小台地域 ·江北·扇地域 ·高野駅東地域	493	新規17園(私立) ·江北·扇地域 ·中央本町地域 ·未定(15園)		5,379	1,404
3~5歳		6,637		632	・西新井四丁目 ・舎人五丁目 ・既存施設の増改築 ・定員変更	609	・梅島地域 ・北綾瀬駅周辺 ・大谷田三~五丁目 ・北綾瀬駅北側 ・既存施設の増改築	765			8,643	2,006

認定こども園

認定こども園は、就学前の児童に幼児教育・保育を一体的に行う施設です。平成 29 年度以降の整備計画はありませんが、私立幼稚園の認定こども園への移行を働きかけていきます。

	平成	29年4月1	日現在		平成29年度		平成30年度		平成31年度	平瓦	뷫32年度€	当初
年齢 区分	施設数	定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	施設数	定員数 合計(人)	H29.4.1現在 との比較
0~5歳	5園	333	·幼稚園型:4園	-61	H29年度	0		0		4園	272	-61
0~2歳		91	・地方裁量型:1園 定員数は長時間	-31	・廃止1園 廃止は認証保育所部分の	0		0			60	-31
3~5歳		242		-30	み	0		0			212	-30

区立認定こども園

平成 24 年 4 月に幼児教育の拠点として、1 歳児から就学前の児童を対象とした区立認定こども園を開設しました。 平成 29 年度以降の施設整備計画はありません。

	平成:	29年4月1	日現在		平成29年度		平成30年度		平成31年度	平后	戊 32年度	当初
年齢 区分	施設数	定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	施設数	定員数 合計(人)	H29.4.1現在 との比較
0~5歳	3園	270		0		0		0		3園	270	0
0~2歳		84	·幼保連携型:2園 ·保育所型:1園	0		0		0			84	0
3~5歳		186	定員数は長時間	0		0		0			186	0

小規模保育事業

主に保育短時間認定の児童を預かる施設です。平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、足立区小規模保育室から移行しました。各地域の保育需要の状況を踏まえ、必要と認められる地域に開設を進めていきます。また、小規模なスペースで開設することが可能であることから、環境整備基準に基づく協議の中で、大規模集合住宅における設置を積極的に働きかけていきます。平成28年度から、従来の賃貸物件による整備に加えて、国制度を活用した創設による整備を可能とし、優良な保育事業者の参入を促進しています。

	平成:	29年4月1	日現在		平成29年度		平成30年度		平成31年度	平万	戊32年度	当初
年齢 区分	施設数	定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	施設数	定員数 合計(人)	H29.4.1現在 との比較
0~5歳	24施設	430		49	₩F+R0.₩F÷R	0		19		27施設	498	68
0~2歳		430	·24施設	49	新規3施設 ·江北·新田地域 ·竹の塚地域 ·保塚·六町地域	0		19	新規1施設 ·干住地域		498	68
3~5歳		0		0	址·渺 V / m l 1 m r sk	0		0			0	0

家庭的保育事業(保育ママ) 区認定家庭的保育 14 事業者を含む

家庭的環境で少人数の児童を預かる事業です。平成 27 年 4 月に子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、足立区家庭福祉員から移行しました。

現在、給食提供の体制を整備するため事業者の新規募集を停止していますが、廃業による定員減を補完するとともに定員拡大することを目指して補助者の配置による既存事業者の定員増を働きかけていきます。

なお、給食提供についてはモデル事業による検証の結果、平成30年4月から一部の事業者で開始し、その後も対応可能な事業者から順次、開始していく予定です。

平成29年4月1日現在				平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度当初		
年齢 区分	施設数	定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	施設数	定員数 合計(人)	H29.4.1現在 との比較
0~5歳	163 事業所	543	·163事業所 (内区認定14)	20	・補助者配置による 定員増	10	· 上見塔	10	. 洪中李可罕广片又	154 事業所	583	40
0~2歳		543		20		10		10			583	40
3~5歳		0		0		0		0			0	0

足立区独自の公設民営認可外保育施設

大規模開発等により相当多数の保育需要が集中しており、民設・民営による保育施設の整備が困難な地域においては、低未利用の土地や児童遊園など、区の資源を最大限に有効活用して、公設保育園を開設しました。平成29年度以降の施設整備計画はありません。

	平成	29年4月1	日現在	平成29年度		平成30年度	平成31年度		平成32年度当初		当初	
年齢 区分	施設数	定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	施設数	定員数 合計(人)	H29.4.1現在 との比較
0~5歳	3園	149		0		0		0		3園	149	0
0~2歳		48	·3園	0		0		0			48	0
3~5歳		101		0		0		0			101	0

東京都認証保育所

東京都が認証した都市型の保育施設である認証保育所を、相当数の低年齢児の保育需要が見込まれる地域に開設していきます。区では、3歳児の定員数が不足する見込みの地域において認証保育所の認可化支援を行っていますが、今後も必要な地域において認証保育所の整備を進めていきます。

	平成2	29年4月1	日現在	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度当初		
年齢 区分	施設数	定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	施設数	定員数 合計(人)	H29.4.1現在 との比較
0~5歳	40園	1,150		-32	新規2園 ·千住地域	120	新規4園	120		45園	1,358	208
0~2歳		983	·A型(駅前基本型):26所 ·B型(小規模型):14所	-28	・中央本町地域 ・中央本町地域 廃止5園(認可化含む) ・千住、梅田、中央本町	120	· 千住地域 · 梅田地域 · 綾瀬地域	120	新規4園 ·未定		1,195	212
3~5歳	·	167		-4	· 十任、梅田、中央本町 綾瀬、保塚	0	·竹/塚駅西側	0		·	163	-4

あだち子育て応援隊

主に求職中や短時間勤務の保護者を対象として月ぎめで低年齢児を預かる事業です。本事業では、時間単位で利用できる児童の預かりも引き続き実施しています。今後、施設整備の進捗に伴い事業の見直しを検討していきます。

	平成	29年4月1	日現在	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度当初		当初
年齢 区分	施設数	定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	整備 定員数 (人)	内 容	施設数	定員数 合計(人)	H29.4.1現在 との比較
0~5歳		100		0		0		0			100	0
0~2歳		100	NPO法人	0		0		0			100	0
3~5歳		0		0		0		0			0	0

あだち子育て応援隊事業は、(旧)「子育てホームサポート事業」と(旧)「ファミリー・サポート・センター事業」を統合して 平成 22 年に始めた事業です。

定期利用保育 平成 30 年 4 月から開始予定

新設の認可保育所における初年度の空きスペース等を活用し、待機児童の多い低年齢児を臨時的に受け入れる事業です。平成 30 年 4 月以降に開設する認可保育所等で実施していきます(P.15 参照)。

私立幼稚園の預かり保育

現在、区内のすべての私立幼稚園で預かり保育を実施しています。預かり保育の時間延長や月極めの保育料を設定するなど、両親が就労している家庭でも幼稚園に通わせることができるように、私立幼稚園との連携・協力を進めています。

資料2 ブロック別の分析

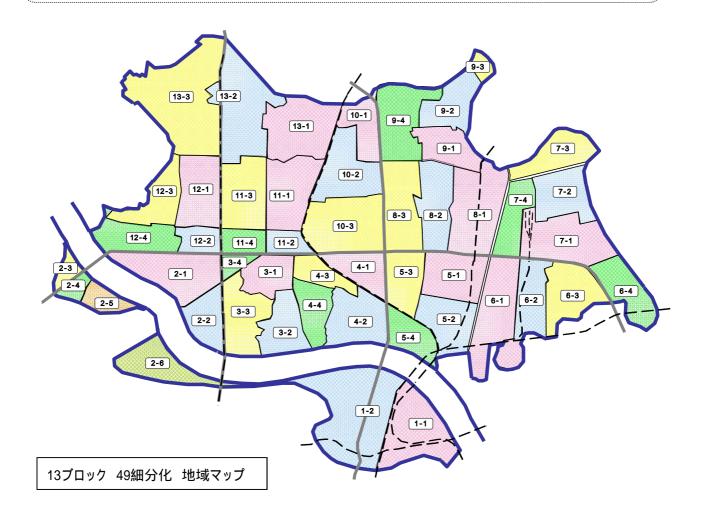
足立区では、地域ごとの保育需要を的確に把握するため、区内 13 ブロック地域をさらに 49 地域に細分化し、待機児童の状況や人口の推移など、より詳細な分析を行っています。こうした地域分析の状況を踏まえ、地域の実態に合わせた施設整備等の対策を実施していくことが重要であると考えています。

【用語の定義】

「保育需要数」・・・各保育施設の在園児数に待機児童数を加えたもの

「保育需要率」・・・保育需要数÷就学前人口×100(単位:%)

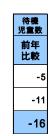
保育需要率を 49 地域別で見た場合、就学前人口より保育施設の在園児数の方が多い地域があるため、100%を超えることがあります。



1 ブロック 千住地域

地域》	地域別待機児童数(年齢別)					平成28年4月1日現在								
			1-1-		待機	児童	数(年	F齡別)		合計			
	地域			施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	コ町			
1 1 ブロック		1	千住東側(常磐線より東側)	14	3	14	1				18			
		2	千住西側(常磐線より西側)	22	8	26	4	2			40			
			小計	36	11	40	5	2	0	0	58			

平成29年4月1日現在									
合計	待機児童数(年齢別)								
声町	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数		
13				1	8	4	15		
29				5	13	11	23		
42	0	0	0	6	21	15	38		



待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成	28年	平成29年		
就労中(フルタイム)	34人	58.6%	19人	45.2%	
就労中(パート)	10人	17.2%	10人	23.8%	
求職中	11人	19.0%	12人	28.6%	
その他	3人	5.2%	1人	2.4%	
合計	58人	100.0%	42人	100.0%	

【保育需要】	平成28年4月1日現在			
1プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	3,807	1,645	43.21%
千住地域	0~2歳児	1,995	812	40.70%
	3~5歳児	1,812	833	45.97%

平成29年4月1日現在							
就学前 人口	保育 需要数	保育需要率					
3,818	1,759	46.07%					
1,956	878	44.89%					
1,862	881	47.31%					

前年比							
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率					
11	114	2.86					
-39	66	4.19					
50	48	1.34					

【各地区】		平成28年4月1日現在			
1-(1)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率	
エルキ側	0~5歳児	1,288	793	61.57%	
千住東側 常磐線より東側	0~2歳児	637	373	58.56%	
市名談より未開	3~5歳児	651	420	64.52%	

1-(2)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
7 12 T (N)	0~5歳児	2,519	852	33.82%
千住西側 常磐線より西側	0~2歳児	1,358	439	32.33%
市石冰より四則	3~5歳児	1 161	413	35.57%

平成29年4月1日現在							
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率					
1,236	811	65.61%					
607	391	64.42%					
629	420	66.77%					

就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
2,582	948	36.72%
1,349	487	36.10%
1,233	461	37.39%

	前年比							
就学i		保育 需要数	保育 需要率					
- ;	52	18	4.04					
-;	30	18	5.86					
-:	22	0	2.25					

就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
63	96	2.90
-9	48	3.77
72	48	1.82

地域別	地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】				平	成2	8年4	月1	日現	在	
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地 域	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
	工作抽屉	1	千住東側(常磐線より東側)	14	2	9					11
1 ブロック	1 7 ブロック 2		千住西側(常磐線より西側)	22	6	16		1			23
	小計		36	8	25	0	1	0	0	34	

平成29年4月1日現在										
合計)	F齢別	数(年	児童	待機				
AM	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数			
5					2	3	15			
14	23 9 5									
19	38 12 7 0 0 0 0									



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 28 年度中に認可保育所 2 園、認証保育所 1 園を整備した結果、平成 29 年 4 月 1 日現在の 待機児童は 42 人(すべて $0\sim2$ 歳児) となりました。前年度に比べて 16 人減少しています。常磐線の 東側で 5 人の減、西側で 11 人の減となっています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が 19 人 (すべて $0\sim1$ 歳児) で前年度比 15 人の減少となりました。

(2) 就学前人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の就学前人口は、3,818 人で前年度に比べて 11 人の増となりました。0~2 歳の人口が 3~5 歳の人口を上回っています。東側が 1,236 人で前年度に比べて 52 人の減、西側は 2,582 人で 63 人の増でした。平成 32 年 4 月までには千住一丁目・三丁目で計 255 戸のファミリー向け マンションの計画があり、今後も就学前人口の増加が予想されます。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、1,759 人で対前年度比 114 人の増と、前年に引き続き大きな上昇が見られます。常磐線の東側で前年比 18 人の増、西側地域で 96 人の増となりました。保育需要率は 46.07%で対前年度比 2.86 ポイント増となりました。西側では平成 26 年度末に千住大橋駅前に建設された大規模マンション 2 棟で保育需要が更に増加したことにより保育需要数は大きく伸びました。今後、千住一丁目・三丁目におけるマンション建設により、更なる需要増加が予想されます。

種別	施設数	施設定員					
作生力儿	他記文教	0~2	3~5	合計			
認可保育所(公立)	3	129	201	330			
認可保育所(公設民営)	2	74	126	200			
認可保育所(私立)	9	339	526	865			
認定こども園(公立)	1	33	65	98			
認定こども園(私立)	0	0	0	0			
小規模保育	2	33	0	33			

種別	施設数	施設定員				
性別	他設数	0~2	3~5	合計		
家庭的保育	19	64	0	64		
区認定家庭的保育	2	6	0	6		
公設民営認可外	0	0	0	0		
認証保育所(A型)	6	184	37	221		
認証保育所(B型)	1	15	0	15		
合 計	45	877	955	1,832		

2 ブロック 江北・新田地域

地域の地理的特性を踏まえ、江北地域・新田地域・宮城地域に細分化して分析をしています。

地域別待機児童数(年齢別)			平	成2	8年4	月1	日現	!在			
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			1E 13(施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
	江北地域	1	江北2.3.4、椿1、堀之内1.2、 鹿浜1(江北バス通り北側)	4	2	3	2				7
	/二40-18-19(2	江北1.2、扇2 (江北バス通り南側)	2	5	4		1			10
		3	新田1	1							0
2 ブロック	新田地域	4	新田2	4	1						1
		5	新田3	8	1						1
	宮城地域	6	宮城1.2、小台1.2	5	1	2					3
	小計		24	10	9	2	1	0	0	22	

平成29年4月1日現在									
A #1)	F齢別	数(年	児童	待機			
合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数		
14		1		4	5	4	4		
12				3	4	5	2		
0							1		
0							4		
0							8		
7				2	3	2	5		
33	0	1	0	9	12	11	24		



待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

【申請事由別待機児童数】



申請事由	平成	28年	平成	29年
就労中(フルタイム)	6人	27.3%	9人	27.3%
就労中(パート)	9人	40.9%	7人	21.2%
求職中	6人	27.3%	16人	48.5%
その他	1人	4.5%	1人	3.0%
合計	22人	100.0%	33人	100.0%

【保育需要】	平成28年4月1日現在				
2プロック	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率	
	0~5歳児	2,938	1,155	39.31%	
江北·新田地域	0~2歳児	1,404	516	36.75%	
	3~5歳児	1,534	639	41.66%	

平成29年4月1日現在									
就学前 人口	保育 需要率								
2,855	1,151	40.32%							
1,393	533	38.26%							
1,462	618	42.27%							

前年比				
就学前人口	保育 保育 無要数 需要			
-83	-4	1.01		
-11	17	1.51		
-72	-21	0.61		

【各地区】		平成28年4月1日現在		現在
2-(1)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
江北バス通り北側	0~5歳児	492	242	49.19%
(江北2~5、堀之内)	0~2歳児	240	110	45.83%
江北駅周辺	3~5歳児	252	132	52.38%

2-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
江北バス通り南側	0~5歳児	556	132	23.74%
(江北1~2、扇2)	0~2歳児	291	65	22.34%
高野駅、扇大橋駅周辺	3~5歳児	265	67	25.28%

2-(3)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	251	68	27.09%
新田一丁目	0~2歳児	114	29	25.44%
	3~5歳児	137	39	28.47%

2-(4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
新田二丁目	0~5歳児	99	143	144.44%
	0~2歳児	44	80	181.82%
	3~5歳児	55	63	114.55%

2-(5)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	927	328	35.38%
新田三丁目	0~2歳児	410	134	32.68%
	3~5歳児	517	194	37.52%

平成29年4月1日現在				
就学前 保育 人口 需要数		保育 需要率		
511	255	49.90%		
248	121	48.79%		
263	134	50.95%		

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
583	138	23.67%
313	72	23.00%
270	66	24.44%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
221	63	28.51%
95	25	26.32%
126	38	30.16%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
111	152	136.94%
59	80	135.59%
52	72	138.46%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
834	294	35.25%
371	128	34.50%
463	166	35.85%

就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
19	13	0.71
8	11	2.96
11	2	-1.43

就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
27	6	-0.07
22	7	0.66
5	-1	-0.84

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-30	-5	1.42
-19	-4	0.88
-11	-1	1.69

就学前 人口	保育需要数	保育需要率
12	9	-7.50
15	0	-46.23
-3	9	23.91

学前	保育 需要数	保育 需要率
-93	-34	-0.13
-39	-6	1.82
-54	-28	-1.67

【各地区】				
2-(6)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	613	242	39.48%
宮城·小台地域	0~2歳児	305	98	32.13%
	3~5歳児	308	144	46.75%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
595	249	41.85%
307	107	34.85%
288	142	49.31%

	前年比	
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-18	7	2.37
2	9	2.72
-20	-2	2.56

在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園した保育施設の所在地でカウントする。 管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

地域別	待機児童数(:	年齢	引) 【フルタイム就労世帯】		平	成2	8年4	4月1	日玥	在	
			地 域		待機	児童	数(年	₣齢別)		合計
			10 13	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
	江北地域	1	江北2.3.4、椿1、堀之内1.2、 鹿浜1(江北バス通り北側)	4	1						1
	江北地 瑰	2	江北1.2、扇2 (江北バス通り南側)	2	3	1					4
	新田地域	3	新田1	1							0
2 ブロック		4	新田2	4							0
		5	新田3	8							0
	宮城地域	6	宮城1.2、小台1.2	5		1					1
	小青十		24	4	2	0	0	0	0	6	

平成29年4月1日現在										
合計)	F齢別	数(年	児童	待機				
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数			
4					2	2	4			
5					3	2	2			
0							1			
0							4			
0							8			
0							5			
9	0	0	0	0	5	4	24			

待機 児童数 前年 比較 0

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は、33 人 (32 人が 0~2 歳児) で前年度に比べ 11 人増加しま した。江北地域で9人の増、新田地域で2人の減、宮城地域では4人増加しました。申請事由別では、 フルタイム就労世帯は9人で前年度に比べ3人増加しました。また、求職中世帯が16人で前年度に比 べ 10 人増加しています。

(2) 就学前人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の就学前人口は、2,855 人で前年度に比べて 83 人減少しました。前年度 に比べて 0~2 歳児は 11 人の減、3~5 歳児は 72 人の減となっています。 地域別に見ると、江北地域 では平成 26 年度に扇二丁目で、平成 28 年度に江北四丁目で大型マンションが完成した影響により人 口が増加しています。新田地域では、年齢移行により大幅に人口が減少していますが、新田一丁目で は平成29年度中に319戸の大型マンションが完成する予定であり就学前人口の急増が見込まれます。 宮城・小台地域では平成 27 年度に小台一丁目で 169 戸の大型マンションが完成しましたが、その他の 町丁では人口が減少傾向にあり、マンションの人口の伸びを相殺している状況です。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、1,151 人で前年度に比べて 4 人減となりました。保育需 要率は、40.32%で前年度に比べて 1.01 ポイントの増となっています。地域別に見ると、江北地域の江 北バス通り沿いで保育需要が増加傾向にあります。新田地域は、今後、マンション建設により、0~2歳 児の保育需要が増加すると見込まれます。

種別	施設数	施設定員					
作生力」	加設文文	0~2	3~5	合計			
認可保育所(公立)	3	95	173	268			
認可保育所(公設民営)	2	68	99	167			
認可保育所(私立)	5	183	288	471			
認定こども園(公立)	0	0	0	0			
認定こども園(私立)	1	15	27	42			
小規模保育	2	31	0	31			

種別	施設数	施設定員					
作里力!	他改数	0~2	3~5	合計			
家庭的保育	8	26	0	26			
区認定家庭的保育	1	2	0	2			
公設民営認可外	2	20	101	121			
認証保育所(A型)	2	58	0	61			
認証保育所(B型)	0	0	0	0			
合 計	26	498	691	1,189			

3 ブロック 興野・本木地域

地域是	地域別待機児童数(年齢別)			平成28年4月1日現在							
	Ast. Amili		+uh +=t:		待機	児童	数(年	F齢別)		A41
			地域が		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
	興野・本木 地域	1	西新井栄町3、西新井本町1.3.4.5 (江北バス通り南側)	7		6	2	2			10
		2	興野1、本木1.2、本木東町、 本木南町(本木新道東側)	8		2					2
3 ブロック		3	扇1.3、興野2、本木北町、 本木西町(本木新道西側)	5		3	1				4
		4	西新井本町2 (江北バス通り北側)	1	1	1	1				3
			小計	21	1	12	4	2	0	0	19

	平成29年4月1日現在								
AN)	F齢別	数(年	児童	待機			
合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数		
11			1	5	5		7		
7				2	5		8		
11			1	5	2	3	5		
11				1	5	5	1		
40	0	0	2	13	17	8	21		

待機 児童数
前年 比較
1
5
7
8
21

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

■ 0~2歳 ■ 3~5歳 → 合計 人口の推移(興野・本木地域) (人) 2,000 2,002 1,987 1,925 1,960 1,914 944 1,016 946 911 1,000 H25 H26 H27 H28 H29.4

【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成28年		平成	29年
就労中(フルタイム)	4人	21.1%	11人	27.5%
就労中(パート)	9人	47.4%	11人	27.5%
求職中	6人	31.5%	16人	40.0%
その他	0人	0.0%	2人	5.0%
合計	19人	100.0%	40人	100.0%

【保育需要】		平成	28年4月1日	現在
3プロック	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	1,925	834	43.32%
興野·本木地域	0~2歳児	946	379	40.06%
	3~5歳児	979	455	46.48%

平成29年4月1日現在					
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率			
1,914	857	44.78%			
911	394	43.25%			
1,003	463	46.16%			

前年比						
就学前	保育需要数	保育 需要率				
-11	23	1.46				
-35	15	3.19				
24	8	-0.32				

[各地区]		平成	t28年4月1日	現在
3-(1)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
西新井栄町3、	0~5歳児	521	315	60.46%
西新井本町1.3.4.5	0~2歳児	243	118	48.56%
(江北バス通り南側)	3~5歳児	278	197	70.86%

3-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
興野1、本木1.2、	0~5歳児	433	244	56.35%
本木東町、本木南町	0~2歳児	222	126	56.76%
(本木新道東側)	3~5歳児	211	118	55 92%

3-(3)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
扇1.3、興野2、	0~5歳児	780	149	19.10%
本木北町、本木西町	0~2歳児	371	80	21.56%
(高野駅、扇大橋駅)	3~5歳児	409	69	16.87%

3-(4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
西新井本町2	0~5歳児	191	126	65.97%
(江北バス通り北側)	0~2歳児	110	55	50.00%
江北駅周辺	3~5歳児	81	71	87.65%

平成29年4月1日現在					
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率			
512	312	60.94%			
234	117	50.00%			
278	195	70.14%			

就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
419	257	61.34%
209	134	64.11%
210	123	58.57%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率			
788	788 154				
373	83	22.25%			
415	71	17.11%			

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
195	134	68.72%
95	60	63.16%
100	74	74.00%

	前年比				
就学前 人口					
-9	-3	0.48			
-9	-1	1.44			
0	-2	-0.72			

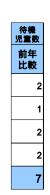
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-14	13	4.99
-13	8	7.35
-1	5	2.65

就学前 人口					
8	5	0.44			
2	3	0.69			
6	2	0.24			

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
4	8	2.75
-15	5	13.16
19	3	-13.65

地域別	待機児童数(年齢	別)【フルタイム就労世帯】		平	成2	8年4	月1	日玥	在	
			地域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			16 19	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	西新井栄町3、西新井本町1.3.4.5 (江北バス通り南側)	7		1					1
	興野・本木	2	興野1、本木1.2、本木東町、 本木南町(本木新道東側)	8							0
3 ブロック	地域	3	扇1.3、興野2、本木北町、 本木西町(本木新道西側)	5		1	1				2
		4	西新井本町2 (江北バス通り北側)	1	1						1
			小 計	21	1	2	1	0	0	0	4

	平成29年4月1日現在									
AN)	F齢別	数(年	児童	待機				
合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数			
3			1		2		7			
1					1		8			
4				1	2	1	5			
3					2	1	1			
11	0	0	1	1	7	2	21			



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は、40 人 (38 人が 0~2 歳児)となり、前年度に比べて 21 人の増でした。申請事由別では、フルタイム就労世帯は 11 人 (10 人が 0~2 歳児) で 7 人の増となりました。パート就労世帯は 9 人から 11 人へと 2 人の増、求職中世帯は 6 人から 16 人へと 10 人増加しています。

(2) 就学前人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の就学前人口は、1,914 人で前年度に比べて 11 人の減でした。0~2 歳児では 35 人の減、一方 3~5 歳児は 24 人の増となっています。平成 28 年度に扇一丁目で 161 戸の大型マンションが完成したことから、当該地域では人口が増加しています。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、857 人で前年度に比べて 23 人増加しました。保育需要率は 44.78%で前年度に比べて 1.46 ポイントの増となっています。大型マンションからは 0~2 歳児の需要が多く発生する傾向があり、地域全体では継続して増加傾向で推移すると思われます。

種別	施設数		施設定員	員 -		
作生力」	NG IX XX	0 ~ 2	3~5	合計		
認可保育所(公立)	2	91	133	224		
認可保育所(公設民営)	1	33	64	97		
認可保育所(私立)	4	148	246	394		
認定こども園(公立)	0	0	0	0		
認定こども園(私立)	1	6	24	30		
小規模保育	0	0	0	0		

種別	↑ 左≐几米/-		į	
性別	施設数	0 ~ 2	3~5	合計
家庭的保育	12	41	0	41
区認定家庭的保育	1	3	0	3
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所(A型)	1	30	10	40
認証保育所(B型)	1	20	0	20
合 計	23	372	477	849

4 ブロック 梅田地域

地域原	削待機児童数	(年	齢別)		平	成2	8年4	月1	日現	!在	
			地域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地 塊	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	梅島1.2.3 (東武伊勢崎線北側)	5	3	1					4
	梅田地域	2	梅田1.2.3.4.5.6.7	9	2	4	1	2			9
4 ブロック	传田地域	3	梅田8、西新井栄町1.2	4	4	3					7
		4	関原1.2.3	7	2	4		1			7
			小計	25	11	12	1	3	0	0	27

	平成29年4月1日現在									
合計)	F齡別	数(年	児童	待機				
青町	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数			
12				2	5	5	5			
11			1	1	5	4	7			
19				4	10	5	5			
6					3	3	6			
48	0	0	1	7	23	17	23			

待機 児童数
前年比較
8
2
12
-1
21

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

人口の推移(梅田地域) ■0~2歳 ■3~5歳 →合計 (人) 3,000 3,094 2,871 2,000 1,523 1,485 1,557 1,475 1,530 1.522 1,394 1,477 1,000 H25 H26 H27 H28 H29.4

【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成28年		平成	29年
就労中(フルタイム)	8人	29.6%	14人	29.2%
就労中(パート)	8人	29.6%	14人	29.2%
求職中	6人	22.2%	18人	37.5%
その他	5人	18.6%	2人	4.1%
合計	27人	100.0%	48人	100.0%

【保育需要】	平成	成28年4月1日	現在	
4プロック	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	3,005	1,117	37.17%
梅田地域	0~2歳児	1,475	539	36.54%
	3~5歳児	1,530	578	37.78%

平成29年4月1日現在					
就学前 人口	保育 需要率				
2,871	1,173	40.86%			
1,394	580	41.61%			
1,477	593	40.15%			

前年比					
就学前 人口	保育 需要率				
-134	56	3.69			
-81	41	5.07			
-53	15	2.37			

【各地区】		平成	t28年4月1日	現在
4-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
15.5	0~5歳児	576	209	36.28%
梅島1.2.3 (東武伊勢崎線北側)	0~2歳児	309	101	32.69%
(米瓜伊劳崎級70例)	3~5歳児	267	108	40.45%

人口	需要数	需要率	人口	需要数	需要率
576	209	36.28%	543	229	42.17%
309	101	32.69%	274	104	37.96%
267	108	40.45%	269	125	46.47%

平成29年4月1日現在			前年比		
前口	保育 需要数	保育需要率	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
543	229	42.17%	-33	20	5.89
274	104	37.96%	-35	3	5.27
269	125	46.47%	2	17	6.02

4-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
梅田1~7	0~5歳児	928	402	43.32%
	0~2歳児	439	182	41.46%
	3~5歳児	489	220	44.99%

保育 需要数	保育 需要率
399	44.78%
185	43.84%
214	45.63%
	需要数 399 185

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-37	-3	1.46
-17	3	2.38
-20	-6	0.64

4-(3)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	1,028	275	26.75%
梅田8、西新井栄町1.2	0~2歳児	488	153	31.35%
	3~5歳児	540	122	22.59%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
940	391	41.60%
445	212	47.64%
495	179	36.16%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-88	116	14.85
-43	59	16.29
-45	57	13.57

4-(4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	473	231	48.84%
関原1.2.3	0~2歳児	239	103	43.10%
	3~5歳児	234	128	54.70%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
497	154	30.99%
253	79	31.23%
244	75	30.74%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
24	-77	-17.85
14	-24	-11.87
10	-53	-23.96

地域別	待機児童数(年齢	引) 【 フルタイム就労世帯 】		平	成2	8年4	月1	日瑪	在	
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地 塊	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	梅島1.2.3 (東武伊勢崎線北側)	5	1	1					2
	梅田地域	2	梅田1.2.3.4.5.6.7	9	2						2
4 ブロック	传口地域	3	梅田8、西新井栄町1.2	4	2	1					3
		4	関原1.2.3	7		1					1
			小 計	25	5	3	0	0	0	0	8

	!在	日現	4月1	9年4	成2	平	
ANI		l)	F齢別	数(年	児童	待機	
合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数
0							5
3					2	1	7
7					5	2	5
4					2	2	6
14	0	0	0	0	9	5	23



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は、48 人 (47 人が 0~2 歳児) で前年度に比べて 21 人の増、特に 1 歳の待機児は 11 人増加しました。申請事由別では、フルタイム就労世帯及びパート就労世帯が各 14 人となり、前年度比各 6 人増加しました。一方、求職中世帯は 18 人となり、前年度比 12 人増となりました。

(2) 就学前人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の就学前人口は、2,871 人と前年度に比べて 134 人減少しました。0~2 歳児の人口が 81 人減、3~5 歳児の人口は 53 人減と、ともに減少しています。平成 20 年前後に完成した大規模マンションにおいて年齢移行が進んでいることから、今後も就学前人口は減少すると見込まれます。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、1,173 人で前年度に比べて 56 人の増、保育需要率は 40.86%で、前年度に比べて 3.69 ポイントの増となっています。0~2 歳児の保育需要数は 41 人の増加、 3~5 歳児では 15 人増加しています。

1 € Dil	☆☆☆几米ん	施設定員					
種別	施設数	0~2	3~5	合計			
認可保育所(公立)	1	38	69	107			
認可保育所(公設民営)	0	0	0	0			
認可保育所(私立)	9	314	547	861			
認定こども園(公立)	0	0	0	0			
認定こども園(私立)	0	0	0	0			
小規模保育	1	17	0	17			

種別	+左≐几米/-		施設定員				
性別	施設数	0~2	3~5	合計			
家庭的保育	11	38	0	38			
区認定家庭的保育	1	3	0	3			
公設民営認可外	0	0	0	0			
認証保育所(A型)	4	99	14	113			
認証保育所(B型)	2	43	0	43			
合 計	29	552	630	1,182			

5 ブロック 中央本町地域

地域別	削待機児童数	(年	齢別)	平成28年4月1日現在				在			
			地域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			18 13(施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	青井1.2.3.4.5.6	7	4	5	1	1			11
	中央本町	2	弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	7	2	3		2			7
5 ブロック	地域	3	中央本町1.2.3.4.5	5	1	3	1				5
		4	足立1.2.3.4	6	3	2					5
			小 計	25	10	13	2	3	0	0	28

	.在	日現	月1	9年4	成2	平	
合計)	F齡別	数(年	児童	待機	
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数
4					4		8
3					2	1	7
3					3		5
4					4		6
14	0	0	0	0	13	1	26
3	0	0	0	0	3		

待機 児童数
前年 比較
-7
-4
-2
-1
-14

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

(人) 人口の推移(中央本町地域) □0~2歳 □3~5歳 →合計 2,691 2,672 2,630 2,554 2,495 1,361 1,330 1,342 1,330 1,330 1,300 1,280 1,274 1,241 1,254 1,000 H25 H26 H27 H28 H29.4

【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成28年		平成	29年
就労中(フルタイム)	8人	28.6%	6人	42.9%
就労中(パート)	9人	32.1%	1人	7.1%
求職中	10人	35.7%	5人	35.7%
その他	1人	3.6%	2人	14.3%
合計	28人	100.0%	14人	100.0%

【保育需要】		平成28年4月1日現在		
5プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	2,554	1,045	40.92%
中央本町地域	0~2歳児	1,280	511	39.92%
	3~5歳児	1,274	534	41.92%

平成29年4月1日現在				
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率		
2,495	1,059	42.44%		
1,241	521	41.98%		
1,254	538	42.90%		

前年比				
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率		
-59	14	1.52		
-39	10	2.06		
-20	4	0.98		

【各地区】		平成28年4月1日現在		
5-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	730	158	21.64%
青井1~6	0~2歳児	358	97	27.09%
	3~5歳児	372	61	16.40%

平成29年4月1日現在				
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率		
726	202	27.82%		
361	115	31.86%		
365	87	23.84%		

前年比				
就学前	保育 需要数	保育 需要率		
-4	44	6.18		
3	18	4.77		
-7	26	7.44		

5-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
7/100	0~5歳児	645	312	48.37%
弘道1.2、 西綾瀬1~4	0~2歳児	344	152	44.19%
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	3~5歳児	301	160	53.16%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
636	295	46.38%
343	140	40.82%
293	155	52 90%

就学前	保育 需要数	保育 需要率
-9	-17	-1.99
-1	-12	-3.37
-8	-5	-0.26

5-(3)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	666	258	38.74%
中央本町1~5	0~2歳児	325	120	36.92%
	3~5歳児	341	138	40.47%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
649	252	38.83%
297	121	40.74%
352	131	37.22%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-17	-6	0.09
-28	1	3.82
11	-7	-3.25

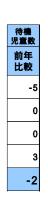
5-(4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	513	317	61.79%
足立1~4	0~2歳児	253	142	56.13%
	3~5歳児	260	175	67.31%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
484	310	64.05%
240	145	60.42%
244	165	67.62%

就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
-29	-7	2.26
-13	3	4.29
-16	-10	0.31

地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】			地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】 平成28年4月1日現在								
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			16 球	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	AN
1			青井1.2.3.4.5.6	7	3	2					5
中央本町 ち ブロック	中央本町	2	弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	7		1					1
	3	中央本町1.2.3.4.5	5		2					2	
	4	4	足立1.2.3.4	6							0
	小 計					5	0	0	0	0	8

	平成29年4月1日現在										
合計)	F齢別	数(年	児童	待機					
AM	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数				
0							8				
1					1		7				
2					2		5				
3					3		6				
6	0	0	0	0	6	0	26				
•											



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 28 年度に地域内に認可保育所の1園、小規模保育 1 施設を新規整備した結果、平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は、14 人 (すべて 0~1 歳児)で前年度に比べて 14 人減となりました。申請事由別では、フルタイム就労世帯が 6 人で 2 人減となりました。また、パート就労世帯は 1 人で 8 人減、求職中世帯は 5 人で 5 人減となりました。

(2) 就学前人口

平成29年4月1日現在の就学前人口は2,495人で、前年度に比べて59人減少しています。今後は、つくばエクスプレス沿線の開発で就学前人口は若干の増加が予想されるものの、急激な人口増加はない見込みです。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、認可保育所を新規整備した地域で利用児童の増加による大幅な上昇があったものの、他の地域では減少しており、ブロック全体では前年度に比べて 14 人の増の 1,059 人となりました。保育需要率は 42.44%で 1.52 ポイントの増となりました。今後はつくばエクスプレス沿線開発の影響に注視が必要と考えています。

1 ≇ Dil	t√c≐几米b	施設定員					
種別	施設数	0 ~ 2	3~5	合計			
認可保育所(公立)	2	88	164	252			
認可保育所(公設民営)	3	135	202	337			
認可保育所(私立)	4	135	202	337			
認定こども園(公立)	0	0	0	0			
認定こども園(私立)	0	0	0	0			
小規模保育	3	53	0	53			

1 4 DI	↑左≐几米h	施設定員				
種別	施設数	0~2	3~5	合計		
家庭的保育	13	41	0	41		
区認定家庭的保育	0	0	0	0		
公設民営認可外	1	28	0	28		
認証保育所(A型)	1	30	0	30		
認証保育所(B型)	2	23	0	23		
合 計	29	533	568	1,101		

6 ブロック 綾瀬地域

地域別待機児童数(年齢別)			児童数(年齢別) 平成28年4月1日現在								
		地域		待機	児童	数(年	F齢別)		A #1	
			18 13(施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
を を を を を を を を を を を を を を を を を を を		1	綾瀬1.2.3.4.5.6.7、加平1	10	1	1					2
	6±3±5±16±+*	2	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	12	8	11	6				25
	叔文/积1世1 以	3	東和1.2.3.4.5、 中川4(環七西側)	9	2	2	3				7
	4	中川1.2.3.4.5 (環七東側)	4	2	2	1				5	
			小 計	35	13	16	10	0	0	0	39

平成29年4月1日現在											
	,	待機児童数(年齢別)									
合計	施設数 0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳										
7					6	1	12				
38				6	30	2	11				
5				2	3		9				
11			1	1	6	3	4				
61	0	0	1	9	45	6	36				

待機 児童数
前年 比較
5
13
-2
6
22

待機児童数は、希望した保育所の地域で集計

(人) 人口の推移(綾瀬地域) ■ 0~2歳 ■ 3~5歳 → 含計 3,672 3,670 3,549 3,000 1,891 1,925 1,728 1,828 2,000 1,000 H25 H26 H27 H28 H29.4

【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成	28年	平成29年		
就労中(フルタイム)	11人	28.2%	26人	42.6%	
就労中(パート)	9人	23.1%	14人	23.0%	
求職中	15人	38.5%	17人	27.8%	
その他	4人	10.2%	4人	6.6%	
合計	39人	100.0%	61人	100.0%	

【保育需要】		平成	28年4月1日	現在
6プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	全体	3,672	1,671	45.51%
綾瀬地域	0~2歳児歳	1,944	836	43.00%
	3~5歳児歳	1,728	835	48.32%

平成29年4月1日現在				
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
3,549	1,751	49.34%		
1,828	872	47.70%		
1,721	879	51.07%		

前年比		
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-123	80	3.83
-116	36	4.70
-7	44	2.75

【各地区】		平成	28年4月1日	現在
6-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	1,185	183	15.44%
綾瀬1~7、加平1	0~2歳児	634	142	22.40%
	3~5歳児	551	41	7.44%

平成29年4月1日現在				
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
1,152	207	17.97%		
611	166	27.17%		
541	41	7.58%		

前年比				
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率		
-33	24	2.53		
-23	24	4.77		
-10	0	0.14		

6-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
東綾瀬1.2.3、 谷中1.2	0~5歳児	981	980	99.90%
	0~2歳児	552	446	80.80%
TT1.2	3~5歳児	429	534	124.48%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
954	1,012	106.08%
523	455	87.00%
431	557	129.23%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-27	32	6.18
-29	9	6.20
2	23	4.75

6-(3)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
東和1~5、	0~5歳児	938	342	36.46%
中川4(一部)	0~2歳児	466	181	38.84%
環七西側	3~5歳児	472	161	34.11%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
885	354	40.00%
420	180	42.86%
465	174	37.42%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-53	12	3.54
-46	-1	4.02
-7	13	3.31

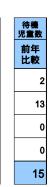
6-(4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
±1114 5	0~5歳児	568	166	29.23%
中川1~5 (環七東側)	0~2歳児	292	67	22.95%
(城山米州)	3~5歳児	276	99	35.87%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
558	178	31.90%
274	76	27.74%
284	102	35.92%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-10	12	2.67
-18	9	4.79
8	3	0.05

地域別	地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】				平	成2	8年4	月1	日玥	在	
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			世 場	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	綾瀬1.2.3.4.5.6.7、加平1	10	1						1
	綾瀬地域	2	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	12	2	4					6
6 ブロック	級 棋 地 坞	3	東和1.2.3.4.5、 中川4(環七西側)	9	1						1
		4	中川1.2.3.4.5 (環七東側)	4	1	2					3
	小 計				5	6	0	0	0	0	11

平成29年4月1日現在											
合計)	F齢別	数(年	児童	待機					
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数				
3					3		12				
19					19		11				
1					1		9				
3					3		4				
26	0	0	0	0	26	0	36				



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は、61 人 (60 人が 0~2 歳児) で前年度に比べて 22 人の増でした。待機児童のうち 38 人は保育施設が集中する東綾瀬地域に偏在しています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が前年度比 15 人増の 26 人と大き〈伸びました。また、パート就労世帯が 14 人で 5人増、求職中世帯が 17 人で 2 人増となっています。

(2) 就学前人口

平成29年4月1日現在の就学前人口は、3,549人で前年度に比べて123人の減でした。北綾瀬駅周辺・中川四丁目・綾瀬駅前において、計900戸以上のマンション計画があることから、今後は就学前人口の大幅な増加が予想されます。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、1,751 人で前年度に比べて 80 人の増、保育需要率は 49.34%で 3.83 ポイントの増でした。足立区外の認可保育所、認証保育所への入所も多く、引き続き保育需要が非常に高い地域となっています。隣接する佐野地域から例年 250 人前後の保育需要が流入しており、この地域の保育需要を押し上げる一因となっています(P.68 参照)。今後のマンション建設により、更なる保育需要の増加が見込まれます。

4 □ U	↑ 左≑几米/-	施設定員					
種別	施設数	0 ~ 2	3~5	合計			
認可保育所(公立)	2	109	144	253			
認可保育所(公設民営)	0	0	0	0			
認可保育所(私立)	13	479	758	1,237			
認定こども園(公立)	0	0	0	0			
認定こども園(私立)	0	0	0	0			
小規模保育	4	73	0	73			

種別	施設数		施設定員	Į
作生力儿	他改数	0 ~ 2	3~5	合計
家庭的保育	15	55	0	55
区認定家庭的保育	2	6	0	6
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所(A型)	3	68	36	104
認証保育所(B型)	3	65	0	65
合 計	42	855	938	1,793

7 ブロック 佐野地域

地域別待機児童数(年齢別)				平	成2	8年4	月1	日現	在		
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地域	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	7	1	7	3				11
-	2	佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	4		1	1				2	
7 ブロック	佐野地域	3	神明1.2.3、六木3.4	3	2	1	1				4
	4	加平2.3、北加平町、神明南1.2	-	1	-	-	1	-	-	0	
小計				14	3	9	5	0	0	0	17

平成29年4月1日現在											
合計)	F齢別	数(年	児童	待機					
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数				
15			1	3	10	1	7				
8				3	5		4				
2				1	1		3				
0	-	-	-	-	-	-	-				
25	0	0	1	7	16	1	14				

待機 児童数
前年比較
4
6
-2
0
8

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

人口の推移(佐野地域) ___0~2歲 ___3~5歲 →_合計 3,000 2,804 2,671 2,594 2,538 2,462 2,000 1,357 1,447 1,264 1,407 1,230 1,364 1,208 1,330 1,216 1,246 1,000 H25 H26 H27 H28 H29.4

【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成	28年	平成29年		
就労中(フルタイム)	2人	11.8%	1人	4.0%	
就労中(パート)	3人	17.6%	16人	64.0%	
求職中	12人	70.6%	6人	24.0%	
その他	0人	0.0%	2人	8.0%	
合計	17人	100.0%	25人	100.0%	

【保育需要】		平成	28年4月1日	現在
7プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要率	
	0~5歳児	2,538	697	27.46%
佐野地域	0~2歳児	1,208	309	25.58%
	3~5歳児	1,330	388	29.17%

平成29年4月1日現在				
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
2,462	718	29.16%		
1,216	325	26.73%		
1,246	393	31.54%		

前年比				
就学前 人口	保育 需要数	保育需要率		
-76	21	1.70		
8	16	1.15		
-84	5	2.37		

【各地区】		平成28年4月1日現在		現在
7-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
大谷田1~5、 谷中3.4.5	0~5歳児	971	370	38.11%
	0~2歳児	470	168	35.74%
	3~5歳児	501	202	40.32%

平成29年4月1日現在				
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
940	377	40.11%		
467	171	36.62%		
473	206	43.55%		

前年比				
就学前 人口	保育 需要率			
-31	7	2.00		
-3	3	0.88		
-28	4	3.23		

7-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
佐野1.2、辰沼1.2、 六木1.2	0~5歳児	608	219	36.02%
	0~2歳児	268	93	34.70%
/ \/N1.2	3~5歳児	340	126	37.06%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
581	237	40.79%
281	107	38.08%
300	130	43.33%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-27	18	4.77
13	14	3.38
-40	4	6.27

7-(3)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
神明1.2.3、六木3.4、 (花畑川北側)	0~5歳児	516	107	20.74%
	0~2歳児	241	48	19.92%
	3~5歳児	275	59	21.45%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
463	103	22.25%
207	46	22.22%
256	57	22.27%

就学前	保育需要数	保育需要率
-53	-4	1.51
-34	-2	2.30
-19	-2	0.82

7- (4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
加平2.3、北加平町、 神明南1.2	0~5歳児	443	1	0.23%
	0~2歳児	229	0	0.00%
	3~5歳児	214	1	0.47%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
478	1	0.21%
261	1	0.38%
217	0	0.00%

就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
35	0	-0.02
32	1	0.38
3	-1	-0.47

地域別	地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】					ム就労世帯】 平成28年4月1日現在						
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計	
			地 塊	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
		1	大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	7		1					1	
	佐野地域	佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	4							0		
7 ブロック		在到,1673	7 3 神明1.2.3. 六木3	神明1.2.3、六木3.4	3		1					1
	4		加平2.3、北加平町、神明南1.2	-	1	-	-	-	-	-	0	
	小計				0	2	0	0	0	0	2	

平成29年4月1日現在										
合計)	F齢別	数(年	児童	待機				
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数			
0							7			
1					1		4			
0							3			
0	-	-		-	-	-	-			
1	0	0	0	0	1	0	14			

待機 児童数 前年 比較 -1 1 -1 0

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は、25 人 (24 人が 0~2 歳児) で前年度に比べて 8 人の増でした。申請事由別では、フルタイム就労世帯が 1 人減の 1 人、パート就労世帯が 13 人増の 16 人、求職中世帯が 6 人減の 6 人となっており、大部分がパート・求職中世帯という状況です。

(2) 就学前人口

平成29年4月1日現在の就学前人口は、2,462人で前年度に比べて76人の減でしたが、0~2歳 児では8人の増となっています。平成28年度に加平二丁目で113戸のマンションが完成しており、北 綾瀬駅周辺では就学前人口が増加していることから、今後注視が必要な地域と考えています。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、718 人で保育需要率は 29.16%でした。保育需要数は 21 人増加し、保育需要率は 1.70 ポイント増加しています。今後、マンションの建築に伴い、保育需要は一時的に増加する見込みです。

なお、隣接している綾瀬地域の施設の利用申込が多く、こうした児童数は綾瀬地域の保育需要として計上されています(P.68 参照)。

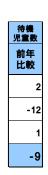
種別	↑佐≐几米/-		Į	
(生力)	施設数	0~2	3~5	合計
認可保育所(公立)	4	148	296	444
認可保育所(公設民営)	0	0	0	0
認可保育所(私立)	1	37	63	100
認定こども園(公立)	1	27	49	76
認定こども園(私立)	0	0	0	0
小規模保育	1	15	0	15

1 4 Dil	÷左≑几米b		施設定員		
種別	施設数	0~2	3~5	合計	
家庭的保育	7	23	0	23	
区認定家庭的保育	0	0	0	0	
公設民営認可外	0	0	0	0	
認証保育所(A型)	1	23	17	40	
認証保育所(B型)	1	27	0	27	
合 計	16	300	425	725	

8 ブロック 保塚・六町地域

地域是	地域別待機児童数(年齢別)				平	成2	8年4	4月1	日玥	在	
			+uh +=t:		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地域	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	南町
	1		六町1.2.3.4、一ツ家4、 西加平1.2、南花畑1.2.3	9	4	4					8
8	保塚・六町 地域	2	ーツ家2.3、保塚町、東保木間1.2	10	4	7	4				15
ブロック		3	平野1.2.3、一ツ家1、東六月町、 保木間1.2	8							0
			小 計	27	8	11	4	0	0	0	23

平成29年4月1日現在											
合計)	F齢別	数(年	児童	待機					
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数				
10				2	6	2	10				
3				1		2	9				
1					1		7				
14	0	0	0	3	7	4	26				



待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

(人) 人口の推移(保塚・六町地域) ■ 0~2歳 ■ 3~5歳 → 合計 2,630 2,647 2,512 2,544 2,000 1,306 1,275 1,331 1,316 1,338 1,292 1,262 1,253 1,259 1,282 1,000 H25 H26 H27 H28 H29.4

【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成	28年	平成	29年
就労中(フルタイム)	5人	21.7%	0人	0.0%
就労中(パート)	5人	21.7%	2人	14.3%
求職中	12人	52.3%	9人	64.3%
その他	1人	4.3%	3人	21.4%
合計	23人	100.0%	14人	100.0%

【保育需要】	平成	成28年4月1日	現在	
8プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	2,630	795	30.23%
保塚·六町地域	0~2歳児	1,338	391	29.22%
	3~5歳児	1,292	404	31.27%

平成29年4月1日現在							
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率					
2,544	836	32.86%					
1,262	415	32.88%					
1,282	421	32.84%					

前年比									
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率							
-86	41	2.63							
-76	24	3.66							
-10	17	1.57							

【各地区】	平成	28年4月1日	現在	
8-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
六町1~4、一ツ家4、	0~5歳児	957	306	31.97%
西加平1.2、南花畑1.2.3	0~2歳児	521	184	35.32%
(車検場通り東側)	3~5歳児	436	122	27.98%

平成29年4月1日現在							
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率					
926	371	40.06%					
494	222	44.94%					
432	149	34.49%					

前年比								
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率						
-31	65	8.09						
-27	38	9.62						
-4	27	6.51						

8-(2)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
ーツ家2.3、保塚町、 東保木間1.2	0~5歳児	787	390	49.56%
	0~2歳児	375	164	43.73%
	3~5歳児	412	226	54.85%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
780	366	46.92%
374	150	40.11%
406	216	53.20%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-7	-24	-2.64
-1	-14	-3.62
-6	-10	-1.65

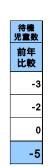
8-(3)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
平野1.2.3、一ツ家1、 東六月町、保木間2.3.4	0~5歳児	886	99	11.17%
	0~2歳児	442	43	9.73%
(4号線沿い)	3~5歳児	444	56	12.61%

就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
838	99	11.81%
394	43	10.91%
444	56	12.61%

就学前	保育 需要数	保育 需要率
-48	0	0.64
-48	0	1.18
0	0	0.00

地域別	地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】				平	成2	8年4	4月1	日瑪	在	
	14 14			待機	児童	数(年	F齢別)		A 41	
			地域施		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
		1	六町1.2.3.4、一ツ家4、 西加平1.2、南花畑1.2.3	9	2	1					3
保塚・六町 地域	2	ーツ家2.3、保塚町、東保木間1.2	10	1	1					2	
ブロック		3	平野1.2.3、一ツ家1、東六月町、 保木間1.2	8							0
			小 計	27	3	2	0	0	0	0	5

平成29年4月1日現在								
合計)	F齢別	数(年	児童	待機		
AM	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数	
0							10	
0							9	
0							7	
0	0	0	0	0	0	0	26	



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成29年4月1日現在の待機児童は、14人(すべて0~2歳児)でした。前年に比べて、9人減少しています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が前年度比5人減の0人、パート就労世帯が3人減の2人、求職中世帯が3人減の9人と、求職中世帯の割合が大きくなっています。

(2) 就学前人口

就学前人口は平成27年4月をピークに、減少に転じています。平成29年4月1日現在では、六町一丁目の広い地域で再開発に伴う移転が実施されていることから、人口は2,544人で前年度に比べて86人の減となりました。今後、再開発地区の活用が進むことで、人口は再び増加に転じる見込みです。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、836 人で前年度に比べて 41 人の増、保育需要率は 32.86%で前年度に比べ 2.63 ポイントの増でした。

なお、隣接する花畑・保木間地域、竹の塚地域の施設の利用申込が多く、こうした児童数は両地域の保育需要として計上されています(P.69~70参照)。

1 4 Dil	÷左≑几米b		施設定員	Į
種別	施設数	0 ~ 2	3~5	合計
認可保育所(公立)	2	56	115	171
認可保育所(公設民営)	1	45	57	102
認可保育所(私立)	6	184	297	481
認定こども園(公立)	0	0	0	0
認定こども園(私立)	1	31	30	61
小規模保育	1	19	0	19

種別	↑佐≐几米/-	施設定員			
性別	施設数	0~2	3~5	合計	
家庭的保育	12	43	0	43	
区認定家庭的保育	3	8	0	8	
公設民営認可外	0	0	0	0	
認証保育所(A型)	1	27	0	27	
認証保育所(B型)	0	0	0	0	
合 計	27	413	499	912	

9 ブロック 花畑・保木間地域

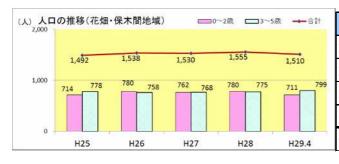
地域別待機児童数(年齢別)		平成28年4月1日現在									
			+uh +=t:		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地域		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	南花畑4.5、花畑1	2		2	1		1		4
	花畑・保木間	2	花畑2.3.6.7	4							0
9 ブロック	地域	3	花畑8(桑袋)	1							0
		4	保木間3.4.5、花畑4.5	6	5	3		1			9
	小計		13	5	5	1	1	1	0	13	

	平成29年4月1日現在							
A 41)	F齡別	数(年	児童	待機		
合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数	
1					1		2	
4				2		2	5	
0							1	
5			1		3	1	5	
10	0	0	1	2	4	3	13	

待機 児童数
前年比較
-3
4
0
-4
-3

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

【申請事由別待機児童数】



申請事由	平成	28年	平成29年		
就労中(フルタイム)	1人	7.7%	0人	0.0%	
就労中(パート)	5人	38.5%	6人	60.0%	
求職中	7人	53.8%	4人	40.0%	
その他	0人	0.0%	0人	0.0%	
合計	13人	100.0%	10人	100.0%	

【保育需要】		平成28年4月1日現在			
9プロック	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率	
花畑·保木間地域	0~5歳児	1,555	604	38.84%	
	0~2歳児	780	232	29.74%	
	3~5歳児	775	372	48.00%	

平成29年4月1日現在					
就学前 人口					
1,510	608	40.26%			
711	234	32.91%			
799	374	46.81%			

前年比					
就学前人口	保育 需要率				
-45	4	1.42			
-69	2	3.17			
24	2	-1 19			

【各地区】	平成28年4月1日現在			
9-(1)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	371	159	42.86%
南花畑4.5、花畑1	0~2歳児	183	50	27.32%
	3~5歳児	188	109	57.98%

平成29年4月1日現在						
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率				
367	154	41.96%				
174	49	28.16%				
193	105	54.40%				

前年比				
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
-4	-5	-0.90		
-9	-1	0.84		
5	-4	-3.57		

9-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
花畑2.3.6.7	0~5歳児	568	168	29.58%
	0~2歳児	300	78	26.00%
	3~5歳児	268	90	33.58%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
556	182	32.73%
262	89	33.97%
294	93	31.63%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-12	14	3.15
-38	11	7.97
26	3	-1.95

9-(3)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	51	61	119.61%
花畑8(桑袋)	0~2歳児	25	20	80.00%
	3~5歳児	26	41	157.69%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
55	56	101.82%
31	19	61.29%
24	37	154.17%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
4	-5	-17.79
6	-1	-18.71
-2	-4	-3.52

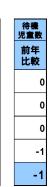
9-(4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
/D-1-880 4.5 ***********************************	0~5歳児	565	216	38.23%
保木間3.4.5、花畑4.5 (4号線沿線)	0~2歳児	272	84	30.88%
(十分 10水/口 10水/	3~5歳児	293	132	45.05%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
532	216	40.60%
244	77	31.56%
288	139	48.26%

就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
-33	0	2.37
-28	-7	0.68
-5	7	3.21

地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】				平	成2	8年4	月1	日瑪	在		
			1th 1-4		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地域	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	南花畑4.5、花畑1	2							0
	花畑・保木間	2	花畑2.3.6.7	4							0
9 ブロック	地域	3	花畑8(桑袋)	1							0
		4	保木間3.4.5、花畑4.5	6	1						1
			小 計	13	1	0	0	0	0	0	1

	平成29年4月1日現在						
A 81)	F齢別	数(年	児童	待機	
合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数
0							2
0							5
0							1
0							5
0	0	0	0	0	0	0	13



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成29年4月1日現在の待機児童は、認可保育所の定員増の影響などがあり10人(9人が0~2歳児)と、前年度に比べて3人の減でした。申請事由別では、フルタイム就労世帯はなし、パート就労世帯が6人、求職中世帯が4人となっています。

(2) 就学前人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の就学前人口は、1,510 人で前年度に比べて 45 人減少しています。今後の就学前人口は、花畑エリアデザインによる影響も見据える必要がありますが、地域全体としては横ばい程度で推移するものと思われます。

(3) 保育需要

平成29年4月1日現在の保育需要数は、608人で前年度に比べて4人の増、保育需要率は40.26%で 1.42 ポイント増加しています。隣接する保塚・六町地域からの需要の流入が多い地域ですが(P.69参照)、今後、同地域の施設整備が更に進み、保育需要の流れ込みが減少する見込であることから、需要は減少に転じることが予想されます。

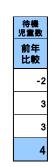
種別	施設数		Į.		
作生力儿	他記文教	0~2	3~5	合計	
認可保育所(公立)	4	115	252	367	
認可保育所(公設民営)	0	0	0	0	
認可保育所(私立)	1	69	101	170	
認定こども園(公立)	0	0	0	0	
認定こども園(私立)	1	0	86	86	
小規模保育	1	19	0	19	

種別	↑ 左≑几米/-		施設定員	
性別	施設数	0~2	3~5	合計
家庭的保育	5	18	0	18
区認定家庭的保育	1	4	0	4
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所(A型)	0	0	0	0
認証保育所(B型)	1	15	0	15
合 計	14	240	439	679

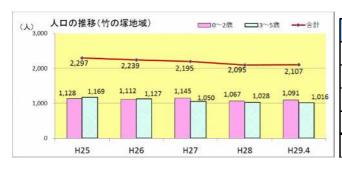
10 ブロック 竹の塚地域

地域別待機児童数(年齢別)			平	成2	8年4	4月1	日玥	在			
11. 1-10.		待機児童数 (年齢別)						A 41			
			地域		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
1 0 ブロック		1	西保木間1.2.3.4	3		2					2
		2	竹の塚1.2.3.4.5.6.7	12	2	2	1	1			6
		3	六月1.2.3、島根1.2.3.4、栗原1.2	8	1	3	3				7
			小 計	23	3	7	4	1	0	0	15

平成29年4月1日現在							
습함)	F齡別	数(年	児童	待機	
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数
0							3
9		1	2	3	3		13
10				2	6	2	8
19	0	1	2	5	9	2	24



待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成28年		平成29年	
就労中(フルタイム)	3人	20.0%	4人	21.1%
就労中(パート)	6人	40.0%	5人	26.3%
求職中	6人	40.0%	9人	47.3%
その他	0人	0.0%	1人	5.3%
合計	15人	100.0%	19人	100.0%

【保育需要】		平成28年4月1日現在		
10プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	2,095	1,013	48.35%
竹の塚地域	0~2歳児	1,067	467	43.77%
	3~5歳児	1,028	546	53.11%

平成29年4月1日現在				
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
2,107	1,051	49.88%		
1,091	488	44.73%		
1,016	563	55.41%		

前年比					
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率			
12	38	1.53			
24	21	0.96			
-12	17	2.30			

【各地区】	平成28年4月1日現在			
10-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
	0~5歳児	399	184	46.12%
西保木間1~4	0~2歳児	186	72	38.71%
	3~5歳児	213	112	52.58%

平成29年4月1日現在					
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率			
371	181	48.79%			
176	67	38.07%			
195	114	58.46%			

I	前年比				
	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
	-28	-3	2.67		
	-10	-5	-0.64		
	-18	2	5.88		

10-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
竹の塚1~7	0~5歳児	605	409	67.60%
	0~2歳児	320	209	65.31%
	3~5歳児	285	200	70.18%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率	
639	435	68.08%	
354	220	62.15%	
285	215	75.44%	

就学前人口	保育需要数	保育需要率
34	26	0.48
34	11	-3.16
0	15	5.26

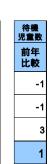
10-(3)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	0~5歳児	1,091	420	38.50%
六月1~3、島根1~4、 栗原1~2	0~2歳児	561	186	33.16%
★/ボ1~2	3~5歳児	530	234	44.15%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
1,097	435	39.65%
561	201	35.83%
536	234	43.66%

就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
6	15	1.15
0	15	2.67
6	0	-0.49

地域別	地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】				平	成2	8年4	4月1	日瑪	在	
			地域		待機	児童	数(年	手齢別	J)		合計
			地 塊	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	西保木間1.2.3.4	3		1					1
1 0	竹の塚地域	2	竹の塚1.2.3.4.5.6.7	12	1			1			2
ブロック		3	六月1.2.3、島根1.2.3.4、栗原1.2	8							0
	小計		23	1	1	0	1	0	0	3	

	在	平成29年4月1日現在									
合計)	F齢別	数(年	児童	待機					
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数				
0							3				
1					1		13				
3					2	1	8				
4	0	0	0	0	3	1	24				



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は、19 人 (16 人が 0~2 歳児) で前年比 4 人の増でした。六月一丁目~三丁目、島根一丁目~四丁目及び栗原一~二丁目の待機児童が前年度比 3 人増で 10 人と最も多く、次いで竹の塚一~七丁目で3 人増の9 人となっています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が4人に対し、パート就労世帯5人、求職中世帯9人とそれぞれが大きな割合を占めています。

(2) 就学前人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の就学前人口は、2,107 人で昨年度に比べて 12 人増加しています。0~2 歳児では 24 人の増、3~5 歳児では 12 人の減でした。平成 28 年 6 月に西保木間二丁目で 138 戸のマンションが完成しており、今後の就学前人口の動向に注視が必要です。

(3) 保育需要

平成29年4月1日現在の保育需要数は1,051人で、前年度比38人の増です。隣接地域からの保育需要の流れ込みが非常に多い地域であり、今後、隣接地域で施設整備が進むことで需要は減少に転じることが見込まれます。

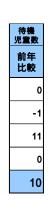
1 4 DI	↑ 左≑几米/-	施設定員					
種別	施設数	0 ~ 2	3~5	合計			
認可保育所(公立)	2	83	142	225			
認可保育所(公設民営)	3	118	222	340			
認可保育所(私立)	3	107	182	289			
認定こども園(公立)	0	0	0	0			
認定こども園(私立)	0	0	0	0			
小規模保育	3	57	0	57			

種別	施設数	施設定員				
作里力!	他記文教	0 ~ 2	3~5	合計		
家庭的保育	13	39	0	39		
区認定家庭的保育	0	0	0	0		
公設民営認可外	0	0	0	0		
認証保育所(A型)	3	80	23	103		
認証保育所(B型)	1	29	0	29		
合 計	28	513	569	1,082		

11 ブロック 伊興・西新井地域

地域原	地域別待機児童数(年齢別)		引待機児童数(年齢別) 平成28年4月1日現在								
			地域		待機	児童	数(年	F齢別)		A BL
			地域	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
		1	伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4、西 竹の塚1	6	1	4		2			7
	伊興・西新井	2	西新井1、栗原3	5		1					1
1 1 プロック	地域	3	西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	6	2	3					5
		4	西新井6.7	2							0
	小計		19	3	8	0	2	0	0	13	

	平成29年4月1日現在									
合計)	F齢別	数(年	児童	待機				
	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数			
7				1	5	1	6			
0							5			
16				2	9	5	5			
0							2			
23	0	0	0	3	14	6	18			



待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【申請事由別待機児童数】

申請事由	平成	28年	平成	29年
就労中(フルタイム)	4人	30.8%	5人	21.7%
就労中(パート)	4人	30.8%	8人	34.8%
求職中	4人	30.8%	7人	30.5%
その他	1人	7.6%	3人	13.0%
合計	13人	100.0%	23人	100.0%

【保育需要】		平成28年4月1日現在				
11プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
	0~5歳児	2,229	713	31.99%		
伊興·西新井地域	0~2歳児	1,110	360	32.43%		
	3~5歳児	1,119	353	31.55%		

平成29年4月1日現在						
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率				
2,161	740	34.24%				
1,092	387	35.44%				
1,069	353	33.02%				

前年比				
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率		
-68	27	2.25		
-18	27	3.01		
-50	0	1 47		

【各地区】		平成	28年4月1日	Ŧ	見在
11-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数		保育 需要率
伊興1.2.3、西新井2.3、	0~5歳児	1,087	428		39.37%
栗原4	0~2歳児	564	203		35.99%
(竹/塚駅西口地区)	3~5歳児	523	225		43.02%

平成29年4月1日現在				
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率		
1,072	436	40.67%		
553	206	37.25%		
519	230	44.32%		

前年比					
就学前 人口	保育 需要率				
-15	8	1.30			
-11	3	1.26			
-4	5	1.29			

11-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
西新井1·栗原3 (大師前駅地区)	0~5歳児	299	42	14.05%
	0~2歳児	144	41	28.47%
	3~5歳児	155	1	0.65%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
272	57	20.96%
135	56	41.48%
137	1	0.73%

就学前人口	保育需要数	保育 需要率
-27	15	6.91
-9	15	13.01
-18	0	0.08

11-(3)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
西伊興1.2、西新井4.5、	0~5歳児	664	200	30.12%
谷在家1	0~2歳児	313	92	29.39%
(ライナー谷在家駅地区)	3~5歳児	351	108	30.77%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
626	209	33.39%
300	100	33.33%
326	109	33.44%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-38	9	3.27
-13	8	3.94
-25	1	2.67

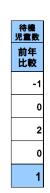
11-(4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
TT 25 14 0 =	0~5歳児	179	43	24.02%
西新井6.7 (ライナー西新井大師西駅)	0~2歳児	89	24	26.97%
(24) 一四新开入邮码制)	3~5歳児	90	19	21.11%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
191	38	19.90%
104	25	24.04%
87	13	14.94%

就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
12	-5	-4.12
15	1	-2.93
-3	-6	-6.17

地域別	地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】				平	成2	8年4	月1	日玥	在	
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地 場	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4、西 竹の塚1	6	1	1					2
	伊興・西新井	2	西新井1、栗原3	5							0
1 1 プロック	地域	3	西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	6		2					2
	4		西新井6.7	2							0
	小 計				1	3	0	0	0	0	4

平成29年4月1日現在									
合計)	F齢別	数(年	児童	待機			
日町	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数		
1					1		6		
0							5		
4					3	1	5		
0							2		
5	0	0	0	0	4	1	18		
•									



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は、23 人 (すべてが 0~2 歳児) で前年度に比べて 10 人の増となっています。申請事由別では、フルタイム就労世帯 5 人、パート就労世帯 8 人、求職中世帯が 7 人となっています。

(2) 就学前人口

平成29年4月1日現在の就学前人口は、2,161人で前年度に比べて68人の減となっています。平成29年6月に76戸のマンションが建設される予定があり、平成27年度に完成した240戸のマンションでの出生増加も見込まれることから、就学前人口の動向に注意が必要と考えています。

(3) 保育需要

平成29年4月1日現在の保育需要数は、740人で27人の増となっています。また、保育需要率は34.24%で、2.25ポイント増となっています。平成30年度以降、大規模マンションからの保育需要が増加し、需要を押し上げることが見込まれます。

なお、隣接する興野・本木地域、竹の塚地域、鹿浜地域及び東伊興・舎人地域の施設の利用申込が多く、こうした児童数は申込先の地域の保育需要として計上されています(P.70 参照)。

1 4 Dil	↑ 左≐几米6	施設定員				
種別	施設数	0~2	3~5	合計		
認可保育所(公立)	0	0	0	0		
認可保育所(公設民営)	1	44	62	106		
認可保育所(私立)	4	146	253	399		
認定こども園(公立)	0	0	0	0		
認定こども園(私立)	0	0	0	0		
小規模保育	3	56	0	56		

種別	÷左≑几米b	施設定員				
作里力!	施設数	0 ~ 2	3~5	合計		
家庭的保育	10	32	0	32		
区認定家庭的保育	0	0	0	0		
公設民営認可外	0	0	0	0		
認証保育所(A型)	3	70	27	97		
認証保育所(B型)	1	29	0	29		
合 計	22	377	342	719		

12 ブロック 鹿浜地域

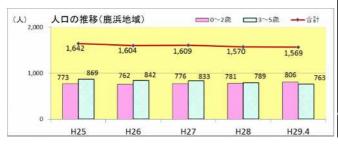
地域是	地域別待機児童数(年齢別)				平	成2	8年4	4月1	日現	在	
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地 塊	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	5		4					4
	DECC181-9	2	江北6.7	4	1	1					2
1 2 ブロック	鹿浜地域	3	加賀1.2、鹿浜5.6	5	2	4	3				9
		4	鹿浜2.3.4、椿2	4		1					1
	小計			18	3	10	3	0	0	0	16

_									
J	平成29年4月1日現在								
	合計)	E齢別	数(年	児童	待機		
		5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数	
	9				2	7		5	
	9	1			5	2	1	4	
	6				2	3	1	5	
	0							4	
	24	1	0	0	9	12	2	18	

待機 児童数
前年比較
5
7
-3
-1
8

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

【申請事由別待機児童数】



申請事由	平成	,28年	平成	29年
就労中(フルタイム)	0人	0.0%	3人	12.5%
就労中(パート)	8人	50.0%	10人	41.7%
求職中	8人	50.0%	8人	33.3%
その他	0人	0.0%	3人	12.5%
合計	16人	100.0%	24人	100.0%

【保育需要】	平成28年4月1日現在				
12プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率	
	0~5歳児	1,570	651	41.46%	
鹿浜地域	0~2歳児	781	269	34.44%	
	3~5歳児	789	382	48.42%	

平成29年4月1日現在						
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率				
1,569	665	42.38%				
806	286	35.48%				
763	379	49.67%				

前年比								
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率						
-1	14	0.92						
25	17	1.04						
-26	-3	1.25						

【各地区】	平成		現在	
12-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
皿沼1.2.3、谷在家2.3、	0~5歳児	564	111	19.68%
鹿浜7.8(鳩ヶ谷街道東側	0~2歳児	273	41	15.02%
(上部)谷在家駅)	3~5歳児	291	70	24.05%

平成29年4月1日現在		
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
562	113	20.11%
287	46	16.03%
275	67	24.36%

	前年比	
就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
-2	2	0.43
14	5	1.01
-16	-3	0.31

12-(2)	年齢区分	就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
江北6.7(鳩ヶ谷街道東側	0~5歳児	152	218	143.42%
(下部(環七側)	0~2歳児	87	77	88.51%
西新井大師西駅)	3~5歳児	65	141	216.92%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
156	223	142.95%
87	86	98.85%
69	137	198.55%

就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
4	5	-0.47
0	9	10.34
4	-4	-18.37

12-(3)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
加賀1.2、鹿浜5.6	0~5歳児	429	284	66.20%
鳩ヶ谷街道より西側	0~2歳児	210	114	54.29%
(上部)	3~5歳児	219	170	77.63%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
429	286	66.67%
214	113	52.80%
215	173	80.47%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
0	2	0.47
4	-1	-1.49
-4	3	2.84

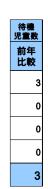
12-(4)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
鹿浜2.3.4、椿2	0~5歳児	425	38	8.94%
鳩ヶ谷街道より西側	0~2歳児	211	37	17.54%
(下部(環七側))	3~5歳児	214	1	0.47%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
422	43	10.19%
218	41	18.81%
204	2	0.98%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
-3	5	1.25
7	4	1.27
-10	1	0.51

地域別	地域別待機児童数(年齢別)【フルタイム就労世帯】				平	成2	8年4	月1	日玥	在	
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地 塊	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	5							0
	鹿浜地域	2	江北6.7	4							0
1 2 ブロック	能洪地域	3	加賀1.2、鹿浜5.6	5							0
		4	鹿浜2.3.4、椿2	4							0
			小 計	18	0	0	0	0	0	0	0

	!在	平成29年4月1日現在							
合計)	F齢別	数(年	児童	待機			
南町	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数		
3					3		5		
0							4		
0							5		
0							4		
3	0	0	0	0	3	0	18		



フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は 24 人 (23 人が 0~2 歳児) で、前年度に比べて 8 人の増でした。申請事由別では、フルタイム就労世帯は 3 人、パート就労世帯 10 人、求職中世帯が 8 人となっています。

(2) 就学前人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の就学前人口は 1,569 人で、前年度比 1 人減となっています。0~2 歳児では 25 人の増、3~5 歳児では 26 人の減でした。マンション等の大きな開発計画はありませんが、戸建て住宅開発が進んでおり、今後の就学前人口の動向に注視が必要と考えています。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は 665 人で前年度に比べ 14 人増加しています。0~2 歳児では 17 人の増、3~5 歳児では 3 人の減でした。保育需要率は 42.38%で 0.92 ポイント増加しています。2 ブロック(江北地域)からの保育需要の流入が増加したことが一因と思われます。今後、隣接地域の保育施設整備が進むことで保育需要は減少すると見込まれます。

1 ≨ Dil	↑ 左≑几米/-		施設定員	Į
種別	施設数	0~2	3~5	合計
認可保育所(公立)	3	115	209	324
認可保育所(公設民営)	1	24	71	95
認可保育所(私立)	1	39	48	87
認定こども園(公立)	1	24	72	96
認定こども園(私立)	0	0	0	0
小規模保育	1	19	0	19

1 4 Dil	+佐≐几米/-		施設定員	
種別	施設数	0~2	3~5	合計
家庭的保育	8	27	0	27
区認定家庭的保育	3	7	0	7
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所(A型)	0	0	0	0
認証保育所(B型)	1	18	0	18
合 計	19	273	400	673

13 ブロック 舎人・東伊興地域

地域是	地域別待機児童数(年齢別)		平成28年4月1日現在								
			地 域		待機	児童	数(年	F齢別)		合計
			地 塊	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興 1.2.3.4、西伊興4、西竹の塚2	5	1	2	1	2			6
1 3	舎人・東伊興 地域	2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、 西伊興3	14	1	2	2				5
プロック		3	舎人4.5.6、 入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	6		2	1				3
			小計	25	2	6	4	2	0	0	14

	在	平成29年4月1日現在						
合計)	F齢別	数(年	児童	待機		
南町	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数	
10				1	8	1	5	
8				1	6	1	14	
3				1	2		5	
21	0	0	0	3	16	2	24	



待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

【申請事由別待機児童数】



申請事由	平成28年		平成	29年
就労中(フルタイム)	2人	14.3%	5人	23.8%
就労中(パート)	3人	21.4%	6人	28.6%
求職中	8人	57.1%	10人	47.6%
その他	1人	7.2%	0人	0.0%
合計	14人	100.0%	21人	100.0%

【保育需要】	平成28年4月1日現在				
13プロック	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率	
	0~5歳児	2,610	725	27.78%	
舎人·東伊興地域	0~2歳児	1,262	342	27.10%	
	3~5歳児	1,348	383	28.41%	

平成29年4月1日現在					
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率			
2,651	746	28.14%			
1,290	368	28.53%			
1,361	378	27.77%			

	前年比					
	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率			
I	41	21	0.36			
I	28	26	1.43			
F	13	-5	-0.64			

【各地区】	平成28年4月1日現在			
13-(1)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
伊興本町1.2、東伊興1~4、	0~5歳児	861	297	34.49%
伊興4.5、西伊興4	0~2歳児	424	143	33.73%
(竹ノ塚駅西口付近)	3~5歳児	437	154	35.24%

平成29年4月1日現在					
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率			
894	300	33.56%			
430	144	33.49%			
464	156	33.62%			

前年比								
就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率						
33	3	-0.93						
6	1	-0.24						
27	2	-1.62						

13-(2)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
古千谷本町1.2.3、	0~5歳児	931	264	28.36%
舎人1.2.3	0~2歳児	445	140	31.46%
(ライナー東側沿線)	3~5歳児	486	124	25.51%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
983	279	28.38%
495	163	32.93%
488	116	23.77%

就学前 人口	保育 需要数	保育 需要率
52	15	0.02
50	23	1.47
2	-8	-1.74

13-(3)	年齡区分	就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
A 1	0~5歳児	818	164	20.05%
舎人4.5.6、入谷1~9 (ライナー西側沿線)	0~2歳児	393	59	15.01%
(プイプー四関/石線)	3~5歳児	425	105	24.71%

就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
774	167	21.58%
365	61	16.71%
409	106	25.92%

就学前 人口	保育 需要数	保育需要率
-44	3	1.53
-28	2	1.70
-16	1	1.21

地域別	待機児童数(:	年齢別	削)【フルタイム就労世帯】		平	成2	8年4	月1	日現	在	
	44. 4-8			待機	児童	数(年	F齢別	l)		合計	
			地域	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
	地域	1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興 1.2.3.4、西伊興4、西竹の塚2	5		1					1
1 3		2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、 西伊興3	14	1						1
ブロック		3	舎人4.5.6、 入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	6							0
			小計	25	1	1	0	0	0	0	2

4								
彩		在	日現	月1	9年4	成2	平	
自出	合計)	F齢別	数(年	児童	待機	
H		5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	施設数
	3					2	1	5
	1					1		14
	1					1		5
	5	0	0	0	0	4	1	24

待機 児童数 前年 比較 2 0 1

待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

フルタイム就労世帯:月20日以上、1日8時間以上(休憩時間含む)の就労を常態(外勤・自宅内)

(1) 待機児童

平成 29 年 4 月 1 日現在の待機児童は 21 人 (すべて 0~2 歳児) で、前年度に比べ 7 人増加しました。申請事由別では、フルタイム就労世帯が前年度比 3 人増の 5 人、パート就労世帯が 3 人増の 6 人、求職中世帯が 2 人増の 10 人となっています。

(2) 就学前人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の就学前人口は 2,651 人で、前年度に比べて 41 人の増でした。0~2 歳 児は 28 人増、3~5 歳児は 13 人増となっています。戸建て住宅開発が急速に進んでおり、今後の就学前人口の動向に注視が必要と考えています。

(3) 保育需要

平成 29 年 4 月 1 日現在の保育需要数は 746 人で、前年度に比べて 21 人の増となっています。また、保育需要率は 28.14%で、0.36 ポイントの増でした。日暮里・舎人ライナー西側沿線では保育需要が減り、他の地域では保育需要が増加しています。就学前人口同様、今後の保育需要にも注視が必要であると考えています。

種別	施設数	施設定員				
作生力」	加克文文义	0~2	3~5	合計		
認可保育所(公立)	3	81	187	268		
認可保育所(公設民営)	0	0	0	0		
認可保育所(私立)	2	106	138	244		
認定こども園(公立)	0	0	0	0		
認定こども園(私立)	1	39	75	114		
小規模保育	2	38	0	38		

14 미J	↑ 左≑几米/-	施設定員				
種別	施設数	0~2	3~5	合計		
家庭的保育	16	54	0	54		
区認定家庭的保育	0	0	0	0		
公設民営認可外	0	0	0	0		
認証保育所(A型)	1	30	0	30		
認証保育所(B型)	0	0	0	0		
合 計	25	348	400	748		

資料3 保育需要の動向に関する分析

【分析定義】

分析に用いる保育需要の定義

分析に用いる「保育需要」は、以下 と を足したものとします。

あだち子育て応援隊の利用児童は、動向の分析においては対象外とします。

在園児・・・・平成 29 年 4 月 1 日時点で、認可保育所、認定こども園(保育認定児童に限る)、小規模保育、家庭的保育、公設民営認可外保育施設、東京都認証保育所、足立区認定家庭的保育、企業主導型保育、幼稚園(一時預かり)事業を利用している区民。(区外の保育施設を利用している児童を含む。)

待機児童・・平成 29 年 4 月 1 日時点の厚生労働省基準に基づ〈待機児童。

在園児 12,740 人 + 待機児童 374 人 = 保育需要 13,114 人

地域別の保育需要

上記の定義に基づき、保育需要を居住地域別で集計した結果は下表のとおりです。千住地域や綾瀬地域など、主要駅を中心としたエリアに保育需要が多く発生している状況にあります。

ブロック	細分化	地 域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	ブロック合計
1	1	千住東側	58	120	99	106	109	118	610	4 775
	2	千住西側	119	226	265	186	197	172	1,165	1,775
	1	江北2(26番以上).3.4、椿1、堀之内1.2、鹿浜1	17	39	38	38	28	42	202	446
	2	江北1.2(25番まで)、扇2	24	36	59	43	41	41	244	440
2	3	新田1	8	17	17	27	24	18	111	
2	4	新田2	3	10	9	6	9	9	46	487
	5	新田3	24	54	68	59	54	71	330	
	6	宮城·小台	21	54	59	45	44	46	269	269
	1	西新井栄町3、西新井本町1.3.4.5	21	27	42	37	49	41	217	
3	2	興野1、本木1.2、本木東町、本木南町	19	38	34	31	29	32	183	826
3	3	扇1.3、興野2、本木北町、本木西町	36	61	70	57	65	58	347	020
	4	西新井本町2	7	17	16	16	13	10	79	
	1	梅島1.2.3	20	42	36	28	37	34	197	1,179
4	2	梅田1.2.3.4.5.6.7	38	69	72	64	63	65	371	
-	3	梅田8、西新井栄町1.2	34	73	78	71	63	69	388	
	4	関原1.2.3	17	57	46	38	35	30	223	
	1	青井1.2.3.4.5.6	25	53	58	51	51	55	293	
5	2	弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	22	62	50	46	47	42	269	1,019
"	3	中央本町1.2.3.4.5	17	42	48	49	48	47	251	1,019
	4	足立1.2.3.4	15	41	46	30	41	33	206	
	1	綾瀬1.2.3.4.5.6.7、加平1	54	96	101	85	79	76	491	
6	2	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	41	93	96	77	58	56	421	1,560
"	3	東和1.2.3.4.5、中川4(30番まで)	31	84	74	77	80	71	417	1,500
	4	中川1.2.3.4(30番以上).5	16	41	43	49	33	49	231	
	1	大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	34	89	76	73	76	60	408	
7	2	佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	16	36	48	39	39	43	221	936
'	3	神明1.2.3、六木3.4	12	25	27	30	29	27	150	330
	4	加平2.3、北加平町、神明南1.2	15	31	34	20	30	27	157	

		\ \mathred{\pi} \ \ \mathred{\pi} \mathred{\pi} \ \mathred{\pi} \ \mathred{\pi} \mathred{\pi} \mathred{\pi} \ \mathred{\pi} \mathred{\pi} \mathred{\pi} \mathred{\pi} \\ \mathred{\pi} \							004	
	1	六町1.2.3.4、一ツ家4、西加平1.2、南花畑1.2.3	39	86				56		
8	2	一ツ家2.3、保塚町、東保木間1.2	17	37	58	40	51	48	251	911
	3	平野1.2.3、一ツ家1、東六月町、保木間1.2	20	47	57	50	49	56	279	
	1	南花畑4.5、花畑1	10	29	34	30	29	39	171	
9	2	花畑2.3.6.7	12	27	32	37	42	33	183	604
9	3	花畑8(桑袋)	2	1	3	7	4	5	22	604
	4	保木間3.4.5、花畑4.5	23	32	39	37	53	44	228	
	1	西保木間1.2.3.4	9	24	28	36	28	24	149	
10	2	竹の塚1.2.3.4.5.6.7	16	45	44	36	25	34	200	806
	3	六月1.2.3、島根1.2.3.4、栗原1.2	38	86	100	78	93	62	457	
	1	伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4	50	70	86	69	59	62	396	
11	2	西新井1、栗原3	12	19	15	18	22	14	100	040
11	3	西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	11	53	51	43	52	44	254	812
	4	西新井6.7	6	11	13	9	7	16	62	
	1	皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	18	39	41	38	34	37	207	
40	2	江北6.7	8	17	16	10	12	10	73	040
12	3	加賀1.2、鹿浜5.6	13	26	38	30	33	36	176	610
	4	鹿浜2.3.4、椿2	13	28	32	31	22	28	154	
	1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4	22	59	61	57	72	52	323	
13	2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、西伊興3	28	72	62	43	53	53	311	874
	3	舎人4.5.6、入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	16	39	55	43	44	43	240	
		合 計	1,147	2,480	2,659	2,273	2,317	2,238	13,114	13,114

ブロック別の保育需要の動向

児童が保育施設を利用するにあたり、各地域(ブロック)において以下のような「動き」が発生しています。 また、大規模開発や沿線開発等が進んでいる地域では、保育需要の拡大により、多くの世帯が居住地域外 の保育施設を利用する現象がみられます。このような保育需要の広域化が、待機児童の地域遍在につなが る一つの要因と考えます。

1ブロック 千住地域

				ı							
	帯の居住地		育園の所在地								
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		1	千住地域	157	314	339	284	295	277	1666	96.1%
		2-1.2	江北·扇地域			1				1	0.1%
		2-3.4.5	新田地域			1		1	1	3	0.2%
		2-6	宮城·小台地域			2	2			4	0.2%
		3	興野·本木地域			1			1	2	0.1%
		4	梅田地域	1	1	2	1		2	7	0.4%
1	千住地域	5	中央本町地域	1	3	3		2	3	12	0.7%
		6	綾瀬地域	2	2	2	2	3	2	13	0.8%
		8	保塚·六町地域		1		1		1	3	0.2%
		10	竹の塚地域		1					1	0.1%
		11	伊興·西新井地域			1				1	0.1%
		13	東伊興·舎人地域		1			1		2	0.1%
		管外	管外	1	2	6	2	4	3	18	1.0%
									•		
				162	325	358	292	306	290	1,733	100.0%
待機児童世	帯の居住地	希望する保	育園所在地			年齢別	内訳			合計	割合
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	ΠāΤ	割口
1	千住地域	1	千住地域	15	21	6				42	100.0%
			•							•	•
				15	21	6	0	0	0	42	100.0%

1プロック合計 **1,775**

- 保育需要の合計が前年度(1,667人)から急激に増加している(108人増)。
- ・保育施設を利用している世帯の多くが居住地域の保育施設を利用している(96.1%)。
- ・ 待機児童となった全ての世帯が居住地域の保育施設を希望している(100.0%)。

2 ブロック 江北・新田地域

在園児世界	帯の居住地		在園する個	保育園の所在地								
プロック	地域		プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
			1	千住地域						1	1	0.2%
			2-1.2	江北·扇地域	22	30	42	44	38	37	213	50.8%
			2-3.4.5	新田地域		2	3	1	2	2	10	2.4%
0.4	江北 扇地域		2-6	宮城·小台地域	1	2	3		1	4	11	2.6%
2-1 2-2			3	興野·本木地域	5	14	24	25	12	20	100	23.9%
2-2	144-15-4		4	梅田地域		2	2				4	1.0%
			11	伊興·西新井地域	1	4	6		1	2	14	3.3%
			12	鹿浜地域	3	10	9	11	14	15	62	14.8%
			管外	管外		1	1			2	4	1.0%

32 65 90 81 68	83 419 100.0	100.0%
----------------	---------------------	--------

行	持機児童世	の居住地		希望する	保育園所在地			年齡別	引内訳			A+1	Alte.
7	ブロック	地域		プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
	2-1	江北		2-1.2	江北·扇地区	6	6	5		1		18	66.7%
	2-2	扇地区		3	興野·本木地域	3	4	2				9	33.3%

0 **27** 100.0% 9 10 7 0

2-1.2プロック合計

【地域の特徴等】

- 保育需要の合計が前年度(401人)から大幅に増加している(45人増)。
- 居住地域の保育施設を利用している世帯は50.8%で、居住地域外の保育施設を利用する世帯も多い。 居住地域外の保育施設を利用する世帯の多くが隣接する「3ブロック」、「12ブロック」の保育施設を利用している。 待機児童となった世帯の33.3%が3ブロックの保育施設を希望している。

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地								
ブロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		2-3.4.5	新田地域	35	79	90	88	86	85	463	95.1%
2-3		2-6	宮城·小台地域		1	1	1	1	7	11	2.3%
2-4	新田地域	10	竹の塚地域						1	1	0.2%
2-5		12	鹿浜地域						1	1	0.2%
		管外	管外		1	3	3		4	11	2.3%

ſ	35	81	94	92	87	98	487	100.0%

待機児童世帯の居住地 プロック 地域		希望する	望する保育園所在地				合計	割合			
プロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		割百
2-3.4.5	新田地域	2-3.4.5	新田地域	0	0	0	0	0	0	0	

0 0	_
0 0	U

2-3.4.5プロック合計 487

- ・経域の存賦等。 保育需要の合計が前年度(522人)から大幅に減少している(35人減)。 保育施設を利用している世帯の多くが居住地域の保育施設を利用している(95.1%)。 区外の保育施設を利用している世帯は11人と、前年度から減少したものの比較的多い。
- 待機児童は解消された(前年度3人)。

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地								
プロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		1	千住地域	2	1	5			2	10	3.8%
		2-1.2	江北·扇地域		2	5	3		2	12	4.6%
		2-3.4.5	新田地域	1	7	2	1			11	4.2%
		2-6	宮城·小台地域	10	36	37	39	39	37	198	75.9%
2-6	宮城 小台地域	3	興野·本木地域	4	3	6	1	3	3	20	7.7%
	3.11.0.3	10	竹の塚地域		1	1				2	0.8%
		11	伊興·西新井地域					1	1	2	0.8%
		13	東伊興·舎人地域						1	1	0.4%
		管外	管外	2		1	1	1		5	1.9%

19 50 57	45 44	46 261	100.0%
----------	-------	---------------	--------

I	待機児童世	帯の居住地	希望する保育園所在地				年齡別	引内訳			合計	割合
	プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	二計	割百
I	2.6	宮城·小台地域	2-1.2	江北·扇地区		1					1	12.5%
	2-6	宮城·小台地域	2-6	宮城·小台地域	2	3	2				7	87.5%

2	1	2	Λ.	Λ	Λ.	Ω	100 0%
	-		U	U	U		100.070

2-6プロック合計 269

- [地域の特徴等] ・保育施設を利用している世帯のうち、75.9%が居住地域の保育施設を利用している。 ・隣接している「2-1.2ブロック」、「2-3.4.5ブロック」、「3ブロック」のほか、「1ブロック」を利用する世帯も多い。 ・待機児童となった世帯の87.5%が居住地域の保育施設を希望している。

3 ブロック 興野・本木地域

在園児世界	帯の居住地	在園する個	保育園の所在地]							
ブロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		1	千住地域	1	1	2	1	2	1	8	1.0%
		2-1.2	江北·扇地域	11	12	13	10	12	13	71	9.0%
		2-3.4.5	新田地域		1	1				2	0.3%
		2-6	宮城·小台地域			2	3	4		9	1.1%
		3	興野·本木地域	45	91	106	100	109	99	550	69.4%
	(60 m)	4	梅田地域	9	12	16	16	18	18	89	11.2%
3	興野 本木地域	7	佐野地域		1					1	0.1%
	14-714-0-96	9	花畑·保木間地域				1		2	3	0.4%
		10	竹の塚地域	2	2	1			2	7	0.9%
		11	伊興·西新井地域	5	7	7	2	7	4	32	4.0%
		12	鹿浜地域	2	2	3	4	2	2	15	1.9%
		13	東伊興·舎人地域		1		1	1		3	0.4%
		管外	管外				1	1		2	0.3%

75	130	151	139	156	141	792	100.0%
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------

待機児童世	世帯の居住地]	希望する	保育園所在地				合計	割合			
プロック	地域		プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		割言
			2-1.2	江北·扇地区	2	2					4	11.8%
	(W) m7		3	興野·本木地域	5	10	9	2			26	76.5%
3	興野 本木地域		4	梅田地域	1		1				2	5.9%
	14.714.0.34		10	竹の塚地域			1				1	2.9%
			12	鹿浜地域		1					1	2.9%

13 11 2 0 **34** 100.0% 3プロック合計 826

- 地域の行政寺」 保育需要の合計が前年度(781人)から大幅に増加している(45人増)。 保育施設を利用している世帯のうち、69.4%が居住地域の保育施設を利用している。 隣接している「2-1.2ブロック」、「4ブロック」、「11ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。 待機児童となった世帯の23.5%が居住地域外の保育施設を希望している。

4 ブロック 梅田地域

在園児世界	帯の居住地	在園する個	保育園の所在地								
プロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		1	千住地域	1	3		1			5	0.4%
		2-1.2	江北·扇地域			1			1	2	0.2%
		2-6	宮城·小台地域		1					1	0.1%
		3	興野·本木地域	4	7	11	10	11	10	53	4.7%
		4	梅田地域	69	170	179	159	157	149	883	77.9%
		5	中央本町地域	13	19	21	19	20	22	114	10.1%
4	梅田地域	6	綾瀬地域	2		1				3	0.3%
		8	保塚·六町地域			1	1	1	2	5	0.4%
		9	花畑·保木間地域		1		1			2	0.2%
		10	竹の塚地域	3	10	8	6	5	11	43	3.8%
		11	伊興·西新井地域	1	5	4	3	2	3	18	1.6%
		12	鹿浜地域		1			2		3	0.3%
		13	東伊興·舎人地域		1					1	0.1%

	93	218	226	200	198	198	1,133	100.0%
--	----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	--------

待機児童世	帯の居住地	希望する	保育園所在地			年齡別	引内訳			合計	割合
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	白町	割百
		3	興野·本木地域			1				1	2.2%
4	梅田地域	4	梅田地域	15	21	5	1			42	91.3%
4	付田地域	5	中央本町地域	1	1					2	4.3%
		10	竹の塚地域		1					1	2.2%

46 100.0% 16

4プロック合計 1,179

【地域の特徴等】

- 保育需要の合計が前年度(1,161人)から18人増加している。 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は77.9%であり、前年度(852人)から31人増加している。 隣接している「3ブロック」、「5ブロック」のほか、環状七号線を挟んだ「10ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。

5 ブロック 中央本町地域

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		1	千住地域			1	3	2		6	0.6%
		2-1.2	江北·扇地域				1			1	0.1%
		3	興野·本木地域		1	1				2	0.2%
		4	梅田地域	2	8	18	9	16	11	64	6.4%
		5	中央本町地域	69	156	159	145	140	137	806	80.2%
	+++mT	6	綾瀬地域	3	11	9	5	7	8	43	4.3%
5	中央本町 地域	7	佐野地域					2		2	0.2%
	- 6-9/	8	保塚·六町地域	4	6	8	11	12	14	55	5.5%
		9	花畑·保木間地域					1		1	0.1%
		10	竹の塚地域	1	2	3	2	4	6	18	1.8%
		11	伊興·西新井地域			1		1		2	0.2%
		12	鹿浜地域		1					1	0.1%
		管外	管外		1			2	1	4	0.4%

79	186	200	176	187	177	1,005	100.0%

待機児童t	世帯の居住地	希望する				合計	割合				
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	二計	割百
		4	梅田地域		1	1				2	14.3%
5	中央本町地域	5	中央本町地域		11					11	78.6%
	2524	8	保塚·六町地域			1				1	7.1%

0 12 2 0 0

5プロック合計 1,019

- ・保育需要の合計が前年度(1,008人)から11人増加している。 ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は80.2%であり、前年度(776人)から30人増加している。 ・待機児童となった世帯は居住地域の他、「4ブロック」、「8ブロック」の保育施設を希望している。

6 ブロック 綾瀬地域

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地								
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		2-3.4.5	新田地域		1		1			2	0.1%
		4	梅田地域			1	1			2	0.1%
		5	中央本町地域	4	6	13	11	6	13	53	3.5%
6	綾瀬地域	6	綾瀬地域	120	247	270	254	232	213	1336	88.6%
0	放文/积上巴上巩	7	佐野地域	7	11	13	15	6	18	70	4.6%
		8	保塚·六町地域	1	2	1	2			6	0.4%
		10	竹の塚地域						1	1	0.1%
		管外	管外	4	10	8	3	6	7	38	2.5%

136 277	306	287 250	252	1,508	100.0%
---------	-----	---------	-----	-------	--------

	待機児童世	帯の居住地	希望する保育園所在地					合計	割合			
	ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		相
I	6	綾瀬地域	6	綾瀬地域	6	34	7	1			48	92.3%
	6	#愛/棋上巴上戏	7	佐野地域		3	1				4	7.7%

_		_			_		
6	37	8	1 1	0	0	52	100 0%

6プロック合計 1,560

【地域の特徴等】

- 保育需要の合計が前年度(1,495人)から大幅に増加している(65人増)。 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は88.6%である。 隣接している「5ブロック」で利用している世帯も多い(70人)。また、区外の保育施設を利用している世帯も多い(38人)。
- 待機児童となった世帯の多くが居住地域内の保育施設を希望しているが、「7プロック」を希望する世帯も存在する。

7 ブロック 佐野地域

在園児世界	帯の居住地		在園する	保育園の所在地									
プロック	地域		プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
			1	千住地域					1		1	0.1%	
			5	中央本町地域		2		1			3	0.3%	
			6	綾瀬地域	25	40	55	42	49	35	246	27.3%	
			7	佐野地域	42	99	112	109	116	115	593	65.8%	
7	佐野地域	t扣tポ	Ļ	8	保塚·六町地域	8	7	5	6	4	4	34	3.8%
,	江到小巴坝		9	花畑·保木間地域		5	1	1	2	1	10	1.1%	
			10	竹の塚地域		1			1		2	0.2%	
			11	伊興·西新井地域				1			1	0.1%	
			12	鹿浜地域		1				1	2	0.2%	
			管外	管外	1	2	3	1	1	1	9	1.0%	

76	157	176	161	174	157	901	100.0%

待機児童世	帯の居住地	希望する	保育園所在地			年齢別	削内訳			合計	割合	
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	二計	割百	
		6	綾瀬地域		11	2				13	37.1%	
7	佐野地域	7	佐野地域	1	13	6	1			21	60.0%	
		8	保塚·六町地域			1				1	2.9%	
								•	-			
				1	24	9	1	0	0	35	100.0%	

7プロック合計 936

- 保育需要の合計が前年度(890人)から大幅に増加している(46人増)。 保育需要の合計が前年度(890人)から大幅に増加している(46人増)。 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は65.8%である。 隣接している「6ブロック」の保育施設を利用している世帯が27.3%(246人)と非常に多い。また、区外の保育施設を利用している世帯も多い。 待機児童となった世帯は前年度(28人)から7人増加しており、60%が居住地域の保育施設を希望しているが、「6ブロック」を希望する世帯も13人と 多くなっている。

8 ブロック 保塚・六町地域

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地								
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		2-1.2	江北·扇地域	1		1			1	3	0.3%
		4	梅田地域		1	2		4	2	9	1.0%
		5	中央本町地域	8	7	4	2	7	2	30	3.3%
		6	綾瀬地域	1	1	2	2		1	7	0.8%
	(0.10	7	佐野地域	2	4	3		1	3	13	1.5%
8	保塚 六町地域	8	保塚·六町地域	48	117	149	102	113	99	628	70.1%
	, , x	9	花畑·保木間地域	2	15	17	18	27	28	107	11.9%
		10	竹の塚地域	9	14	18	18	10	21	90	10.0%
		11	伊興·西新井地域	1		1	1		1	4	0.4%
		13	東伊興·舎人地域		1	1				2	0.2%
		管外	管外	1					2	3	0.3%

73	160	198	143	162	160	896	100.0%
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------

待機児童世	帯の居住地	希望する			年齢別	削内訳			A+1	#IA	
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
	/D.ID	8	保塚·六町地域	3	7	1				11	73.3%
8	保塚 六町地域	9	花畑·保木間地域		3					3	20.0%
	/ (m) / G / (n)	10	竹の塚地域			1				1	6.7%

3	10	2	0	0	0	15	100.0%
---	----	---	---	---	---	----	--------

8プロック合計 911

【地域の特徴等】

- ^{地域の行접寺1} 保育需要の合計が前年度(937人)から26人減少している。 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は70.1%である。 隣接している「9ブロック」、「10ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。 待機児童となった世帯の73.3%が居住地域の保育施設を希望しているが、「9ブロック」、「10ブロック」を希望している世帯もいる。

9 ブロック 花畑・保木間地域

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地								
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		3	興野·本木地域						1	1	0.2%
		5	中央本町地域		2			1	1	4	0.7%
		6	綾瀬地域	1	1			1	1	4	0.7%
		7	佐野地域	1			2	1	1	5	0.8%
9	花畑 保木間	8	保塚·六町地域	6	10	13	13	7	9	58	9.7%
9	地域	9	花畑·保木間地域	29	62	79	88	98	89	445	74.8%
		10	竹の塚地域	5	13	11	6	19	18	72	12.1%
		11	伊興·西新井地域	1			1	1	1	4	0.7%
		13	東伊興·舎人地域			1				1	0.2%
		管外	管外			1				1	0.2%

43	88	105	110	128	121	595	100.0%

待機児童世帯の居住地			希望する保育園所在地		年齢別内訳					A+1	510	
プロック	地域		プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
9	花畑保木間地域		8	保塚·六町地域	1						1	11.1%
			9	花畑·保木間地域	3	1	2	1			7	77.8%
			10	竹の塚地域			1				1	11.1%
	•											
					4	1	3	1	0	0	9	100.0%

9プロック合計 604

- 保育需要の合計が前年度(574人)から30人増加している。 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は74.8%である。 隣接している「8ブロック」、「10ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- 待機児童となった世帯の77.8%が居住地域の保育施設を希望している。

10 ブロック 竹の塚地域

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地								
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		1	千住地域				1			1	0.1%
		2-1.2	江北·扇地域						1	1	0.1%
		3	興野·本木地域					1	1	2	0.3%
		4	梅田地域	8	11	6	8	7	4	44	5.6%
		5	中央本町地域	2	3	8		3		16	2.0%
10	竹の塚	8	保塚·六町地域	2	4	4	5	5	4	24	3.0%
10	地域	9	花畑·保木間地域	1	6	5	5	4	2	23	2.9%
		10	竹の塚地域	39	108	134	121	115	102	619	78.4%
		11	伊興·西新井地域	4	9	9	6	6	2	36	4.6%
		12	鹿浜地域	2				1		3	0.4%
		13	東伊興·舎人地域	2	4	3	4	2	4	19	2.4%
		管外	管外		Ţ	1		1	,	2	0.3%

60	145	170	150	145	120	790	100.0%

待機児童世	帯の居住地	希望する	保育園所在地			年齡別	削内訳			合計	割合
プロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	D BT	割点
		3	興野·本木地域			1				1	6.3%
		4	梅田地域	1	1					2	12.5%
10	竹の塚 地域	5	中央本町地域		1					1	6.3%
	~6~W	10	竹の塚地域	1	8	1		1		11	68.8%
		11	伊興·西新井地域	1						1	6.3%

16 100.0% 10

10プロック合計 806

【地域の特徴等】

- 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は78.4%である。
- 隣接している「8ブロック」、「9ブロック」、「11ブロック」のほか、環状七号線を挟んだ「4ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。 待機児童となった世帯の多くが居住地域の保育施設を希望しているが、「3ブロック」、「4ブロック」、「5ブロック」、「11ブロック」の保育施設を希望 している世帯も存在する。

11 ブロック 伊興・西新井地域

		ı										
在園児世界	帯の居住地		在園する	保育園の所在地								
プロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
			2-1.2	江北·扇地域	1	3	2		5	4	15	1.9%
			2-3.4.5	新田地域	2						2	0.3%
			2-6	宮城·小台地域						1	1	0.1%
			3	興野·本木地域	4	10	11	13	10	17	65	8.3%
			4	梅田地域	4	4	1	1	2	5	17	2.2%
11	伊興 西新井		8	保塚·六町地域	1		1				2	0.3%
- 11	地域		9	花畑·保木間地域	1				2	1	4	0.5%
			10	竹の塚地域	7	12	19	14	12	10	74	9.4%
			11	伊興·西新井地域	41	74	96	85	77	71	444	56.6%
			12	鹿浜地域	4	11	11	16	18	11	71	9.0%
			13	東伊興·舎人地域	9	21	20	10	12	14	86	11.0%
			管外	管外		1			2	1	4	0.5%

74	136	161	139	140	135	785	100.0%
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------

待機	児童世	帯の居住地	希望する	6保育園所在地			年齡別	的内訳			A+1	*10
ブロ	ック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
			3	興野·本木地域		2					2	7.4%
		伊興	10	竹の塚地域	1						1	3.7%
11	1	西新井	11	伊興·西新井地域	4	10	3				17	63.0%
		地域	12	鹿浜地域		3	1			1	5	18.5%
			13	東伊興·舎人地域		2					2	7.4%
		>E-13%				2	1			1	2	

27 100.0%

11プロック合計

812

【地域の特徴等】

- になっては守」 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は56.6%である。 居住地域外の保育施設を利用している世帯は、「1ブロック」「5ブロック」「6ブロック」「7ブロック」以外のすべての地域に分散しており、「3ブロック」、 「10ブロック」、「12ブロック」、「13ブロック」を利用している世帯が多い。特に「10ブロック」は前年度(57人)から17人増加している。 待機児童となった世帯は、「12ブロック」で前年度(0人)から5人増加している。

4

0

0

17

12 ブロック 鹿浜地域

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地								
プロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		2-1.2	江北·扇地域	4	9	3	7	8	7	38	6.5%
		2-3.4.5	新田地域	1		2		1		4	0.7%
		2-6	宮城·小台地域				1			1	0.2%
		3	興野·本木地域	2	2	2	4	4	2	16	2.7%
		4	梅田地域			2	1			3	0.5%
12	鹿浜地域	5	中央本町地域		1					1	0.2%
12	1667大-18-33	8	保塚·六町地域			1			1	2	0.3%
		10	竹の塚地域		4	1				5	0.9%
		11	伊興·西新井地域	9	11	12	10	5	7	54	9.2%
		12	鹿浜地域	28	69	91	82	80	92	442	75.6%
		13	東伊興·舎人地域	3	4	3	4	2		16	2.7%
		管外	管外					1	2	3	0.5%

47 100 117 109 101 111 585 100.	0%
--	----

待機児童世	世帯の居住地	希望する	保育園所在地			年齢別	削内訳			A+1	割合
プロック	地域	プロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割口
		2-1.2	江北·扇地区	1		2				3	12.0%
12	鹿浜地域	11	伊興·西新井地域	1	1					2	8.0%
12	庇从地域	12	鹿浜地域	2	8	7				17	68.0%
		13	東伊興·舎人地域	1	1	1				3	12.0%

F		10	10	0	0	0	25	100.0%
	1			·	Ū			.00.070

12プロック合計 610

【地域の特徴等】

- 地域の付取寺1 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は75.6%である。 隣接している「2-1.2ブロック」、「11ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。 待機児童となった世帯は、居住地域のほか、「2-1.2ブロック」「11ブロック」「13ブロック」の保育施設を希望している。

13 ブロック 舎人・東伊興地域

在園児世界	帯の居住地	在園する	保育園の所在地	Ì							
プロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
		1	千住地域						1	1	0.1%
		2-1.2	江北·扇地域		1	2	1	2		6	0.7%
		2-3.4.5	新田地域		1					1	0.1%
		2-6	宮城·小台地域			1				1	0.1%
		3	興野·本木地域			2		2		4	0.5%
		4	梅田地域		2		1			3	0.4%
13	東伊興	5	中央本町地域		1	1				2	0.2%
13	舎人地域	8	保塚·六町地域				2			2	0.2%
		9	花畑·保木間地域		2			1	1	4	0.5%
		10	竹の塚地域	3	18	18	18	24	12	93	10.9%
		11	伊興·西新井地域	10	21	22	10	20	18	101	11.9%
		12	鹿浜地域	2	3	10	4	11	8	38	4.5%
		13	東伊興·舎人地域	50	104	117	105	109	108	593	69.8%
		管外	管外			1				1	0.1%

65 153 174 141 169 148 850 100.0%
--

待機児童世帯の居住地			希望する保育園所在地		年齡別内訳				A+1	mia		
プロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
13	東伊興 舎人地域		3	興野·本木地域		1					1	4.2%
			10	竹の塚地域			1	2			3	12.5%
			11	伊興·西新井地域		3					3	12.5%
			12	鹿浜地域			1				1	4.2%
			13	東伊興·舎人地域	1	13	2				16	66.7%
					1	17	4	2	0	0	24	100.0%

13ブロック合計 874

【地域の特徴等】

- 心域の行気等) 保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は69.8%である。 隣接している「10ブロック」、「11ブロック」、「12ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。 待機児童となった世帯は居住地域のほか、「3ブロック」、「10ブロック」、「11ブロック」、「12ブロック」の保育施設を希望している。

資料4 待機児童実態調査結果

待機児童の保護者に対して、認可保育施設に入れなかった後の動向を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

調査実施期間 平成29年6月9日 ~ 6月21日

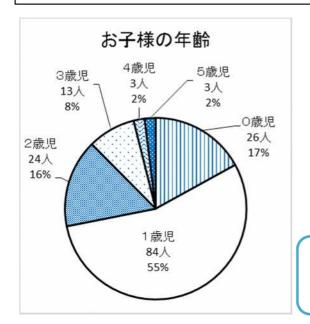
調査方法 待機児童の保護者への郵送によるアンケート

回答方法は返信封筒で郵送又は入力フォームに直接回答

調査対象 待機児童 374 人のうち、複数の待機児童がいる世帯は1世帯として扱い、348 世帯

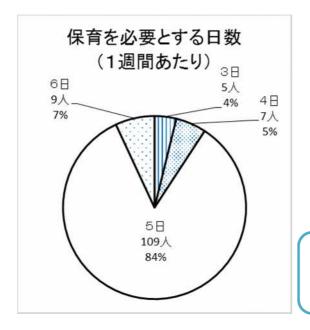
に郵送した。

回収率 37.36% (130 世帯)



(回答対象	130世帯)	
0歳児	2 6	
1歳児	8 4	
2歳児	2 4	
3歳児	13	
4歳児	3	
5歳児	3	

調査対象のうち、1歳児の保護者からの回答が 最多であった。



	(回答対象		130世帯)
3日			5
4日			7
5日			109
6日			9

1週間あたりの保育を必要とする日数は「5日」が最多である。

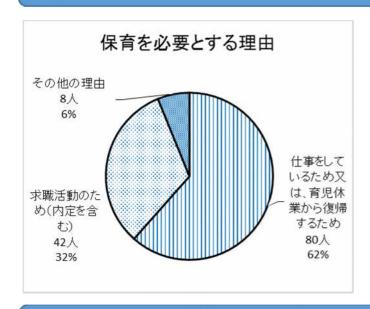
保育を必要とする時間数 (1日あたり) 12時間 6時間 5時間 2人 2人 2% 3人 1% 2% 11時間 7時間 13人 8人 10% 6% 8時間 10時間 23人 32人 18% 25% 9時間 47人 36%

(回答対象 130世帯)

(
5時間	3
6時間	2
7時間	8
8時間	2 3
9時間	4 7
10時間	3 2
11時間	1 3
12時間	2

1日あたりの保育を必要とする時間数は「9時間」が 最多であり、「9時間」から「11時間」で全体の7割を 占めている。

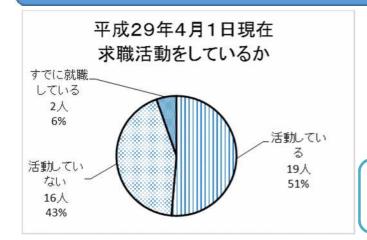
保育を必要とする最も多い理由は、「仕事をしているため又は、育児休業から復帰するため」



(回答対象 130世帯)

仕事をしているため又は、育児休業から復帰するため	8 0
求職活動のため(内定を含む)	4 2
育児休業を延長するため	0
その他の理由	8

施設申込時に求職活動をしていると申請した方のうち、平成29年4月1日現在約半数の保護者が引き続き求職活動をしている。



(回答対象 42世帯)

(
活動している	1 9
活動していない	1 6
すでに就職している	2

未回答 5世帯

約4割は求職活動をやめている。

(1)平成29年5月1日時点での保育状況について

平成29年5月1日現在の主な保育状況は「育児休業を延長している」と「仕事をやめた」が全体の約5分の1ずつで最多である。

(回答対象	130世帯)
	130 6 6

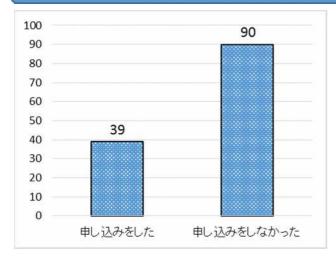
	(ロロハ	承 150 世市)
育児休業を延長している	2 6	20.1%
仕事をやめた	2 6	20.1%
求職活動をやめた	1 8	14.0%
認可保育所・認定こども園・小規模保育・家庭的保育(保育ママ) 以外を利用	15	11.6%
保護者の父母や親戚に預けている	1 4	10.9%
認可保育所・認定こども園・小規模保育・家庭的保育(保育ママ) に入所	1 0	7.8%
就業形態を変更	9	7.0%
知人に預けている	4	3.1%
兄弟姉妹児の産休または育休中	3	2.3%
その他	4	3.1%

未回答 1世帯

「認可保育所・認定こども園・小規模保育・家庭的保育(保育ママ)以外を利用している」が15人(11.6%)、「認可保育所・認定こども園・小規模保育・家庭的保育(保育ママ)に入所」が10人(7.8%)であり、合わせて25人(19.4%)が保育サービスを利用している。

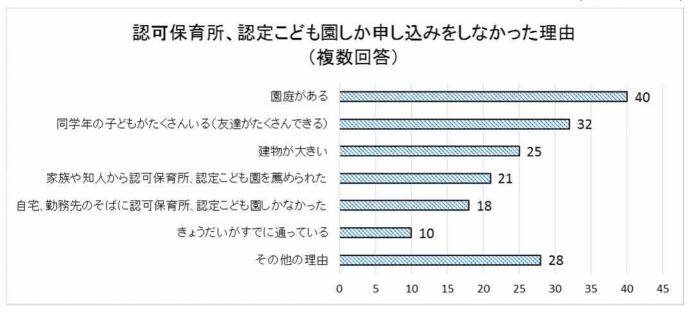
(2)保育サービスの検討について

認可保育所、認定こども園以外に申し込みをしなかった保護者は約7割



(回答対象	130世帯)
申し込みをした	39
申し込みをしなかった	90

未回答 1世帯

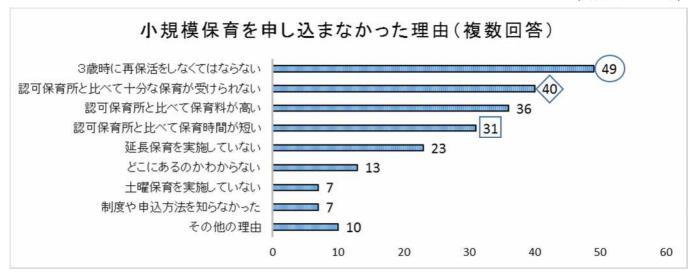


- ・ 認可保育所、認定こども園しか申し込みをしなかった理由としては認可保育所や認定こども園は 「園庭がある」が最も多い(40人)。
- ・「同学年の子どもがたくさんいる(友達がたくさんできる)が2番目に多い(32人)。
- ・自宅や勤務先のそばに認可保育所、認定こども園しかなかったと回答した人(18人)のうち、近くに 小規模保育や家庭的保育(保育ママ)の施設があった場合、申込みをすると回答した人は約2割(3人) となっている。

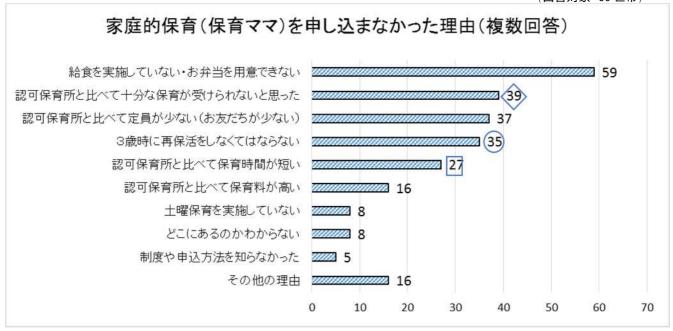
小規模保育に申し込みをしなかった理由として「3歳時に再保活をしなくてはならない」が最多家庭的保育(保育ママ)に申し込みをしなかった理由として「給食を実施していない・お弁当を用意できない」が最多

認証保育所に申し込みをしなかった理由として「認可保育所と比べて保育料高い」が最多

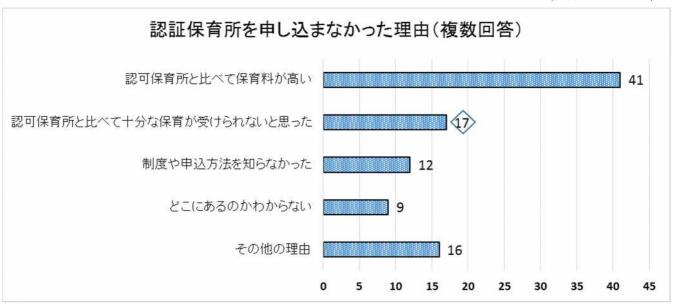
(回答対象 90 世帯)



(回答対象 90 世帯)



(回答対象 90 世帯)

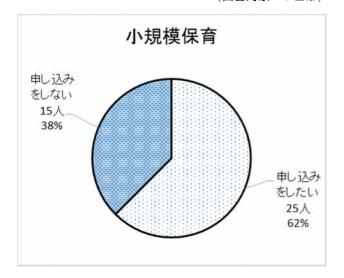


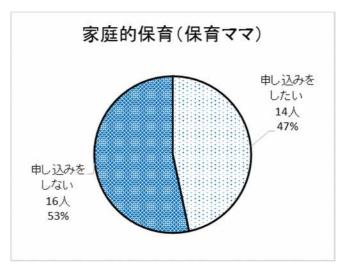
- ・小規模保育、家庭的保育(保育ママ)及び認証保育所は「認可保育所と比べて十分な保育が受けられない」という回答が多い。認可保育所、認定こども園以外の施設を申し込まなかった理由にある「園庭がある」や「同学年の子どもがたくさんいる(友達がたくさんできる)」等の理由が影響していると推測される。
- ・ 小規模保育及び家庭的保育(保育ママ)を申し込まない理由として、「保育時間の短さ」や「3歳時の再保活をしなければならない」という回答が多い。

小規模保育や家庭的保育(保育ママ)について3歳児以降に預け先が確保された場合、小規模保育へ62%が「申し込みたいと」回答 家庭的保育(保育ママ)も47%が「申し込みたい」と回答

(回答対象 49世帯)

(回答対象 35 世帯)





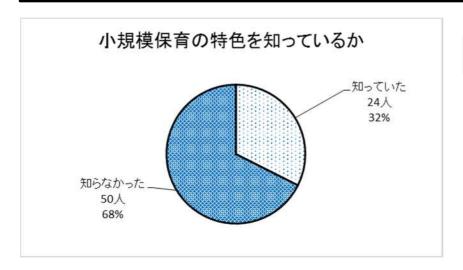
	小規模保育	家庭的保育 (保育ママ)
申し込みをしたい	2 5	1 4
申し込みをしない	1 5	1 6

未回答 9世帯 未回答 5世帯

小規模保育の特色についての認知度は32% 知らなかった保護者のうち約半数が特色を知っていたら申し込みをしたと回答

小規模保育の特色

- · 子どもたちに目が届きやすく、きめ細やかな保育が行いやすい。
- ・ 国及び区の基準に基づいた小規模保育所の認可を受けている。
- ・ 保育料は、認可保育所に比べて安い。
- ・ 保育標準時間での募集枠なら、基本保育時間は11時間(7時30分から18時30分)。
- ・ 土曜保育も実施している(利用基準は園によって異なる)。



知っていた24知らなかった50未回答 3世帯

特色を知っていたら申し込みをしたか

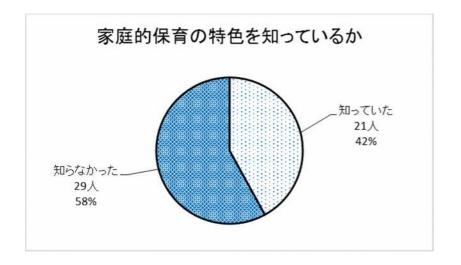
申し込みをしな
い
25人
53%

(回答対象 50世帯)申し込みをした22申し込みをしない25未回答 3世帯

家庭的保育(保育ママ)の特色についての認知度は42% 知らなかった保護者のうち16%が特色を知っていたら申し込みをしたと回答

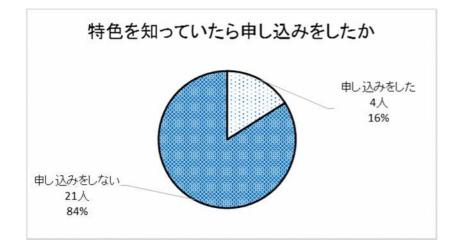
家庭的保育(保育ママ)の特色

- · 子どもたちに目が届きやすく、きめ細やかな保育が行いやすい。
- ・ 毎日、同じ保育者が保育するため愛着形成を築きやすい。
- ・ 国及び区の基準に基づいた家庭的保育の認可を受けている。
- ・ 保育料は認可保育所に比べて安い。
- ・ 土曜保育は一部実施している施設もある。



	(回答対象	え 53世帯)
知っていた		2 1
知らなかった		2 9

未回答 3世帯

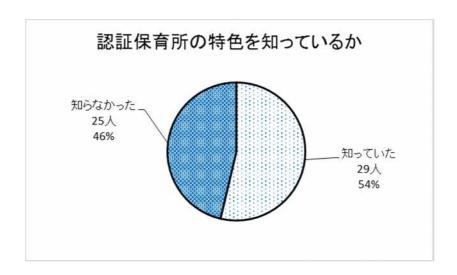


(回答	対象 2	<u>29世帯)</u>
申し込みをした		4
申し込みをしない		2 1
	未回答	∠₩₩

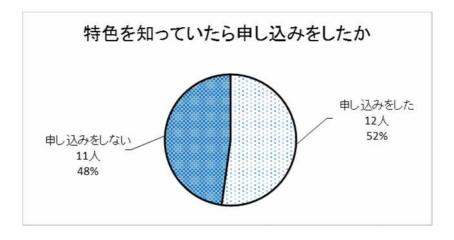
認証保育所の特色についての認知度は54% 知らなかった保護者のうち52%が特色を知っていたら申し込みをしたと回答

認証保育所の特色

- · 全施設で 0 歳児から預けることができる。
- 13時間の開所が基本である。
- ・ 都が設置を認証し、保育の実施主体である区市町村とともに指導する。
- ・ 都独自の基準が設定されており、適切な保育水準を確保している。



	(回答対象	(54世帯)
知っていた		2 9
知らなかった		2 5

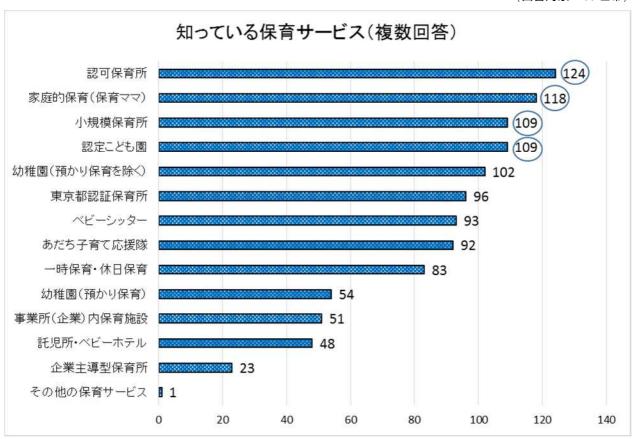


(回答対象	25世帯)
申し込みをした	1 2
申し込みをしない	11
	3世帯

- ・ 各施設の特色を知った上で、「申し込みをしない」と回答した割合が他の施設と比較し、家庭的保育 (保育ママ)は高い。
- ・「給食を実施していない・お弁当を用意できない」、「保育時間の短さ」、「3歳時の再保活をしなければ ならない」等の理由が影響しているものと推測される。

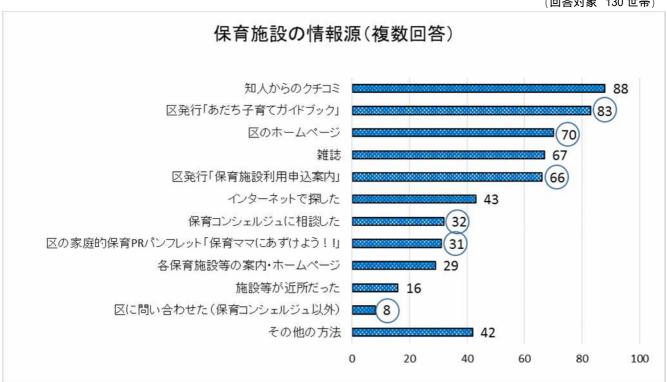
(3)保育サービスの認知度及び情報収集方法について

(回答対象 130 世帯)



認可保育所、家庭的保育、小規模保育、認定こども園の認知度は80%を超えている。

(回答対象 130 世帯)



区からの情報源の合計が全体の5割を占めている。

(4)定期利用保育について

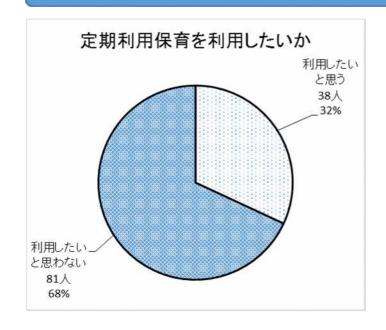
定期利用保育とは(足立区では未実施)

- ・ 新設の私立認可保育所で空いている保育室などを活用し、臨時的に児童を受け入れる。
- ・ 年度限定の事業であり、翌年度の利用は約束できない。
- ・ 私立認可保育所と利用者の直接契約となる。
- ・認可保育所に準じた基準で運営されるが、保育内容が異なる場合がある。

(利用時間)最長11時間

(利用料)月5万円程度(11時間・月20日利用の場合)

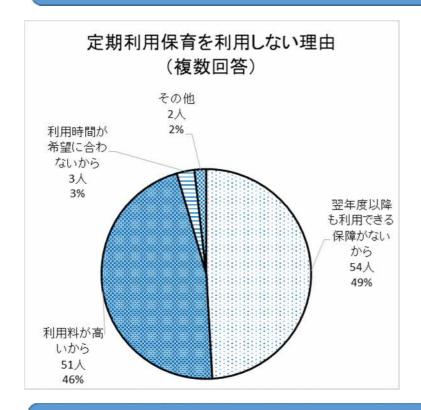
約7割が「定期利用保育を利用したいと思わない」と回答



(回答対象	130世帯)
利用したいと思う	3 8
利用したいと思わない	8 1

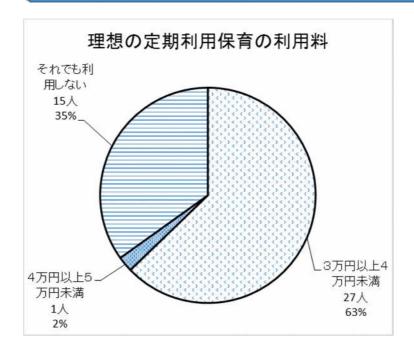
未回答 3世帯

定期利用保育を利用しない理由は「翌年度以降も利用できる保障がないから」が最多次いで「利用料が高いから」。



(回答対象	81世帯)
翌年度以降も利用できる 保障がないから	5 4
利用料が高いから	5 1
利用時間が希望に合わないから	3
その他	2

定期利用保育の利用料が「3万円以上4万円未満」ならば、「利用料が高い」という理由で利用 しない保護者の約半数が利用すると回答

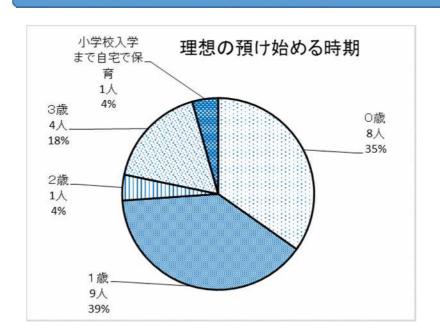


(回答対象	51世帯)
3万円以上4万円未満	2 7
4万円以上5万円未満	1
それでも利用しない	1 5

未回答 8世帯

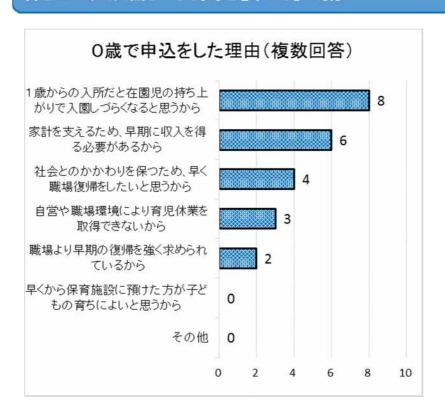
(5)理想の預け始める時期について (0歳児が待機児となった保護者23世帯のみ回答)

理想の預け始める時期は「1歳」で次いで「0歳」



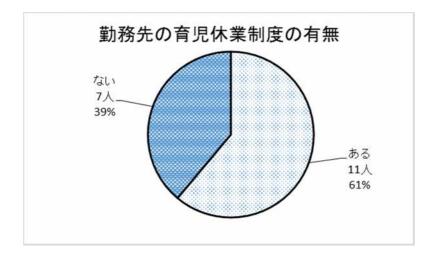
(回答対象	23世帯)
0歳	8
1歳	9
2歳	1
3歳	4
4歳	0
5歳	0
小学校入学まで自宅で保育	1

理想の預け始める時期と異なり、O歳で申し込みをした理由として「1歳からの入所だと在園児の持ち上がりで入園しづらくなると思うから」が最多



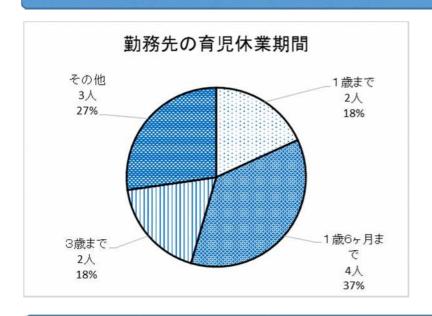
(回答対象	14世帯)
1歳からの入所だと在園児 の持ち上がりで入園しづらく なると思うから	8
家計を支えるため、早期に 収入を得る必要があるから	6
社会とのかかわりを保つため、早く職場復帰をしたいと 思うから	4
自営や職場環境により育児 休業を取得できないから	3
職場より早期の復帰を強く 求められているから	2
早くから保育施設に預けた 方が子どもの育ちによいと思 うから	0
その他	0

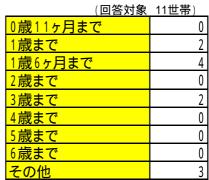
勤務先の育児休業制度は61%が「あり」と回答





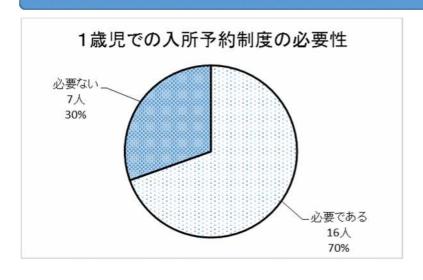
勤務先の育児休業期間は「1年6ヶ月」が最多





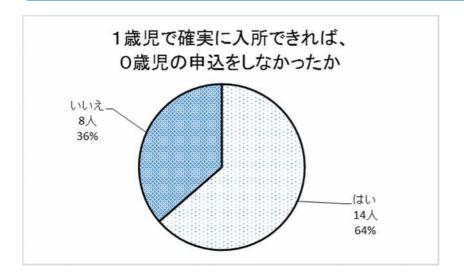
その他 保育園が見つかるまで等

1歳児での保育所入所予約制度は7割が必要と回答



	(回答対象	23世帯)
必要である		1 6
必要ない		7

1歳で確実に保育所に入所できるのであれば、6割が0歳児の申し込みはしなかったと回答





(6)主な自由意見

1歳児から預けやすいようにするべきという意見

- · 1歳児の空きが少なすぎる。
- ・ 0歳クラスは保育士も多く必要でコストも1番かかっていて効率が悪いと思う。育休が皆2年取れるようにして、0歳クラスが無くてもいい様になるのが親子の時間確保の意味でも理想だと思う。

妊娠・出産など早期からの需要調査をするべきという意見

- ・区で母子手帳を配布する時から、母親の仕事の有無など確認をとれば、保育を必要とする人の数は おおよそはわかる。それで集計をとれば目安がわかるので、毎年定員をオーバーして待機児童が 増えるとかはないのではないか。
- ・出生届け等で子どもの人数は分かっているのだから、その時にその子どもがいつから保育園を使用したいのか、親に聞いておけば、毎年、何人が入園希望しているのか、どこの地域に人数が何人いるのか?大きなずれもなく待機させることなく対応できるのではないか?

保育士の優先入所に関する意見

- ・ 現役の保育士だが、まさかの待機児になった。保育士不足、待機児がいる中で復職できないことは本当に考えられない事で周りからも驚かれている。
- ・ 指数のみで入園をというのであれば、保育士である項目を作るべきではないだろうか。

その他の意見

- ・ 無認可でも少しでも補助金があれば少しは楽になる。
- 所得の多い世帯が選考で優先順位を下げられる(不利になる)ことについて憤りを感じる。
- · 会社員より自営業が不利なのはおかしい。
- ・ パートの人はどうやって子供を預けて働けばいいのか?働くなと言っているのと同じだと思う。
- ・ 労働時間や就業形態に関係なく、希望者が全員入所できるようになってほしいと思う。
- ・ 荒川区のように小学校内に保育する場所を作ったりできないのか。

資料5 0歳在園児アンケート調査結果

0歳児で保育施設へ入所した保護者に対し、0歳児で入所する以外の選択肢を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

調査実施期間 平成29年6月9日 ~ 6月16日

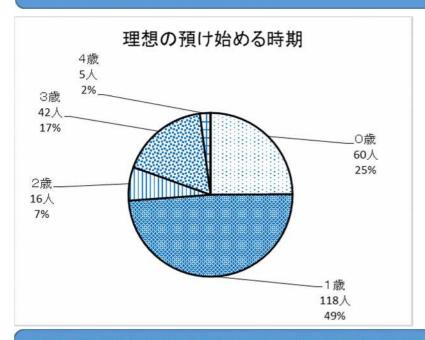
調査方法 0歳児を受託する保育所の内27園で調査用紙を配布・回収

調査対象 在園する 0 歳児 261 人の保護者(261 世帯)

回収率 93.87% (245 世帯)

理想の預け始める時期について

理想の預け始める時期は「O歳」と答えた者は24.9%であった。 「1歳」が全体の約半数を占めている。



(回答対	象 245世帯)
0歳	6 0
1歳	1 1 8
2歳	1 6
3歳	4 2
4歳	5
5歳	0
小学校入学まで 自宅で保育	0

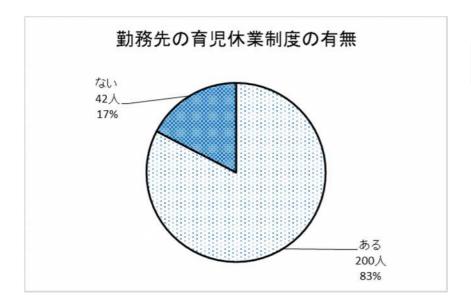
未回答 4世帯

理想の預け始める時期と異なり、O歳で申し込みをした理由として「1歳からの入所だと在園 児の持ち上がりで入園しづらくなると思うから」が最多

(回答対象 182 世帯)



勤務先の育児休業制度は83%が「あり」と回答

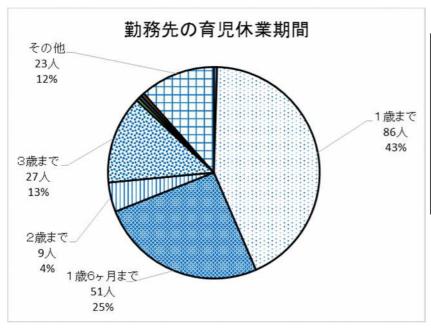


(回答対象 245世帯)

ある	200
ない	4 2

未回答 3世帯

勤務先の育児休業期間は「1歳まで」が最多

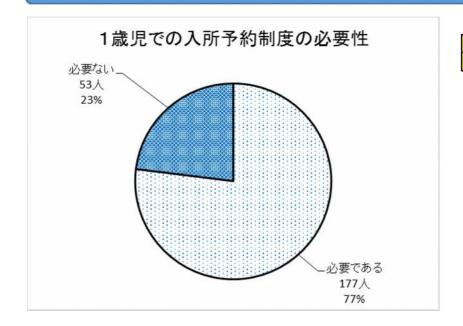


(回答対象 200世帯)

\	
0歳11ヶ月まで	1
1歳まで	8 6
1歳6ヶ月まで	5 1
2歳まで	9
3歳まで	2 7
4歳まで	1
5歳まで	1
6歳まで	1
その他	2 3

その他 入所できなければ半年延長など

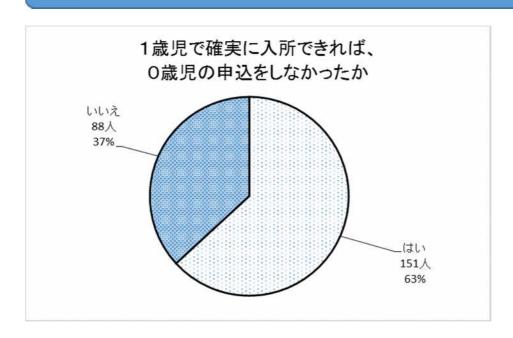
1歳児での保育所入所予約制度は約8割が必要と回答



(回答対象 245世帯) 必要である 177 必要ない 5 3

未回答 15世帯

1歳で確実に保育所に入所できるのであれば、約6割が0歳児の申し込みはしなかったと 回答



(回答対象 245世帯) はい 151 いいえ 8 8 未回答 6世帯



平成 29 年 8 月発行

発行元:足立区教育委員会







Copyrights © 2017 Adachi City. All Rights Reserved.